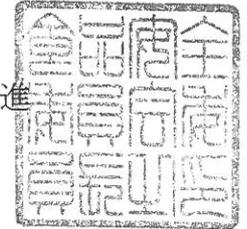




府食第169号  
平成27年3月3日

厚生労働大臣  
塩崎 恭久 殿

食品安全委員会  
委員長 熊谷 進



### 食品健康影響評価の結果の通知について

平成26年9月9日付け厚生労働省発食安0909第6号をもって厚生労働大臣から食品安全委員会に意見を求められたフルキサピロキサドに係る食品健康影響評価の結果は下記のとおりですので、食品安全基本法（平成15年法律第48号）第23条第2項の規定に基づき通知します。

なお、食品健康影響評価の詳細は別添のとおりです。

### 記

フルキサピロキサドの一日摂取許容量を0.021 mg/kg 体重/日、急性参照用量を1.2 mg/kg 体重と設定する。

別 添

## 農薬評価書

# フルキサピロキサド

(第2版)

2015年3月

食品安全委員会

## 目次

	頁
○ 審議の経緯.....	3
○ 食品安全委員会委員名簿.....	3
○ 食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿.....	4
○ 要約.....	6
I. 評価対象農薬の概要.....	7
1. 用途.....	7
2. 有効成分の一般名.....	7
3. 化学名.....	7
4. 分子式.....	7
5. 分子量.....	7
6. 構造式.....	7
7. 開発の経緯.....	7
II. 安全性に係る試験の概要.....	9
1. 動物体内運命試験.....	9
(1) ラット.....	9
(2) 畜産動物（ヤギ）.....	14
(3) 畜産動物（ニワトリ）.....	16
2. 植物体内運命試験.....	17
(1) トマト.....	17
(2) だいず.....	17
(3) 小麦①.....	18
(4) 小麦②.....	20
3. 土壌中運命試験.....	21
(1) 好氣的土壌中運命試験①.....	21
(2) 好氣的土壌中運命試験②.....	21
(3) 好氣的土壌中運命試験③.....	22
(4) 好氣的／嫌氣的土壌中運命試験.....	22
(5) 土壌吸脱着試験.....	23
4. 水中運命試験.....	23
(1) 加水分解試験（緩衝液）.....	23
(2) 水中光分解試験（緩衝液）.....	23
(3) 水中光分解試験（自然水）.....	23
5. 土壌残留試験.....	24
6. 作物等残留試験.....	24

(1) 作物残留試験	24
(2) 畜産物残留試験	24
7. 一般薬理試験	25
8. 急性毒性試験	26
(1) 急性毒性試験	26
(2) 急性神経毒性試験	27
9. 眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験	27
10. 亜急性毒性試験	27
(1) 90日間亜急性毒性試験(ラット)	27
(2) 90日間亜急性毒性試験(マウス)	29
(3) 90日間亜急性毒性試験(イヌ)	29
(4) 90日間亜急性神経毒性試験(ラット)	30
(5) 代謝物F001の90日間亜急性毒性試験(ラット)	31
(6) 代謝物F002の90日間亜急性毒性試験(ラット)	31
11. 慢性毒性試験及び発がん性試験	32
(1) 1年間慢性毒性試験(イヌ)	32
(2) 2年間慢性毒性/発がん性併合試験(ラット)	33
(3) 18か月間発がん性試験(マウス)	35
12. 生殖発生毒性試験	36
(1) 2世代繁殖試験(ラット)	36
(2) 発生毒性試験(ラット)	38
(3) 発生毒性試験(ウサギ)	38
(4) 代謝物F001の発生毒性試験(ウサギ)	39
(5) 代謝物F002の発生毒性試験(ウサギ)	39
(6) 代謝物F048の発生毒性試験(ウサギ)	39
13. 遺伝毒性試験	39
14. その他の試験	43
(1) 肝酵素誘導試験(ラット)	43
(2) 甲状腺機能試験(ラット)	44
(3) 肝細胞増殖反応試験(ラット)	45
III. 食品健康影響評価	48
・別紙1: 代謝物/分解物略称	53
・別紙2: 検査値等略称	56
・別紙3: 作物残留試験成績(海外)	58
・別紙4: 畜産物残留試験(海外)	175
・参照	183

## ＜審議の経緯＞

### －第1版関係－

- 2012年 7月 10日 インポートトレランス設定の要請（だいず、小麦等）
- 2012年 8月 21日 厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発食安 0821 第3号）、関係書類の接受（参照1～63）
- 2012年 8月 27日 第444回食品安全委員会（要請事項説明）
- 2012年 11月 9日 第19回農薬専門調査会評価第二部会
- 2012年 12月 5日 第20回農薬専門調査会評価第二部会
- 2013年 1月 25日 第90回農薬専門調査会幹事会
- 2013年 2月 18日 第463回食品安全委員会（報告）
- 2013年 2月 19日 から3月20日まで 国民からの意見・情報の募集
- 2013年 3月 25日 農薬専門調査会座長から食品安全委員会委員長へ報告
- 2013年 4月 1日 第469回食品安全委員会（報告）  
（同日付け厚生労働大臣へ通知）（参照64）

### －第2版関係－

- 2014年 7月 23日 インポートトレランス設定の要請（いちご、ブルーベリー等）
- 2014年 9月 9日 厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発食安 0909 第6号）、関係書類の接受（参照65～68）
- 2014年 9月 16日 第530回食品安全委員会（要請事項説明）
- 2014年 11月 5日 第116回農薬専門調査会幹事会
- 2014年 12月 3日 第117回農薬専門調査会幹事会
- 2014年 12月 16日 第542回食品安全委員会（報告）
- 2014年 12月 17日 から2015年1月15日まで 国民からの意見・情報の募集
- 2015年 2月 16日 第119回農薬専門調査会幹事会
- 2015年 2月 19日 農薬専門調査会座長から食品安全委員会委員長へ報告
- 2015年 3月 3日 第551回食品安全委員会（報告）  
（同日付け厚生労働大臣へ通知）

## ＜食品安全委員会委員名簿＞

（2012年7月1日から）

- 熊谷 進（委員長）  
佐藤 洋（委員長代理）  
山添 康（委員長代理）  
三森国敏（委員長代理）  
石井克枝

上安平冽子  
村田容常

＜食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿＞

(2014年3月31日まで)

- ・幹事会
    - 納屋聖人（座長） 上路雅子 松本清司
    - 西川秋佳\*（座長代理） 永田 清 山手丈至\*\*
    - 三枝順三（座長代理\*\*） 長野嘉介 吉田 緑
    - 赤池昭紀 本間正充
  - ・評価第一部会
    - 上路雅子（座長） 津田修治 山崎浩史
    - 赤池昭紀（座長代理） 福井義浩 義澤克彦
    - 相磯成敏 堀本政夫 若栗 忍
  - ・評価第二部会
    - 吉田 緑（座長） 桑形麻樹子 藤本成明
    - 松本清司（座長代理） 腰岡政二 細川正清
    - 泉 啓介 根岸友恵 本間正充
  - ・評価第三部会
    - 三枝順三（座長） 小野 敦 永田 清
    - 納屋聖人（座長代理） 佐々木有 八田稔久
    - 浅野 哲 田村廣人 増村健一
  - ・評価第四部会
    - 西川秋佳\*（座長） 川口博明 根本信雄
    - 長野嘉介（座長代理\*；  
座長\*\*） 代田眞理子 森田 健
    - 山手丈至（座長代理\*\*） 玉井郁巳 與語靖洋
    - 井上 薫\*\*
- \*：2013年9月30日まで  
\*\*：2013年10月1日から

(2014年4月1日から)

- ・幹事会
  - 西川秋佳（座長） 小澤正吾 林 真
  - 納屋聖人（座長代理） 三枝順三 本間正充
  - 赤池昭紀 代田眞理子 松本清司
  - 浅野 哲 永田 清 與語靖洋
  - 上路雅子 長野嘉介 吉田 緑
- ・評価第一部会
  - 上路雅子（座長） 清家伸康 藤本成明
  - 赤池昭紀（座長代理） 林 真 堀本政夫
  - 相磯成敏 平塚 明 山崎浩史
  - 浅野 哲 福井義浩 若栗 忍
  - 篠原厚子

- ・評価第二部会
 

吉田 緑 (座長)	腰岡政二	細川正清
松本清司 (座長代理)	佐藤 洋	本間正充
小澤正吾	杉原数美	山本雅子
川口博明	根岸友恵	吉田 充
桑形麻樹子		
- ・評価第三部会
 

三枝順三 (座長)	高木篤也	中山真義
納屋聖人 (座長代理)	田村廣人	八田稔久
太田敏博	中島美紀	増村健一
小野 敦	永田 清	義澤克彦
- ・評価第四部会
 

西川秋佳 (座長)	佐々木有	本多一郎
長野嘉介 (座長代理)	代田眞理子	森田 健
井上 薫	玉井郁巳	山手丈至
加藤美紀	中塚敏夫	與語靖洋

**<第 19 回農薬専門調査会評価第二部会専門参考人名簿>**

小澤正吾                      長尾哲二

**<第 20 回農薬専門調査会評価第二部会専門参考人名簿>**

小澤正吾                      長尾哲二

**<第 90 回農薬専門調査会幹事会専門参考人名簿>**

小澤正吾                      林 真

## 要 約

カルボキシアミド系の殺菌剤「フルキサピロキサド」(CAS No. 907204-31-3)について、各種試験成績等を用いて食品健康影響評価を実施した。なお、今回、作物残留試験(いちご、ブルーベリー等)の成績等が新たに提出された。

評価に用いた試験成績は、動物体内運命(ラット、ヤギ及びニワトリ)、植物体内運命(小麦、トマト等)、作物等残留、亜急性毒性(ラット、マウス及びイヌ)、亜急性神経毒性(ラット)、慢性毒性(イヌ)、慢性毒性/発がん性併合(ラット)、発がん性(マウス)、2世代繁殖(ラット)、発生毒性(ラット及びウサギ)、遺伝毒性等の試験成績である。

各種毒性試験結果から、フルキサピロキサド投与による影響は主に肝臓(小葉中心性肝細胞肥大、脂肪化:マウス、肝細胞色素沈着)、甲状腺(ろ胞細胞肥大/過形成:ラット)、骨(骨化過剰:ラット)及び歯(白変:ラット及びマウス)に認められた。繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。

ラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験では、肝臓において、雌雄で肝臓腫瘍が増加し、甲状腺において、雄で腺腫及び癌の合計が増加したが、メカニズム試験及び遺伝毒性試験の結果から、腫瘍発生機序は遺伝毒性メカニズムによるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

ラットを用いた90日間亜急性毒性試験の雄、90日間亜急性神経毒性試験の雌及び2世代繁殖試験の親動物の雌雄では無毒性量が設定できなかったが、これらに比し、より低用量かつ長期間行われたラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験では無毒性量2.1 mg/kg 体重/日が得られており、2.1 mg/kg 体重/日がラットの無毒性量として妥当と考えられた。

各種試験結果から、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をフルキサピロキサド(親化合物のみ)と設定した。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験の2.1 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100で除した0.021 mg/kg 体重/日を一日摂取許容量(ADI)と設定した。

また、フルキサピロキサドの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験の125 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数100で除した1.2 mg/kg 体重を急性参照用量(ARfD)と設定した。

## I. 評価対象農薬の概要

### 1. 用途

殺菌剤

### 2. 有効成分の一般名

和名：フルキサピロキサド

英名：fluxapyroxad

### 3. 化学名

#### IUPAC

和名：3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-(3',4',5'-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1*H*ピラゾール-4-カルボキサミド

英名：3-(difluoromethyl)-1-methyl-*N*-(3',4',5'-trifluorobiphenyl-2-yl)-1*H*pyrazole-4-carboxamide

#### CAS (No. 907204-31-3)

和名：3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-(3',4',5'-トリフルオロ[1,1'-ビフェニル]-2-イル)-1*H*ピラゾール-4-カルボキサミド

英名：3-(difluoromethyl)-1-methyl-*N*-(3',4',5'-trifluoro[1,1'-biphenyl]-2-yl)-1*H*pyrazole-4-carboxamide

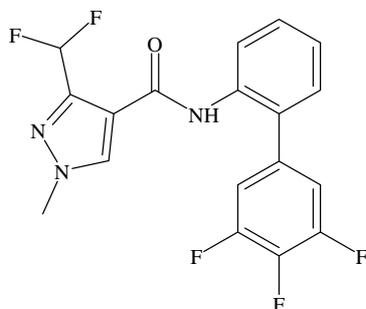
### 4. 分子式

$C_{18}H_{12}F_5N_3O$

### 5. 分子量

381.3

### 6. 構造式



### 7. 開発の経緯

フルキサピロキサドは、BASF 社によって開発されたカルボキサミド系の殺

菌剤で、ミトコンドリア内呼吸鎖複合体Ⅱに作用し殺菌効果を示すと考えられている。

日本では農薬として登録されておらず、米国及び欧州では農薬として登録されている。

今回、インポートトレランス設定の要請（いちご、ブルーベリー等）がなされている。

## II. 安全性に係る試験の概要

各種運命試験 [II. 1~4] はフルキサピロキサドのピラゾール環 4 位の炭素を  $^{14}\text{C}$  で標識したもの（以下「[pyr- $^{14}\text{C}$ ] フルキサピロキサド」という。）、アニリンのフェニル基を  $^{14}\text{C}$  で均一に標識したもの（以下「[phe- $^{14}\text{C}$ ] フルキサピロキサド」という。）及びトリフルオロフェニル基のフェニル基を  $^{14}\text{C}$  で均一に標識したもの（以下「[tri- $^{14}\text{C}$ ] フルキサピロキサド」という。）を用いて実施された。放射能濃度及び代謝物濃度は、特に断りがない場合は比放射能（質量放射能）からフルキサピロキサドに換算した値（mg/kg 又は $\mu\text{g/g}$ ）を示した。代謝物/分解物略称及び検査値等略称は別紙 1 及び 2 に示されている。

### 1. 動物体内運命試験

#### (1) ラット

##### ①吸収

##### a. 血中濃度推移

Wistar ラット（一群雌雄各 4 匹）に[phe- $^{14}\text{C}$ ] フルキサピロキサドを 5、50 又は 500 mg/kg 体重で単回経口投与し、血中濃度推移について検討された。

各投与群における血漿中薬物動態学的パラメータは表 1 に示されている。

AUC は 500 mg/kg 体重投与群では雌の方が雄よりも高値を示した。（参照 1、2）

表 1 血漿中薬物動態学的パラメータ

投与量	5 mg/kg 体重		50 mg/kg 体重		500 mg/kg 体重	
	雄	雌	雄	雌	雄	雌
$C_{\max}$ ( $\mu\text{g/g}$ )	1.85	1.57	13.4	11.8	65.3	66.1
$T_{\max}$ (hr)	1	1	8	8	24	24
$T_{1/2}$ (hr)	34.3	30.1	37.2	36.0	53.2	38.5
AUC (hr · $\mu\text{g/g}$ )	45.4	35.7	435	532	4,220	5,670

##### b. 吸収率

胆汁中排泄試験 [1. (1) ④b] における低用量投与群の尿、胆汁及び組織中の放射能から推定した吸収率は、少なくとも 72%であった。（参照 1、2）

##### ②分布

Wistar ラット（一群雌雄各 3 又は 4 匹）に[phe- $^{14}\text{C}$ ] フルキサピロキサドを 7.5 mg/kg 体重（以下 [1. (1)] において「低用量」という。）若しくは 150 mg/kg 体重（以下 [1. (1)] において「高用量」という。）で単回経口投与、又は高用量のフルキサピロキサドを 14 日間反復経口投与後、15 日目に[phe- $^{14}\text{C}$ ] フルキサピロキサドを高用量で単回経口投与（以下 [1. (1)] において「14 日間反復投与」という。）し、体内分布試験が実施された。

単回投与群の主要組織における残留放射能濃度は表 2 に示されている。  
 消化管以外では、胃、副腎、肝臓及び甲状腺で高い放射能分布が認められた。  
 また、投与 48、72 又は 80 時間後では、約 90% TAR 以上が排泄された。  
 最終投与 168 時間後の組織中の残留放射能の合計は単回投与及び 14 日間反復  
 投与のいずれにおいても 0.25~0.68% TAR と僅かであった。(参照 1、2)

表 2 単回投与群の主要組織における残留放射能濃度 (µg/g)

投与量	性別	T <sub>max</sub> 付近 <sup>a</sup>	48、72 又は 80 時間後 <sup>b</sup>
7.5 mg/kg 体重	雄	胃内容物(119)、腸内容物(34.5)、 胃(34.2)、副腎(13.6)、肝臓 (11.9)、甲状腺(9.91)、腸(9.51)、 膵臓(5.91)、腎臓(4.98)、脂肪組織 (4.80)、心臓(4.40)、肺(3.98)、 脳(2.96)、骨髄(2.61)、皮膚 (2.41)、脾臓(2.39)、血漿(2.28)	腸内容物(7.52)、腸(1.02)、 肝臓(0.57)、甲状腺(0.37)、腎臓 (0.17)、副腎(0.17)、血漿(0.12)
	雌	胃内容物(264)、腸内容物(42.3)、 胃(33.3)、副腎(21.0)、肝臓 (13.7)、腸(12.2)、甲状腺(10.7)、 膵臓(9.30)、脂肪組織(6.82)、卵巣 (6.61)、肺(6.13)、腎臓(5.80)、心 臓(5.10)、脳(4.45)、皮膚(4.09)、 カーカス <sup>1</sup> (3.79)、骨髄(3.23)、脾臓 (3.10)、筋肉(2.51)、血漿(2.15)	腸内容物(13.3)、腸(2.04)、脂肪組 織(0.90)、肝臓(0.85)、副腎 (0.52)、甲状腺(0.48)、卵巣 (0.44)、腎臓(0.30)、胃(0.29)、膵 臓(0.28)、骨髄(0.23)、血漿(0.22)
150 mg/kg 体重	雄	腸内容物(843)、胃内容物(798)、胃 (143)、腸(84.4)、肝臓(38.1)、脂肪 組織(33.4)、副腎(18.4)、甲状腺 (17.0)、血漿(14.5)	腸内容物(26.8)、肝臓(7.94)、腎臓 (2.88)、甲状腺(1.98)、腸(1.52)、 胃(1.06)、血漿(1.06)
	雌	胃内容物(7,730)、腸内容物 (1,060)、胃(369)、腸(188)、肝臓 (72.3)、脂肪組織(70.8)、副腎 (53.1)、甲状腺(52.7)、膵臓 (38.6)、卵巣(36.8)、腎臓(24.6)、 心臓(23.5)、血漿(23.4)	腸内容物(169)、胃内容物(42.3)、 腸(16.8)、肝臓(11.5)、血漿(3.93)

<sup>a</sup> : 雌雄とも低用量群は投与 1 時間後、高用量群では投与 16 時間後

<sup>b</sup> : 低用量群は雌雄とも投与 48 時間後、高用量群の雄は 72 時間後、雌は 80 時間後

### ③代謝

排泄試験 [1. (1)④] で得られた尿、糞及び胆汁並びに Wistar ラット (一群  
 雌雄各 4 匹) に [phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド又は [pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサ  
 ドを高用量で単回経口投与して得られた尿及び糞、[pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサ  
 ドを低用量又は高用量で単回経口投与して得られた肝臓、腎臓、血漿及び脂肪  
 を用いて、代謝物同定・定量試験が実施された。

<sup>1</sup> 組織・臓器を取り除いた残渣のことをカーカスという (以下同じ。)

各投与群の尿、糞及び胆汁中の代謝物は表 3 に示されている。

尿中には未変化のフルキサピロキサドは認められず、抱合体を含む多数の代謝物が認められた。糞中には未変化のフルキサピロキサド及び 7 種の代謝物が検出され、尿及び糞で認められた主要な代謝物に性別、投与量及び投与回数による差は認められなかったが、代謝物の組成には投与量と雌雄間で量的変動が認められた。胆汁中には未変化のフルキサピロキサドは認められず、ほとんどがグルクロン酸又はグルタチオン由来の抱合体であった。

[pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド投与群において、低用量では 1 時間後、高用量では 16 時間後の肝臓、腎臓、血漿及び脂肪中に認められた未変化のフルキサピロキサドは、低用量群の雌雄の肝臓で 3.03~3.66%TAR、高用量群及び低用量群の雌の脂肪で 1.55~2.72%TAR 認められたほかはいずれも 0.5%TAR 以下と僅かであった。組織中に認められた代謝物はいずれも 1%TAR 未満と僅かであり、尿、糞及び胆汁中に認められた代謝物と同様であった。

フルキサピロキサドのラット体内における主な代謝経路は、①ビフェニル環の水酸化、②ビフェニル環のフッ素原子の消失、③ピラゾール環の *N*-脱メチル化、④ 水酸基のグルクロン酸、グルタチオン誘導体又は硫酸との抱合、であると考えられた。(参照 1、3)

表 3 各投与群の尿、糞及び胆汁中の代謝物 (%TAR)

標識化合物	群	投与量	性別	試料	投与後時間	フルキサピロキサド	代謝物
[phe- <sup>14</sup> C]	単回	7.5 mg/kg 体重	雄	尿	120	ND	F014(3.09)、F004(1.61)、F015(1.41)、F005/F024(1.12)、F009/F028(1.03)、F020(0.13)、F011(0.05)、F023(0.03)
			雌			ND	F014(8.60)、F009(3.70)、F004(0.63)、F061(0.63)、F015(0.45)、F020(0.20)、F011(0.14)、F016(0.07)
			雄	糞	144	2.51	F009(22.2)、F006(13.3)、F016(11.8)、F005(9.44)、F010(4.83)、F024(2.90)、F008(0.61)
			雌			3.32	F009(53.0)、F005(8.70)、F006(3.42)、F016(3.31)、F024(3.13)、F010(2.34)、F008(1.69)
			雄	胆汁	72	ND	F004(14.0)、F009/F125(9.85)、F005/F024(9.83)、F014/F122(5.41)、F015/F123(3.27)、F118(3.14)、F117(2.20)、F120/F121(1.73)、F113(1.26)、F006(0.97)、F042(0.73)、F115/F116(0.61)、F032(0.37)、F124(0.24)
			雌			ND	F014/F122(22.0)、F009/F125(13.2)、

							F004(10.8)、F005/F024(4.23)、 F015/F123(3.91)、F117(1.59)、 F042(1.26)、F113(1.25)、F118(0.85)、 F115/F116(0.33)、F006(0.16)、 F120/F121(0.14)、F124(0.06)、 F032(0.03)
[phe- <sup>14</sup> C]	单回	150 mg/ kg 体重	雄	尿	96	ND	F005/F024(0.76)、F009/F028(0.51)、 F014(0.40)、F015(0.40)、F004(0.30)、 F016(0.10)、F020(0.04)、F023(0.01)
			雌			ND	F009(3.34)、F014(2.26)、F061(1.22)、 F004(0.39)、F015(0.17)、F011(0.08)、 F020(0.05)、F016(0.02)
			雄	粪	96	43.8	F009(7.63)、F006(6.69)、F016(5.43)、 F005(3.53)、F024(2.62)、F010(2.49)
			雌			33.6	F009(18.2)、F024(4.90)、F005(4.50)、 F006(4.45)、F016(2.91)、F010(2.26)、 F008(0.55)
[phe- <sup>14</sup> C]	单回	150 mg/ kg 体重	雄	胆汁	60	ND	F004(21.2)、F014/F122(9.64)、 F015/F123(6.66)、F009/F125(4.18)、 F117(3.80)、F005/F024(3.36)、 F118(3.01)、F113(2.20)、 F120/F121(1.98)、F115/F116(0.75)、 F042(0.32)、F006(0.18)、F032(0.11)
			雌		72	ND	F004(19.5)、F014/F122(10.9)、 F015/F123(10.1)、F113(8.62)、 F009/F125(7.25)、F005/F024(4.58)、 F117(4.32)、F118(1.10)、 F120/F121(0.95)、F115/F116(0.71)、 F006(0.31)、F124(0.31)、F042(0.26)、 F032(0.25)
[phe- <sup>14</sup> C]	单回	150 mg/ kg 体重	雄	尿	168	ND	F014(0.94)、F015(0.82)、F004(0.58)、 F009/F028(0.55)、F005/F024(0.39)、 F016(0.25)、F020(0.09)、F011(0.04)、 F023(0.01)
			雌			ND	F014(2.86)、F009(1.35)、F015(0.62)、 F004(0.25)、F061(0.23)、F011(0.06)、 F020(0.06)
			雄	粪		30.2	F009(11.4)、F006(7.13)、F016(6.89)、 F005(5.49)、F010(3.14)、F024(2.22)、 F008(0.78)
			雌			23.4	F009(19.2)、F006(5.47)、F024(5.01)、 F005(4.94)、F010(2.41)、F016(1.98)、 F008(0.90)
[pyr- <sup>14</sup> C]			雄	尿	168	ND	F014(1.20)、F004(0.72)、F015(0.71)、 F009/F028(0.56)、F001(0.20)、 F005/F024(0.16)、F002(0.07)、 F011(0.07)、F020(0.06)、 F026/F027(0.06)、F023(0.04)、

						F016(0.03)、F025(0.01)	
			雌		ND	F014(4.82)、F015(0.97)、F009(0.84)、F004(0.82)、F061(0.23)、F001(0.12)、F011(0.05)、F016(0.05)、F002(0.04)、F020(0.04)	
			雄	糞	96	18.6	F009(14.1)、F006(9.16)、F016(8.72)、F005(6.08)、F010(3.91)、F024(2.58)、F008(1.09)
			雌		168	26.3	F009(22.5)、F005(6.82)、F006(5.88)、F024(4.54)、F010(2.43)、F016(2.24)、F008(1.12)
[phe- <sup>14</sup> C]	反復	150 mg/kg 体重	雄	尿	120	ND	F015(2.14)、F014(0.99)、F005/F024(0.82)、F004(0.58)、F009/F028(0.42)、F020(0.27)、F011(0.18)、F016(0.04)
			雌			ND	F009(3.47)、F061(1.95)、F014(0.56)、F004(0.53)、F015(0.48)、F016(0.36)、F011(0.08)、F020(0.05)
			雄	糞		30.5	F016(9.46)、F009(8.95)、F006(7.76)、F024(3.40)、F010(3.23)、F005(2.72)、F008(0.34)
			雌			30.7	F009(10.6)、F024(7.30)、F006(6.20)、F005(5.22)、F016(4.17)、F010(1.86)、F008(0.34)

ND : 検出されず

[phe-<sup>14</sup>C] : [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド      [pyr-<sup>14</sup>C] : [pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド

#### ④排泄

##### a 尿及び糞中排泄

Wistar ラット（一群雌雄各 4 匹）に[phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサドを低用量若しくは高用量で単回経口投与又は高用量で反復経口投与し、尿、糞及び呼気中排泄試験が実施された。

投与後 72 時間（単回投与群）及び最終投与後 168 時間（反復投与群）の尿及び糞中排泄率は表 4 に示されている。

尿及び糞中排泄率は単回投与群では投与後 72 時間で 87.3~108%TAR、反復投与群では最終投与後 168 時間で 93.2%TAR 以上であり、主に糞中へ排泄された。

単回投与群の雄 2 匹について、投与 48 時間後の呼気中の放射能濃度が測定されたが、呼気中への排泄率はいずれも 2%TAR 未満と僅かであった。（参照 1、2）

表 4 投与後 72 時間（単回投与群）及び最終投与後 168 時間（反復投与群）  
の尿及び糞中排泄率（%TAR）

群	単回				反復	
	7.5 mg/kg 体重		150 mg/kg 体重		150 mg/kg 体重	
性別	雄	雌	雄	雌	雄	雌
尿	9.72	16.0	3.22	8.31	6.82	9.39
糞	87.5	91.9	84.1	81.6	86.4	84.4
排泄合計	97.2	108	87.3	89.9	93.2	93.8
組織残留 <sup>a</sup>	0.69	0.67	0.26	0.30	0.45	0.41
合計	98.8	110	88.4	91.0	94.3	95.2

<sup>a</sup>：投与 168 時間後の脳、心臓、脂肪組織、肝臓、肺、筋肉、胃/内容物、腸/内容物、脾臓、腎臓、膵臓、甲状腺、副腎、精巣、卵巣、子宮、皮膚、骨、骨髄、血球、血漿及びカーカス

### b. 胆汁中排泄

胆管カニューレを挿入した Wistar ラット（一群雌雄各 4 匹）に [phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサドを低用量又は高用量で単回経口投与し、胆汁中排泄試験が実施された。

投与後 72 時間の尿、糞及び胆汁中排泄率は表 5 に示されている。

放射能は投与後 72 時間で 70.8～82.3%TAR が尿、糞及び胆汁中へ排泄され、主に胆汁を介し糞中へ排泄された。

胆汁中への排泄は、雄で投与後 48 時間に 58.2～53.6%TAR、雌で 49.4～56.6%TAR であった。（参照 1、2）

表 5 投与後 72 時間の尿、糞及び胆汁中排泄率（%TAR）

投与量	7.5 mg/kg 体重		150 mg/kg 体重	
	雄	雌	雄	雌
尿	11.5	20.6	3.08	2.94
糞	3.29	5.01	18.8	16.2
胆汁	56.0	55.8	58.9 <sup>a</sup>	63.2
排泄合計	70.8	81.4	80.8	82.3
胃腸管合計 <sup>b</sup>	8.62	6.39	13.4	5.54
カーカス	3.88	2.99	2.21	0.95
合計	83.3	90.8	96.4	88.8

<sup>a</sup>：高用量群の雄では投与後 60 時間の胆汁が測定された。

<sup>b</sup>：胃内容物、胃、腸内容物及び腸の合計

## （2）畜産動物（ヤギ）

泌乳期ヤギ（Deutsche Bunte Edelziege 系、雌 2 頭）に [phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド又は [pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサドを 8 日間反復強制経口（原体：[phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサドで 0.42 mg/kg 体重/日、[pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサドで 0.41 mg/kg 体重/日）投与し、動物体内運命試験が実施された。

投与後 8 日の乳汁及び最終投与 23 時間後の組織における総残留放射能濃度並

びに代謝物は表 6 に示されている。

乳汁中の残留放射能濃度は、投与 8 日後まで 0.008～0.042  $\mu\text{g/g}$  の範囲で推移した。肝臓では抽出残渣に 68.4～74.4%TRR の放射能が検出されたが、加水分解後に代謝産物の分析を行ったところ、表 6 に示す試料で同定された代謝物は認められなかった。

投与後 8 日の尿及び糞中への排泄率は、79.8～83.3%TAR であり、約 60%TAR が糞中へ排泄された。

尿、糞及び胆汁中の総残留放射能濃度及び代謝物は表 7 に示されている。

フルキサピロキサドの主な代謝経路はラットと同様で、ピラゾール環の脱メチル化及びビフェニル環の水酸化であり、その後、脱メチル化、酸化抱合化を受けると考えられた。標識化合物による代謝物の差はほとんど認められなかった。(参照 1、4、5)

表 6 投与後 8 日の乳汁及び最終投与 23 時間後の組織における総残留放射能濃度並びに代謝物

標識化合物	試料	総残留放射能濃度 ( $\mu\text{g/g}$ )	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	肝臓	0.348	3.2	F008(16.7)、F005(6.4)、F009(2.3)、F004(1.9)、F010/F040(0.7)	76.6
	腎臓	0.036	7.0	F008(25.6)、F004(13.1)、F038/F039/F111(9.0)、F034/F036(5.2)、F005/F024(5.2)、F015(5.2)、F014(3.5)、F010/F040(3.1)、F046/F047(3.1)、F009(2.0)	16.5
	筋肉	0.007	12.0	F008(54.7)	22.9
	脂肪	0.021	43.6	F008(25.9)、F005/F024(3.4)	不明
	乳汁	0.011	13.0	F008(23.9)、F010/F040(12.3)、F009(5.5)	2.8
[pyr- <sup>14</sup> C]	肝臓	0.555	3.7	F008(12.8)、F005(8.3)、F004(2.6)、F009(2.5)	68.4
	腎臓	0.078	5.4	F008(22.5)、F005/F024(19.2)、F004(12.3)、F038/F039/F111(5.1)、F034/F036(4.9)、F046/F047(4.4)、F015(4.1)、F010/F040(4.0)、F009(3.6)、F014(3.0)	8.5
	筋肉	0.009	ND	F008(82.9)	11.5
	脂肪	0.025	34.1	F008(25.8)、F005/F024(13.7)、F004(6.1)、F010/F040(3.7)	10.1
	乳汁	0.017	19.8	F008(25.4)、F010/F040(15.0)、F009(5.7)	4.9

ND：検出されず

[phe-<sup>14</sup>C]：[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

[pyr-<sup>14</sup>C]：[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

表 7 尿、糞及び胆汁中の総残留放射能濃度及び代謝物

標識化合物	試料	総残留放射能濃度 (µg/g)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	尿 <sup>a</sup>	1.86	ND	F008/F006(35.8)、F005/F024(32.6)、F046/F047(9.3)、F009(8.8)、F041/F042/F043/F044(2.6)、F010/F040(2.6)、F038/F039/F111(2.5)、F034/F036(1.3)	
	糞 <sup>a</sup>	1.92	4.0	F005/F024(35.1)、F009(20.2)、F008/F006(9.5)、F010(2.7)、F033(1.9)	18.6
	胆汁 <sup>b</sup>	7.33	n.d.	F004(55.3)、F014(25.1)、F015(10.2)、F112(0.8)	
[pyr- <sup>14</sup> C]	尿 <sup>a</sup>	4.28	ND	F005/F024(34.4)、F008/F006(13.7)、F046/F047(10.3)、F009(8.4)、F034/F036(6.2)、F010/F040(3.0)、F038/F039/F111(2.8)、F041/F042/F043/F044(1.4)、F004(1.3)	
	糞 <sup>a</sup>	1.76	2.0	F005/F024(50.5)、F009(18.0)、F008/F006(7.8)、F010(3.8)、F033(1.4)	16.8
	胆汁 <sup>b</sup>	6.56			

注) 尿及び胆汁試料は抽出せずに分析された。

ND : 検出されず / : なし a : 投与後 8 日の試料 b : 最終投与 23 時間後に採取

[phe-<sup>14</sup>C] : [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド [pyr-<sup>14</sup>C] : [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

### (3) 畜産動物 (ニワトリ)

産卵期ニワトリ (褐色レグホン種、雌 12 羽) に [phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサドを 12 日間反復強制経口 (原体 : 0.76 mg/kg 体重/日) 投与し、動物体内運命試験が実施された。

最終投与 23 時間後の組織中総残留放射能は、肝臓で 0.238 µg/g (0.06%TAR)、胃腸管内容物及び胃腸管組織で 0.795 µg/g (0.22%TAR) 及び 0.152 µg/g (0.09%TAR) と高い残留が認められた。血液、腿肉、胸肉及び脂肪中の残留放射能は、0.010~0.060 µg/g (0.02%TAR 以下) であった。卵は投与 12 日後まで 0.004~0.079 µg/g の範囲で推移し、投与 12 日後が最大であった。

組織及び卵中の残留放射能濃度及び代謝物は表 8 に示されている。

投与後 12 日の排泄物中に 86.1%TAR が回収され、放射能の成分には未変化のフルキサピロキサド及び組織中に認められた代謝物と同様な代謝物が検出された。(参照 1、6、7)

表 8 組織及び卵中の総残留放射能濃度及び代謝物

試料	総残留放射能濃度 ( $\mu\text{g/g}$ )	フルキサピロキサド		代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
		( $\mu\text{g/g}$ )	(%TRR)		
肝臓	0.210	0.002	1.0	F024(7.3)、F009/F038(5.6)、 F063(5.0)、F005(4.4)、 F008/F016(4.3)、F047(1.7)	4.7 <sup>a</sup>
腿肉	0.010	0.0011	17.6	F008/F016(25.7)、F005(4.3)	27.5
脂肪	0.059	0.023	63.3	F008(25.3)、F005(1.7)	0.3
卵	0.077	0.009	13.5	F008 (49.9)、F005(7.6)、 F009/F038(5.7)、F004(4.8)	9.0

注) 組織は最終投与 23 時間後に採取、卵は投与 7~12 日後に採取、均質化された。

<sup>a</sup>: 抽出残渣をプロナーゼ処理した最終残渣

## 2. 植物体内運命試験

### (1) トマト

トマト (品種: Cedel) をポットに移植し、乳剤に調製した [phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド又は [pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサドを約 100 g ai/ha の用量で植え付け 55、62 及び 69 日後の計 3 回葉面処理し、最終処理 3 日後の茎葉及び成熟果実を採取して、植物体内運命試験が実施された。

最終処理 3 日後の試料中の総残留放射能及び代謝物は表 9 に示されている。茎葉及び果実中で 10%TRR を超えて認められた代謝物は存在しなかった。(参照 1、8)

表 9 最終処理 3 日後の試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	総残留放射能濃度 (mg/kg)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	茎葉	6.70	90.1	F008(2.7)、F075/F076(1.4)、 F048(0.8)	1.7
	果実	0.166	94.4	F008(1.4)	1.7
[pyr- <sup>14</sup> C]	茎葉	4.46	92.0	F008(2.8)、F075/F076(0.1)	1.4
	果実	0.112	98.5	ND	0.8

ND: 検出されず

[phe-<sup>14</sup>C]: [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

[pyr-<sup>14</sup>C]: [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

### (2) だいず

だいず (品種: Pioneer 9091) をポットに移植し、乳剤に調製した [phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド又は [pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサドを約 600 g ai/ha の用量で播種 143、150 及び 164 日後の計 3 回葉面処理し、1 回目処理直後、2 回目処理 14 日後、最終処理 22、29 及び 34 日後に試料を採取して、植物体内運命試験が実施された。

各試料中の総残留放射能及び代謝物は表 10 に示されている。

種皮及び子実の抽出残渣の可溶化処理によって、種皮からは未変化のフルキサピロキサドが 0.2~1.5%TRR 検出された。だいで子実における主要代謝物として [phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド処理区で F048 が 19.9%TRR (0.023 mg/kg)、[pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド処理区で F002 が 33.4%TRR (0.087 mg/kg) 認められた。(参照 1、9)

表 10 各試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	採取日 (処理後 日数)	総残留 放射能 濃度 (mg/kg)	フルキサ ピロキサ ド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出 残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	1 回目処理 直後	6.41	97.7	F006/F008(0.6)	1.0
	青刈り 茎葉	2 回目処理 14 日後	5.09	93.8	F006/F008(1.2)、F048(0.6)	2.9
	落葉	3 回目処理 22-34 日後	61.2	88.6	F048(1.6)、F006/F008(0.9)	4.1
	わら	3 回目処理 34 日後	1.01	92.5	F048(0.8)、F006/F008(0.8)	4.9
	種皮		2.74	62.6	F006/F008(4.2)、F048(2.6)	19.0
	子実		0.115	21.2	F048(19.9)、 F006/F008(4.0)	22.3
[pyr- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	1 回目処理 直後	4.37	97.6	F006/F008(1.5)	0.8
	青刈り 茎葉	2 回目処理 14 日後	4.67	91.7	F006/F008(2.4)、F048(1.2)	3.1
	落葉	3 回目処理 22-34 日後	54.3	86.4	F048(2.2)、F006/F008(1.1)	4.8
	わら	3 回目処理 34 日後	0.837	89.5	F006/F008(1.2)	6.7
	種皮		2.24	53.8	F006/F008(5.5)、 F048(3.2)、F002(2.0)	21.4
	子実		0.260	7.4	F002(33.4)、F048(8.8)、 F006/F008(1.0)	7.7

[phe-<sup>14</sup>C] : [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

[pyr-<sup>14</sup>C] : [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

### (3) 小麦①

春小麦 (品種 : Thasos) をポットに播種し、[phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド若しくは[pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサドを 125 g ai/ha の用量で播種 42 及び 91 日後の計 2 回茎葉に噴霧処理し、1 回目処理 36 日後、2 回目処理 4 日後及び 2 回目処理 34 又は 35 日後に試料を採取して植物体内運命試験が実施された。

各試料中の総残留放射能及び代謝物は表 11 に示されている。

各試料中に 10%TRR を超える代謝物は認められなかった。もみ殻の抽出残渣中には可溶化処理後に未変化のフルキサピロキサドが 1.9~4.3%TRR 検出された。(参照 1、10)

表 11 各試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	採取日 (処理後 日数)	総残留放射能濃度 (mg/kg)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出 残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	1回目 処理 36日後	0.885	91.3	F008/F043/F041/F006(4.2)、 F048/F057(0.5)、F074(0.3)、 F042/F024/F005(0.3)、 F058(0.3)、F059/F060(0.2)	2.9
	乾燥 茎葉	2回目 処理 4日後	10.2	89.4	F008/F043/F041/F006(2.4)、 F048/F057(0.5)、 F042/F024/F005(0.3)、 F134/F133(0.3)、F074(0.2)、 F058(0.2)、F059/F060(0.1)	2.3
	わら	2回目 処理 35日後	19.3	83.8	F008/F043/F041/F006(2.8)、 F042/F024/F005(0.7)、 F048/F057(0.6)、F074(0.3)、 F058(0.3)、F059/F060(0.3)、 F134/F133(0.3)、 F131/F041/F0130/F058(0.2)	5.4
	もみ殻		6.73	80.1	F008/F043/F041/F006(6.2)、 F048/F057(0.6)、 F042/F024/F005(0.6)、 F074(0.4)、F134/F133(0.4)、 F058(0.3)、F059/F060(0.1)、 F082(0.1)	7.3
	子実		0.045	63.0	F008/F043/F041/F006(6.5)、 F131/F041/F0130/F058(0.3)	24.5
[pyr- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	1回目 処理 36日後	1.06	87.3	F008/F043/F041/F006(5.8)、 F058(1.2)、F048/F057(1.1)、 F036/F132(0.6)、F074(0.6)、 F007/F002(0.5)	4.0
	乾燥 茎葉	2回目 処理 4日後	10.3	86.6	F008/F043/F041/F006(3.3)、 F048/F057(0.6)、 F042/F024/F005(0.6)、 F058(0.4)、F007/F002(0.3)、 F074(0.3)、F134/F133(0.2)、 F036/F132(0.1)、F082(0.1)、 F059/F060(0.1)	2.5
	わら	2回目 処理 34日後	17.4	85.6	F008/F043/F041/F006(3.7)、 F042/F024/F005(0.7)、 F007/F002(0.5)、 F048/F057(0.5)、F058(0.4)、 F134/F133(0.4)、F074(0.3)、 F059/F060(0.2)、F082(0.2)、 F001(0.1)	5.2
	もみ殻		7.40	76.2	F008/F043/F041/F006(5.8)、	12.3

					F042/F024/F005(0.7)、 F134/F133(0.6)、 F007/F002(0.5)、 F048/F057(0.5)、F001(0.3)、 F074(0.2)、F082(0.2)、 F058(0.1)	
	子実		0.057	60.2	F008/F043/F041/F006(6.5)、 F131/F041/F0130/F058(0.6)、 F007/F002(0.5)	15.4

[phe-<sup>14</sup>C] : [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

[pyr-<sup>14</sup>C] : [pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド

#### (4) 小麦②

春小麦（品種：Thasos）の種子に[phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド又は[pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサドを 0.75 g ai/kg 種子（135 g ai/ha に相当）で処理し、処理 1 日後にポットに播種し、処理 93、112 及び 161 又は 162 日後に採取された試料を採取し、植物体内運命試験が実施された。

各試料中の総残留放射能及び代謝物は表 12 に示されている。

[phe-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド処理区の処理 112 日の乾燥茎葉中に F008 が 10.6%TRR 認められたほかに 10%TRR を超える代謝物は認められなかった。各試料中の抽出残渣の可溶化処理によって、最終残渣は 3.2~18.5%TRR となったが、遊離した成分中で同定された化合物は認められなかった。（参照 1、11）

表 12 各試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	採取日 (処理後 日数)	総残留放射能濃度 (mg/kg)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	処理 93 日後	0.285	78.8	F008(9.0)、F058(2.6)、 F048/F057(2.0)、 F042/F005(1.5)、F074(1.2)、 F036(0.8)	4.1
	乾燥 茎葉	処理 112 日 後	1.12	70.8	F008(10.6)、F058(3.4)、 F074(2.0)、F048/F057(2.0)、 F036(1.8)、F042/ F005(1.0)	7.6
	わら	処理 162 日 後	1.67	63.1	F008(8.0)、F058(3.2)、 F048/F057(2.3)、F036(1.7)、 F074(1.1)	12.3
	もみ殻		0.307	63.3	F008(9.5)、F042/ F005(0.7)、 F074(0.6)	25.9
	子実		0.019	16.8	F008(4.5)	61.0
[pyr- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	処理 93 日後	0.288	70.3	F008(8.4)、F058(3.3)、 F074(2.2)、F048/F057(2.0)、 F036(1.6)、F059 (1.2)、 F007(1.1)、F042/ F005(0.8)	5.7
	乾燥	処理	0.886	58.7	F008(8.1)、F058(3.6)、	10.1

	茎葉	112 日 後			F048/F057(3.5)、F074(2.1)、 F036(1.9)、F059(1.2)、F042/ F005(1.1)	
	わら	処理 161 日 後	1.87	65.1	F008(6.1)、F058(4.2)、 F074(2.4)、F036(2.3)、 F048/F057(1.9)、F059 (1.5)	11.0
	もみ殻		0.261	58.3	F008(9.6)	19.8
	子実		0.0322	7.1	F008(2.2)	64.1

[phe-<sup>14</sup>C] : [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

[pyr-<sup>14</sup>C] : [pyr-<sup>14</sup>C] フルキサピロキサド

植物体中におけるフルキサピロキサドの代謝は①ピラゾール環の脱メチル化、②カルボキサミド結合の加水分解による開裂、③ビフェニル環の水酸化、④ピラゾール環メチル基の水酸化、⑤ピラゾール分枝の *N*-グルコシル化により代謝され、次いで、抱合体を形成すると考えられた。

### 3. 土壤中運命試験

#### (1) 好氣的土壤中運命試験①

砂壤土（ドイツ）の土壤水分を最大容水量の 40%に調整し、常温暗所下で 3 日間プレインキュベートした後、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土（150 g ai/ha に相当）となるように処理し、加湿した CO<sub>2</sub> を通気した暗所下 20°Cで 120 日間インキュベートする好氣的土壤中運命試験が実施された。

推定半減期は、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 71.9 日、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 68.8 日であった。

処理 120 日後に未変化のフルキサピロキサドは、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 35.4%TAR、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 30.7%TAR 認められた。試験期間中に[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区では分解物 F008 が最大で 1.2%TAR、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で分解物 F001、F002 及び F008 がそれぞれ最大で 12.1、38.5 及び 0.3%TAR 認められた。

フルキサピロキサドの吸着率はインキュベーション期間に相関して高くなり、Freundlich の吸着係数  $K_{ads}$  は 6.85~29.1、有機炭素含有率により補正した吸着係数  $K_{adsoc}$  は 311~1,330 であった。（参照 1、12）

#### (2) 好氣的土壤中運命試験②

砂壤土（ドイツ）を 2 週間常温暗所でプレインキュベートした後、土壤水分を最大容水量の 40%に調整し、[tri-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土（150 g ai/ha に相当）となるように処理し、加湿した空気を通気した暗所下 20°Cで 120 日間インキュベートする好氣的土壤中運命試験が実施された。

推定半減期は、144 日であった。

処理 120 日後の抽出性放射能の主要成分は未変化のフルキサピロキサドであり、54.0% TAR 認められた。(参照 1、13)

### (3) 好氣的土壤中運命試験③

シルト質埴壤土(スペイン)、壤土(ドイツ)及びシルト質壤土(ドイツ)を最大容水量の 40%に調整し 20°Cで 4 日間プレインキュベートした後、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土(150 g ai/ha に相当)となるように処理し、暗所下 20/10°C<sup>2</sup>で 120 日間インキュベートする好氣的土壤中運命試験が実施された。

推定半減期は表 13 に示されている。

処理 120 日後の抽出性放射能の主要成分は未変化のフルキサピロキサドであり、71.7~90.2% TAR 認められた。分解物 F001 及び F002 が検出されたが、いずれも 2% TAR 未満であった。

フルキサピロキサドの吸着率は、壤土及びシルト質壤土でインキュベーション期間に相関して高くなり、Freundlich の吸着係数  $K_{ads}$  は壤土で 13.2~20.0、シルト質壤土で 21.6~40.0、有機炭素含有率により補正した吸着係数  $K_{adsoc}$  は壤土で 831~1,260、シルト質壤土で 1,290~2,360 であった。シルト質埴壤土では、Freundlich の吸着係数  $K_{ads}$  は 12.1~16.3、有機炭素含有率により補正した吸着係数  $K_{adsoc}$  は 410~555 であった。(参照 1、14)

表 13 フルキサピロキサドの推定半減期

土性	温度 (°C)	半減期 (日)
シルト質埴壤土	20	357
壤土	20	689
シルト質壤土	20	599
	10	810

### (4) 好氣的/嫌氣的土壤中運命試験

砂壤土(ドイツ)の土壤水分を最大容水量の 40%に調整し、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土(150 g ai/ha に相当)となるように処理し、加湿した空気を通気した暗所下 20°Cで 30 日間プレインキュベートした後、脱イオン水を添加し、窒素で置換し嫌氣条件に変換後の暗所下 20°Cで 90 日間インキュベートする好氣的/嫌氣的土壤中運命試験が実施された。

推定半減期は、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 301 日、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 224 日であった。

<sup>2</sup> インキュベーション温度は、シルト質壤土のみ 20 及び 10°C、シルト質埴壤土及び壤土では 20°Cのみ。

処理 120 日後の抽出性放射能の主要成分は未変化のフルキサピロキサドであり、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 62.2%TAR、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 57.5%TAR 認められた。[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で分解物 F001 及び F002 が最大 19.8 及び 7.2%TAR 認められた。（参照 1、15）

#### **(5) 土壌吸脱着試験**

[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを用いて、8 点で採取した 5 種類の土壌 [砂壤土（米国、スペイン及び北海道）、シルト質埴壤土（スペイン）、壤質砂土（スペイン）、砂土（スペイン）及びシルト質埴壤土（米国及びドイツ）] における土壌吸脱着試験が実施された。

Freundlich の吸着係数  $K^{ads}$  は 2.47~17.9、有機炭素含有率により補正した吸着係数  $K^{ads}_{OC}$  は 320~1,100、脱着係数  $K^{des}$  は 4.15~51.9、有機炭素含有率により補正した脱着係数  $K^{des}_{OC}$  は 486~6,330 で移動性は低いと考えられた。（参照 1、16）

### **4. 水中運命試験**

#### **(1) 加水分解試験（緩衝液）**

[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを pH 4 及び pH 5（クエン酸）、pH 7（リン酸）並びに pH 9（ホウ酸）の各滅菌緩衝液に 1 mg/L となるように添加した後、50°Cの暗所下で 5 日間インキュベートする加水分解試験が実施された。

回収率は 99.9~105%TAR であり、未変化のフルキサピロキサドのみ認められ、分解物は検出されなかった。フルキサピロキサドは、pH 4、pH 5、pH 7 及び pH 9 で安定であり、25°Cでの半減期は 1 年以上と考えられた。（参照 1、17）

#### **(2) 水中光分解試験（緩衝液）**

[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを pH 7 の滅菌緩衝液（リン酸）に 1 mg/L となるように添加し、21.1~22.4°Cで最長 15 日間キセノン光（光強度：28~30.8 W/m<sup>2</sup>、波長：290 nm 以下をフィルターでカット）を照射して水中光分解試験が実施された。

回収率は 94.2~108%TAR であり、未変化のフルキサピロキサドが 93.0~108%TAR 認められ、ほかに同定された分解物はなかった。同様な結果が暗所対照区で得られた。フルキサピロキサドは pH7 の緩衝液中で光の有無にかかわらず安定であると考えられた。（参照 1、18）

#### **(3) 水中光分解試験（自然水）**

[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを滅菌した自

然水（池水、ドイツ）に 1 mg/L となるように添加し、21.0～22.6℃で最長 15 日間キセノン光（光強度：28.0～29.9 W/m<sup>2</sup>、波長：290 nm 以下をフィルターでカット）を照射して水中光分解試験が実施された。

回収率は 94.2～103%TAR であり、未変化のフルキサピロキサドは 91.4～101%TAR、分解物 F001 及び F007 が最大で 6.99 及び 4.05%TAR 認められた。

暗所対照区では安定に存在した。フルキサピロキサドは pH 7 の滅菌自然水中で光の有無にかかわらず、安定であった。（参照 1、19）

## 5. 土壌残留試験

土壌残留試験については、参照した資料に記載がなかった。

## 6. 作物等残留試験

### （1）作物残留試験

海外において、だいず等を用いて、フルキサピロキサド並びに代謝物 F002、F008 及び F048 を分析対象とした作物残留試験が実施された。結果は別紙 3 に示されている。フルキサピロキサド並びに代謝物 F002、F008 及び F048 の最大残留値は、それぞれ散布当日に収穫された非結球レタス（葉）における 9.53 mg/kg、散布 5 及び 8 日後に収穫されただいず（未成熟子実）及び散布 21 日後に収穫されたピーマン（果実）の 0.02 mg/kg、散布 7 日後に収穫されたラディッシュ（葉）における 0.9 mg/kg 及び散布当日に収穫されたマスタードグリーン（葉）における 1.5 mg/kg であった。（参照 1、65、67）

### （2）畜産物残留試験

#### ①ウシ

泌乳牛（ホルスタイン・フリージアン種、各 3 又は 6 頭）に 28 日間カプセル経口（原体：0、3、6、18 及び 60 mg/kg 飼料、代謝物 F002：0、0.1、0.3 及び 1.0 mg/kg 飼料（飼料中濃度相当量～10 倍相当量）：平均検体摂取量は表 14 参照）投与し、乳汁、脱脂乳、乳脂及び組織（筋肉、肝臓、腎臓及び脂肪）中のフルキサピロキサド並びに代謝物 F008 及び F002 を分析対象とした海外の畜産物残留試験について、別紙 4 に示されている。

表 14 畜産物残留試験（ウシ）の平均検体摂取量

フルキサピロキサド		代謝物 F002	
投与群 (mg/kg 飼料)	平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	投与群 (mg/kg 飼料)	平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)
3	0.086		
6	0.171	0.1	0.003
18	0.512	0.3	0.008
60	1.56	1.0	0.025

飼料中濃度相当量を投与した場合、フルキサピロキサド及び F008 の最高値はそれぞれ脂肪で 0.0193 µg/g、肝臓で 0.0379 µg/g であった。F002 は投与期間を通していずれの臓器及び組織においても定量限界未満 (0.01 µg/g 未満) であった。飼料中濃度 10 倍相当量を投与した場合、休薬 4 日後以降は、フルキサピロキサド、代謝物 F008 及び F002 はいずれにおいても定量限界未満であった。(参照 1、20)

## ②ニワトリ

産卵期ニワトリ (ISA Warren、一群雌 10 羽) に 28 日間カプセル経口 (原体 : 0、0.3、0.6、1.8 及び 6.0 mg/kg 飼料、代謝物 F002 : 0、0.025、0.05、0.15 及び 0.50 mg/kg 飼料 (飼料中濃度相当量~10 倍相当量) : 平均検体摂取量は不明) 投与し、卵及び組織 (筋肉、肝臓、皮膚及び脂肪) 中のフルキサピロキサド、代謝物 F008 及び F002 を分析対象とした海外の畜産物残留試験について、別紙 4 に示されている。

飼料中濃度相当量及び飼料中濃度 3 倍相当量を投与した場合、フルキサピロキサド、代謝物 F008 及び F002 は、投与期間を通していずれの臓器及び組織においても 0.01 µg/g 未満であった。飼料中濃度 10 倍相当量を投与した場合、フルキサピロキサド及び F008 が脂肪から検出されたが、休薬 3 日後以降は、0.01 µg/g 未満であった。(参照 1、21)

## 7. 一般薬理試験

ラット及びマウスを用いた一般薬理試験が実施された。結果は表 15 に示されている。(参照 1、22)

表 15 一般薬理試験概要

試験の種類	動物種	動物数/群	投与量 (mg/kg 体重) (投与経路)	最大無作用量 (mg/kg 体重)	最小作用量 (mg/kg 体重)	結果の概要
中枢神経系	一般状態 (Irwin 法)	ICR マウス	雄 6 0、200、600、2,000 (経口)	2,000	-	影響なし
		SD ラット	雄 5 0、200、600、2,000 (経口)	600	2,000	2,000 mg/kg 体重で軟便・下痢 (投与 6 時間後)
	自発運動量	ICR マウス	雄 6 0、200、600、2,000 (経口)	2,000	-	影響なし

	電撃誘発性 痙攣	ICR マウス	雄 6	0、200、 600、2,000 (経口)	2,000	-	影響なし
循環器系	呼吸数・血 圧・心拍数	SD ラット (無麻酔)	雄 5	0、200、 600、2,000 (経口)	2,000	-	影響なし
腎機能	尿量・電解 質・浸透圧	SD ラット	雄 5	0、200、 600、2,000 (経口)	2,000	-	影響なし

注) いずれの試験でも検体は 0.5%CMC に懸濁した。

-: 最小作用量は設定されなかった。

## 8. 急性毒性試験

### (1) 急性毒性試験

フルキサピロキサド (原体) を用いた急性毒性試験が実施された。結果は表 16 に示されている。(参照 1、23、24、25、61、62)

表 16 急性毒性試験概要 (原体)

投与経路	動物種	LD <sub>50</sub> (mg/kg 体重)		観察された症状
		雄	雌	
経口	SD ラット 雌 6 匹	/	>2,000	1 例で活動低下及び立毛 (投与後 2~4 時間) 死亡例なし
経皮	SD ラット 雌雄各 5 匹	>2,000	>2,000	症状及び死亡例なし
吸入	Wistar ラット 雌雄各 5 匹	LC <sub>50</sub> (mg/L)		雌雄: 腹式呼吸、立毛、呼吸促迫 及びうずくまり姿勢 死亡例なし
		>5.1	>5.1	

/: なし

フルキサピロキサドの代謝物 F001、F002 及び F048 を用いた急性毒性試験が実施された。結果は表 17 に示されている。(参照 1、26、27、28、61、62)

表 17 急性毒性試験結果概要 (代謝物 F001、F002 及び F048)

代謝物	投与経路	動物種	LD <sub>50</sub> (mg/kg 体重)		観察された症状
			雄	雌	
F001	経口	Wistar ラット 一群雌 6 匹	/	>2,000	一般状態の抑制、呼吸困難、立 毛及び糞減少 死亡例なし

代謝物	投与経路	動物種	LD <sub>50</sub> (mg/kg 体重)		観察された症状
			雄	雌	
F002		Wistar ラット 一群雌 6 匹	/	>2,000	一般状態の悪化、呼吸困難及び立毛 死亡例なし
F048		Wistar ラット 一群雌 6 匹	/	>2,000	一般状態の抑制、呼吸困難、立毛、下痢、脱水症状及び糞減少 死亡例なし

/: なし

## (2) 急性神経毒性試験

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた単回経口（原体：0、125、500 及び 2,000 mg/kg 体重）投与による急性神経毒性試験が実施された。

投与日の検査において、2,000 mg/kg 体重投与群の雄で着地開脚幅増加、500 mg/kg 体重以上投与群の雌雄で自発運動量低下及び同群の雄で立ち上がり回数  
の減少が認められた。

雄では投与日に全ての投与群でオープンフィールド観察の探索活動の低下が認められたが、用量相関性がないことから、毒性学的に意義のない変化であると考えられた。また、2,000 mg/kg 体重投与群の雄 1 例で遠位脛骨神経の軸索変性が認められたが、近位脛骨神経を含む末梢神経系及び中枢神経系には異常が認められなかったことから、検体投与の影響ではないと判断した。

本試験において、500 mg/kg 体重以上投与群の雌雄で自発運動量低下等が認められたので、急性神経毒性に関する無毒性量は、雌雄で 125 mg/kg 体重であると考えられた。（参照 1、29、61、62）

## 9. 眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験

NZW ウサギを用いた眼及び皮膚刺激性試験が実施された。眼及び皮膚に対して軽度の刺激が認められた。

Hartley モルモットを用いた皮膚感作性試験（Maximization 法）が実施され、結果は陰性であった。（参照 1、30、31、32、61、62）

## 10. 亜急性毒性試験

### (1) 90 日間亜急性毒性試験（ラット）

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌（原体：0、100、500、2,000 及び 6,000 ppm：平均検体摂取量は表 18 参照）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 18 90 日間亜急性毒性試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		100 ppm	500 ppm	2,000 ppm	6,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	6.1	31.2	126	407
	雌	7.3	35.1	144	424

各投与群で認められた毒性所見は表 19 に示されている。

投与終了時に行われた FOB においては、6,000 ppm 投与群の雌で着地開脚幅の減少が認められたが、対照群の値が最も高かったこと、試験実施施設における背景データの範囲内であることから、検体投与による影響とは考えられなかった。また、同群の雌では自発運動量の減少が認められたが、1 セッションのみの変動であることから検体投与による影響ではないと考えられた。

血液生化学的検査においては、100 ppm 投与群雌で Chol 増加が認められたが、背景データの範囲内であり、毒性学的意義は低いと考えられた。

本試験において、100 ppm 以上投与群の雄で T<sub>3</sub> 増加、500 ppm 以上投与群の雌で甲状腺ろ胞細胞肥大/過形成等が認められたので、無毒性量は雄で 100 ppm 未満 (6.1 mg/kg 体重/日未満)、雌で 100 ppm (7.3 mg/kg 体重/日) であると考えられた。(参照 1、33、61、62)

(甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は [14. (1) ~ (3)] を参照)

表 19 90 日間亜急性毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
6,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制（投与 7 日以降）</li> <li>・GGT 及び TG 増加</li> <li>・小葉中心性肝細胞凝固壊死</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制（投与 28 日以降）及び摂餌量減少<sup>a</sup></li> <li>・GGT、無機リン及び Alb 増加</li> <li>・Glu 減少</li> <li>・尿細管上皮色素沈着</li> <li>・カルシウム増加</li> </ul>
2,000 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ure、TP、Alb、Glob、無機リン及び Chol 増加</li> <li>・クロール及び Glu 減少</li> <li>・甲状腺ろ胞細胞肥大/過形成</li> <li>・カルシウム増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TP、TG、T<sub>3</sub> 及び TSH 増加</li> <li>・クロール減少</li> </ul>
500 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量<sup>3</sup>増加</li> <li>・T.Bil 減少</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・PT 短縮</li> <li>・T.Bil 減少</li> <li>・Chol、Glob 及び T<sub>4</sub> 増加</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> <li>・甲状腺ろ胞細胞肥大/過形成</li> </ul>
100 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T<sub>3</sub> 増加</li> </ul>	100 ppm 毒性所見なし

<sup>3</sup> 体重比重量を比重量という（以下同じ。）。

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

a : 統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

## (2) 90日間亜急性毒性試験 (マウス)

C57BL マウス (一群雌雄各 10 匹) を用いた混餌 (原体 : 0、100、400、2,000 及び 6,000 ppm : 平均検体摂取量は表 20 参照) 投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 20 90日間亜急性毒性試験 (マウス) の平均検体摂取量

投与群		100 ppm	400 ppm	2,000 ppm	6,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	21	77	390	1,140
	雌	32	128	610	1,660

各投与群で認められた毒性所見は表 21 に示されている。

本試験において、400 ppm 以上投与群の雄で TG 及び Chol 減少、2,000 ppm 以上投与群の雌で肝絶対及び比重量増加等が認められたので、無毒性量は雄で 100 ppm (21 mg/kg 体重/日)、雌で 400 ppm (128 mg/kg 体重/日) であると考えられた。(参照 1、34、61、62)

表 21 90日間亜急性毒性試験 (マウス) で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
6,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制 (投与 70 日以降)</li> <li>・ 副腎絶対及び比重量増加</li> <li>・ ALT、ALP 及び Ure 増加</li> <li>・ TP 及び Alb 減少</li> <li>・ 多巣性肝細胞壊死</li> </ul>	
2,000 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ 肝臓のび慢性脂肪化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ Chol 減少</li> </ul>
400 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TG 及び Chol 減少</li> </ul>	400 ppm 以下
100 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

## (3) 90日間亜急性毒性試験 (イヌ)

ビーグル犬 (一群雌雄各 5 匹) を用いた混餌 (原体 : 0、300、1,500 及び 10,000/7,500 ppm<sup>4</sup> : 平均検体摂取量は表 22 参照) 投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

<sup>4</sup> 最高用量群は、雄で 10,000 ppm、雌で 7,500 ppm。

表 22 90 日間亜急性毒性試験（イヌ）の平均検体摂取量

投与群		300 ppm	1,500 ppm	7,500 ppm	10,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	9	45	/	295
	雌	10	51	238	/

/: 該当なし。

各投与群で認められた毒性所見は表 23 に示されている。

本試験において、1,500 ppm 以上投与群の雌雄で Chol 減少等が認められたので、無毒性量は雌雄とも 300 ppm（雄：9 mg/kg 体重/日、雌：10 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 1、35、61）

表 23 90 日間亜急性毒性試験（イヌ）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
10,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ALP、GGT、無機リン及び TG 増加</li> <li>・ カルシウム及び T.Bil 減少</li> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> </ul>	/
7,500 ppm	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ALP 及び GGT 増加</li> <li>・ カルシウム及び T.Bil 減少</li> <li>・ 肝絶対<sup>a</sup>及び比重量増加</li> </ul>
1,500 ppm 以上	・ TP、Alb 及び Chol 減少	・ TP、Alb 及び Chol 減少
300 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

/: 該当なし。

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

<sup>a</sup>: 統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

#### (4) 90 日間亜急性神経毒性試験（ラット）

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌（原体：0、200、1,000 及び 5,000 ppm：平均検体摂取量は表 24 参照）投与による 90 日間亜急性神経毒性試験が実施された。

表 24 90 日間亜急性神経毒性試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		200 ppm	1,000 ppm	5,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	11.5	57.7	302
	雌	13.4	67.2	338

各投与群で認められた毒性所見は表 25 に示されている。

FOB においては、5,000 ppm 投与群の雌で前肢握力の増加が投与 1 日目に観察されたが、減少ではなく増加であること、ラットの 90 日間亜急性毒性試験 [10. (1)] で同様の变化は認められなかったことから、検体投与による影響と考えられなかった。血液生化学的検査において 200 ppm 以上投与群の雌の T.Bil

が減少したが、投与群の値は全て試験実施機関の背景データの範囲内であった。この減少は、対照群の値が上限を超えていたことが原因であり、毒性ではないと考えられた。病理組織学的検査において 5,000 ppm 投与群雄で近位坐骨神経軸索変性が 2 例に認められ、同所見は、雌では対照群の 1 例でも認められた。その他の神経において同様の所見は認められなかったことから、5,000 ppm 投与群で観察された同所見は検体投与の影響とは考えられなかった。

本試験において、1,000 ppm 以上投与群の雄で小葉中心性肝細胞肥大等、200 ppm 以上投与群の雌で甲状腺絶対及び比重量増加が認められたので、一般毒性に対する無毒性量は雄で 200 ppm (11.5 mg/kg 体重/日)、雌で 200 ppm 未満 (13.4 mg/kg 体重/日未満) であると考えられた。亜急性神経毒性は認められなかった。(参照 1、36、61、62)

(甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は [14. (1) ~ (3)] を参照)

表 25 90 日間亜急性神経毒性試験 (ラット) で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
5,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>下顎切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>Glu 減少</li> <li>TP、Alb、GGT 及び Chol 増加</li> <li>甲状腺絶対及び比重量増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下顎切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>体重増加抑制 (投与 35 日以降)</li> <li>TP、Alb 及び TG 増加</li> </ul>
1,000 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>無機リン及び Glob 増加</li> <li>肝絶対及び比重量増加</li> <li>小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ure、Cre、Glob 及び Chol 増加</li> <li>肝絶対及び比重量増加</li> <li>小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>
200 ppm 以上	200 ppm 毒性所見なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>甲状腺絶対及び比重量増加</li> </ul>

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

<sup>a</sup>: 病理組織学的検査を実施していないが、2 世代繁殖試験 [12. (1)] での結果よりエナメル芽細胞及びエナメル層外層中の鉄含有色素の減少であると考えられた。

#### (5) 代謝物 F001 の 90 日間亜急性毒性試験 (ラット)

ラットを用いた、代謝物 F001 の混餌 (雄: 0、94.6、286 及び 954 mg/kg 体重/日、雌: 0、98.8、295 及び 983 mg/kg 体重/日) 投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された (詳細不明)。

本試験において、いずれの投与群においても検体投与による影響は認められなかったため、無毒性量は本試験の最高用量である雄: 954 mg/kg 体重/日、雌: 983 mg/kg 体重/日であると考えられた。(参照 61)

#### (6) 代謝物 F002 の 90 日間亜急性毒性試験 (ラット)

ラットを用いた、代謝物 F002 の混餌 (雄: 0、95.1、285 及び 958 mg/kg 体重/日、雌: 0、98.0、300 及び 929 mg/kg 体重/日) 投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された (詳細不明)。

本試験において、いずれの投与群においても検体投与による影響は認められなかったため、無毒性量は本試験の最高用量である雄：958 mg/kg 体重/日、雌：929 mg/kg 体重/日であると考えられた。（参照 61）

## 1 1. 慢性毒性試験及び発がん性試験

### (1) 1年間慢性毒性試験（イヌ）

ビーグル犬（一群雌雄各 5 匹）を用いた混餌（原体：0、300、1,500 及び 12,000/9,000 ppm<sup>5</sup>：平均検体摂取量は表 26 参照）による 1 年間慢性毒性試験が実施された。

表 26 1 年間慢性毒性試験（イヌ）の平均検体摂取量

投与群		300 ppm	1,500 ppm	9,000 ppm	12,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	8	39	/	335
	雌	9	43	257	/

/：該当なし。

各投与群で認められた毒性所見は表 27 に示されている。

本試験において、1,500 ppm 以上投与群の雌雄で肝細胞色素沈着（鉄陽性）等が認められたため、無毒性量は雌雄とも 300 ppm（雄：8 mg/kg 体重/日、雌：9 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 1、37、61、62）

表 27 1 年間慢性毒性試験（イヌ）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
12,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘔吐<sup>a</sup>（投与日）</li> <li>・体重増加抑制<sup>a</sup>（全投与期間）及び摂餌量減少<sup>a</sup>（投与 1 日以降）</li> <li>・ALP、ALT、GGT 及び TG 増加</li> <li>・Cre 及び Chol 減少</li> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・前立腺絶対及び比重量減少</li> <li>・脾臓絶対及び比重量減少</li> <li>・肝臓の多巣性線維化</li> <li>・赤脾髄萎縮</li> <li>・前立腺の萎縮</li> </ul>	/
9,000 ppm	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘔吐<sup>a</sup>（投与日）</li> <li>・体重増加抑制（投与 7 日以降）及び摂餌量減少<sup>a</sup>（全投与期間）</li> <li>・ALP 及び GGT 増加</li> <li>・カルシウム、Chol 及び T.Bil 減少</li> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> </ul>

<sup>5</sup> 最高用量群は、雄で 12,000 ppm、雌で 9,000 ppm。

		・赤脾髄萎縮
1,500 ppm 以上	・Ure、TP、Alb 及びカルシウム減少 ・肝細胞色素沈着（鉄陽性） ・胆嚢上皮褐色色素沈着 ・脾臓の結合組織色素沈着（鉄陽性）	・T.Bil、TP 及び Alb 減少 ・肝細胞色素沈着（鉄陽性）及び肝臓の多巣性線維化症 ・胆嚢上皮褐色色素沈着 ・脾臓の結合組織色素沈着（鉄陽性）
300 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

/: 該当なし。

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

a: 統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

## (2) 2年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）

Wistar ラット（発がん性試験群：一群雌雄各 50 匹、慢性毒性試験群：一群雌雄各 10 匹）を用いた、混餌（原体：0、50、250、1,500 及び 3,000 ppm：平均検体摂取量は表 28 参照）投与による 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）が実施された。

表 28 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		50 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	2.1	11	68	145
	雌	2.7	14	82	182

各投与群で認められた毒性所見は表 29、投与により増加した腫瘍性病変の発生頻度は表 30、肝臓及び甲状腺の腫瘍性病変の背景データは表 31 に示されている。

肝臓において、3,000 ppm 投与群の雄で肝細胞癌、3,000 ppm 投与群の雌で肝細胞腺腫、1,500 ppm 以上投与群の雄で肝細胞腺腫並びに肝細胞腺腫及び癌の合計が有意に増加し投与の影響であると考えられた。

250 ppm 投与群の雄、1,500 ppm 投与群の雌においても、肝細胞腺腫が増加したが、有意差が認められなかったことから、食品安全委員会は投与の影響とは考えられないと判断した。

甲状腺において、3,000 ppm 投与群の雄で腺腫及び癌の合計が増加した。

本試験において、250 ppm 以上投与群の雌雄で小葉中心性肝細胞肥大等が認められたので、無毒性量は雌雄とも 50 ppm（雄：2.1 mg/kg 体重/日、雌：2.7 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 1、39、61、62）

（甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は [14. (1) ~ (3)] を参照）

表 29 2年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）で認められた毒性所見  
（非腫瘍性病変）

投与群	雄	雌
3,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制（投与 2 週以降）</li> <li>・ 無機リン増加</li> <li>・ 変異肝細胞巢（好塩基性）</li> <li>・ 前頭骨骨化過剰症</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TG 増加</li> <li>・ 肝臓のび慢性色素沈着</li> <li>・ 変異肝細胞巢（好酸性）</li> <li>・ 前頭骨骨化過剰症及び頂頭骨骨化過剰症</li> </ul>
1,500 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PT 短縮</li> <li>・ GGT、カルシウム<sup>a</sup>、TP 及び Glob 増加</li> <li>・ 腎絶対及び比重量増加</li> <li>・ 甲状腺のろ胞細胞過形成及び変性コロイド</li> <li>・ 肝臓のび慢性色素沈着及び海綿状変性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PT 短縮</li> <li>・ T.Bil 減少</li> <li>・ カルシウム、TP 及び Chol 増加</li> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ 甲状腺のろ胞細胞過形成及び変性コロイド</li> <li>・ 肝臓のび慢性色素沈着</li> </ul>
250 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Glu 及び T.Bil<sup>a</sup> 減少</li> <li>・ Chol 増加</li> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ 切歯の白変<sup>b</sup></li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> <li>・ 大腿骨色素沈着（鉄陽性）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制（投与 21 週以降）</li> <li>・ Glob 増加</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> <li>・ 切歯の白変<sup>b</sup></li> <li>・ 大腿骨色素沈着（鉄陽性）</li> </ul>
50 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

注) 肉眼的病理検査は統計検定が実施されていない。

a : 統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

b : 250 ppm 投与群では雄で 50 例中 2 例、雌で 50 例中 1 例（病理組織学的検査は実施されていない）。

表 30 肝臓及び甲状腺での腫瘍性病変発生頻度

性別	投与量 (ppm)	雄					雌				
		0	50	250	1,500	3,000	0	50	250	1,500	3,000
肝臓	検査動物数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	肝細胞腺腫	0 (0)	0 (0)	4 (8.0)	7** (14.0↑)	15** (30.0↑)	0 (0)	2 (4.0)	0 (0)	4 (8.0)	7** (14.0↑)
	肝細胞癌	1 (2.0)	0 (0)	1 (2.0)	3 (6.0)	9** (18.0↑)	1 (2.0)	1 (2.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	腺腫/癌発生動物数	1 (2.0)	0 (0)	5 (10.0)	10** (20.0↑)	21** <sup>1)</sup> (42.0↑)	1 (2.0)	3 (6.0)	0 (0)	4 (8.0)	7** (14.0↑)
甲状腺	検査動物数	50	50	50	50	50	50	49	50	48	50
	ろ胞細胞腺腫	3 (6.0)	2 (4.0)	4 (8.0)	8 (16.0)	9 (18.0)	0 (0)	3 (6.1)	1 (2.0)	3 (6.3)	2 (4.0)

ろ胞細胞癌	0 (0)	0 (0)	1 (2.0)	1 (2.0)	3 (6.0)	2 (4.0)	0 (0)	1 (2.0)	0 (0)	1 (2.0)
腺腫/ 癌発生 動物数	3 (6.0)	2 (4.0)	5 (10.0)	9 (18.0)	11** <sup>2)</sup> (22.0 ↑)	2 (4.0)	3 (6.1)	2 (4.0)	3 (6.3)	3 (6.0)

注) 上段は腫瘍発生数、下段は腫瘍発生率 (%) を示す。

<sup>1)</sup> は 3 動物、<sup>2)</sup> は 1 動物が腺腫と癌の両方を有していた。

Dunnet 多重比較検定 (両側) \* : p<0.05 \*\* : p<0.01

Fisher 直接確率検定 (片側) ↑↓ : p≤0.05、↑↓ : p≤0.01

表 31 肝臓及び甲状腺の腫瘍性病変背景データ

臓器	腫瘍	雄			雌		
		腫瘍発生動物数 /供試動物数	腫瘍発生率%		腫瘍発生動物数 /供試動物数	腫瘍発生率%	
			平均	範囲		平均	範囲
肝臓	肝細胞腺腫	8/400	2.0	0-4	3/400	0.8	0-6
	肝細胞癌	6/400	1.5	0-6	7/400	1.8	0-6
	腺腫/癌発生動物数	14/400	3.5	0-8	10/400	2.5	0-6
甲状腺	ろ胞細胞腺腫	52/400	13.0	4-28	—	—	—
	ろ胞細胞癌	9/400	2.3	0-4	—	—	—
	腺腫/癌発生動物数	60/400	15.0	4-30	—	—	—

注) 試験当たり各 50 匹、8 試験の発生率

— : データなし

### (3) 18 か月間発がん性試験 (マウス)

C57BL マウス (発がん性試験群 : 一群雌雄各 50 匹、9 か月後と殺群<sup>6</sup> : 一群雌雄各 10 匹) を用いた、混餌 (原体 : 0、150、750、3,000 及び 6,000 ppm : 平均検体摂取量は表 32 参照) 投与による 18 か月間発がん性試験が実施された。

表 32 18 か月間発がん性試験 (マウス) の平均検体摂取量

投与群		150 ppm	750 ppm	3,000 ppm	6,000 ppm
検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	21	107	468	996
	雌	33	158	652	1,310

各投与群で認められた毒性所見 (非腫瘍性病変) は表 33 に示されている。

検体投与により発生頻度の増加した腫瘍性病変は認められなかった。

本試験において、750 ppm 以上投与群の雌雄で肝臓の大滴性脂肪化等が認められたので、無毒性量は雌雄とも 150 ppm (雄 : 21 mg/kg 体重/日、雌 : 33 mg/kg 体重/日) であると考えられた。発がん性は認められなかった。(参照 1、38、61、62)

<sup>6</sup> 血液検査及び病理検査用に 0 及び 6,000 ppm 投与群が設定された。

表 33 18 か月間発がん性試験（マウス）で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）

投与群	雄	雌
6,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TG 及び Chol 減少</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TG<sup>a</sup> 及び Chol 減少</li> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> </ul>
3,000 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制（投与 14 日以降）</li> <li>・ 切歯白変<sup>b</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 切歯白変<sup>b</sup></li> <li>・ 門脈周囲性肝細胞肥大</li> </ul>
750 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ 肝臓の脂肪化（大滴性）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肝臓の脂肪化（大滴性）</li> </ul>
150 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

a：統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

b：統計検定は実施されていないが投与の影響と判断した。

## 1 2. 生殖発生毒性試験

### (1) 2 世代繁殖試験（ラット）

Wistar ラット（一群雌雄各 25 匹）を用いた混餌（原体：0、10、50 及び 300 mg/kg 体重/日：平均検体摂取量は表 34 を参照）投与による 2 世代繁殖試験が実施された。

表 34 2 世代繁殖試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群（mg/kg 体重/日）		10	50	300	
平均検体摂取量 （mg/kg 体重/日）	P 世代	雄	9.5	47.6	285
		雌	9.8	48.8	293
	F <sub>1</sub> 世代	雄	9.6	47.7	286
		雌	9.6	47.9	289

各投与群で認められた毒性所見は表 35 に示されている。

親動物の 300 mg/kg 体重/日投与群雌雄で認められた切歯の白変は病理組織学的検査の結果、エナメル芽細胞及びエナメル層外層中の鉄含有色素の減少であると考えられた。

親動物では P 世代の 50 mg/kg 体重/日以上投与群の雌で妊娠期間の短縮（対照群の 22.5 日に対し、50 及び 300 mg/kg 体重/日投与群では 22.1 日）が認められたが、背景データ（21.5～22.3 日）の範囲内であったこと及び分娩等の繁殖指標に変化が認められなかったことから毒性学的意義のある差とは考えられなかった。

本試験において、親動物では 10 mg/kg 体重/日以上投与群の雄で小葉中心性肝細胞肥大等、雌で肝絶対及び比重量増加が認められ、児動物では 50 mg/kg 体重/日以上投与群の雌雄で体重増加抑制が認められたので、無毒性量は親動物の P 雄：9.5 mg/kg 体重/日未満、P 雌：9.8 mg/kg 体重/日未満、F<sub>1</sub> 雄：9.6 mg/kg 体重/日未満、F<sub>1</sub> 雌：9.6 mg/kg 体重/日未満、児動物の P 雄：9.5 mg/kg 体重/日、P 雌：9.8 mg/kg 体重/日、F<sub>1</sub> 雄：9.6 mg/kg 体重/日、F<sub>1</sub> 雌：9.6 mg/kg 体重/日

であると考えられた。繁殖能に対する影響は認められなかった。（参照 1、40、61、62）

（甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は [14. (1)～(3)] を参照）

表 35 2 世代繁殖試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	親：P、児：F <sub>1</sub>		親：F <sub>1</sub> 、児：F <sub>2</sub>		
	雄	雌	雄	雌	
親動物	300 mg/kg 体重/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制（生育期、3週以降）</li> <li>・切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>・副腎絶対及び比重量増加</li> <li>・甲状腺比重量増加</li> <li>・肝細胞壊死</li> <li>・副腎皮質肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>・甲状腺比重量増加</li> <li>・副腎皮質肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> <li>・切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>・副腎皮質肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> <li>・切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>・甲状腺比重量増加</li> <li>・副腎皮質肥大</li> </ul>
	50 mg/kg 体重/日以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・甲状腺のび慢性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇</li> <li>・肝細胞細胞質空胞化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制（生育期、4週以降）</li> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・甲状腺のび慢性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲状腺絶対及び比重量増加</li> <li>・甲状腺のび慢性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲状腺のび慢性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>
	10 mg/kg 体重/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝比重量増加</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	毒性所見なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> </ul>
児動物	300 mg/kg 体重/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包皮分離日遅延</li> <li>・胸腺絶対及び比重量減少</li> <li>・脾絶対及び比重量減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脾絶対及び比重量減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> <li>・脾絶対及び比重量減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> </ul>
	50 mg/kg 体重/日以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> </ul>	50 mg/kg 体重/日以下 毒性所見なし	50 mg/kg 体重/日以下 毒性所見なし
	10 mg/kg 体重/日	毒性所見なし	毒性所見なし		

<sup>a</sup>：統計検定は実施されていないが投与の影響と判断した。

## (2) 発生毒性試験 (ラット)

Wistar ラット (一群雌 25 匹) の妊娠 6~19 日に強制経口 (原体 : 0、25、200 及び 1,000 mg/kg 体重/日、溶媒 : 0.5%CMC) 投与して発生毒性試験が実施された。

各投与群で認められた毒性所見は表 36 に示されている。

本試験において、母動物では 200 mg/kg 体重/日以上投与群で甲状腺絶対及び比重量増加等がみられた。胎児では生存性及び発育に影響はみられず、また形態異常及び変異の増加も認められなかったため、無毒性量は母動物で 25 mg/kg 体重/日、胎児で本試験の最高用量である 1,000 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。(参照 1、41、61、62)

(甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は [14. (1) ~ (3)] を参照)

表 36 発生毒性試験 (ラット) で認められた毒性所見

投与群	母動物	胎児
1,000 mg/kg 体重/日	・肝絶対及び比重量増加 ・カルシウム及び TP 増加	1,000 mg/kg 体重/日以下 毒性所見なし
200 mg/kg 体重/日以上	・甲状腺絶対及び比重量増加 ・T.Bil 減少 ・Alb 増加	
25 mg/kg 体重/日	毒性所見なし	

## (3) 発生毒性試験 (ウサギ)

Himalayan ウサギ (一群雌 25 匹) の妊娠 6~28 日に強制経口 (原体 : 0、10、25 及び 60 mg/kg 体重/日、溶媒 : 0.5%CMC) 投与して、発生毒性試験が実施された。

各投与群で認められた毒性所見は表 37 に示されている。

60 mg/kg 体重/日投与群で認められた子宮重量減少、早期胚吸収数及び着床後胚損失率増加は、着床数 1 の 2 例に損失があった結果、損失率 100%となったことによるものであり、着床後胚損失率については背景データの範囲内でもあったことから、これらの毒性学的意義は低いと考えられた。

本試験において、母動物では 60 mg/kg 体重/日投与群で体重増加抑制等、胎児では 60 mg/kg 体重/日投与群で肢過屈曲増加が認められたため、無毒性量は母動物及び胎児とも 25 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。(参照 1、42、61、62)

表 37 発生毒性試験（ウサギ）で認められた毒性所見

投与群	母動物	胎児
60 mg/kg 体重/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無糞/糞量減少<sup>a</sup></li> <li>・ 体重増加抑制（妊娠 9 日以降）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肢過屈曲増加</li> </ul>
25 mg/kg 体重/日 以下	毒性所見なし	毒性所見なし

<sup>a</sup>：統計検定が実施されていないが、影響と判断した。

#### （４）代謝物 F001 の発生毒性試験（ウサギ）

ウサギに代謝物 F001 を投与（0、40、100 及び 250 mg/kg 体重/日）して、発生毒性試験が実施された（詳細不明）。

検体投与による影響は認められなかったため、本試験の無毒性量は母動物及び胎児で最高用量である 250 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 61）

#### （５）代謝物 F002 の発生毒性試験（ウサギ）

ウサギに代謝物 F002 を投与（0、100、300 及び 1,000 mg/kg 体重/日）して、発生毒性試験が実施された（詳細不明）。

母動物では 1,000 mg/kg 体重/日投与群で死亡率及び流産の増加が認められ、胎児では検体投与による影響は認められなかったため、本試験の無毒性量は母動物で 300 mg/kg 体重/日、胎児で最高用量である 1,000 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 61）

#### （６）代謝物 F048 の発生毒性試験（ウサギ）

ウサギに代謝物 F048 を投与（0、10、30 及び 100 mg/kg 体重/日）して、発生毒性試験が実施された（詳細不明）。

母動物では 100 mg/kg 体重/日投与群で死亡率、流産及び吸収胚の増加、胎児では 100 mg/kg 体重/日投与群で流産及び後期吸収胚が認められたため、本試験の無毒性量は母動物及び胎児とも 30 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 61）

### 1 3. 遺伝毒性試験

フルキサピロキサド（原体）の細菌を用いた復帰突然変異試験、チャイニーズハムスター卵巣由来細胞（CHO-K1）を用いた遺伝子突然変異試験、チャイニーズハムスター肺由来細胞（V79）を用いた染色体異常試験、ラットを用いた肝細胞 UDS 試験及びマウスを用いた小核試験が実施された。

結果は表 38 に示されている。

一部の *in vitro* 染色体異常試験において陽性であったが、*in vivo* での UDS 試験及び小核試験を含むその他試験では全て陰性であったことから、フルキサ

ピロキサドに生体において問題となる遺伝毒性はないものと考えられた。(参照 1、43～52、61、62)

表 38 遺伝毒性試験概要 (原体)

試験	対象	処理濃度・投与量	結果	
in vitro	<i>Salmonella typhimurium</i> (TA98, TA100、TA1535、TA1537 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート (+/-S9)	陰性	
		②プレインキュベーション法： 20～5,000 µg/プレート (+/-S9)		
	<i>Escherichia coli</i> (WP2 <i>uvrA</i> 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート (+/-S9)	陰性	
		②プレインキュベーション法： 20～5,000 µg/プレート (+/-S9)		
	復帰突然変異試験	<i>S. typhimurium</i> (TA98, TA100、TA1535、TA1537 株)	①標準プレート法： 21～5,300 µg/プレート (+/-S9)	陰性
			②プレインキュベーション法 (TA100、TA1535 株) ：21～5,300 µg/プレート (+/-S9) ③プレインキュベーション法 (TA1537 株) ：11～2,650 µg/プレート (+/-S9) ④プレインキュベーション法 (TA98 株) ：2～530 µg/プレート (+/-S9)	
	遺伝子突然変異試験 ( <i>Hprt</i> 遺伝子座)	チャイニーズハムスター卵巣由来細胞 (CHO-K1 細胞)	①5.0～100 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理)	陰性
②6.3～100 µg/mL (-S9 ; 24 時間処理、+S9 ; 4 時間処理)				
染色体異常試験	チャイニーズハムスター肺由来細胞 (V79)	①6.3～125 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理)	陰性	
		②6.3～125 µg/mL (-S9 ; 24 時間処理) 40.0～160 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理) ③25.0～150 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理)		
染色体異常試験	チャイニーズハムスター肺由来細胞 (V79)	①15.6～62.5 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理、14 時間培養標本作成)	① 陰性(-S9)、 陽性(+S9) ② 陰性 ③	
		②7.8～31.3 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、直後に標本作成)		

			62.5 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、10 時間後に標本作成) 7.8~31.5 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理、24 時間後に標本作成) ③60.0~80 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理、14 時間培養標本作成)	陽性(+/-S9)
			①12.5~50.0 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理、14 時間培養標本作成) ②12.5~50.0 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、直後に標本作成) 50.0 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、10 時間後に標本作成) 12.5~50.0 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理、24 時間後に標本作成)	陰性
<i>in vivo</i>	UDS 試験	Wistar ラット (肝細胞) (一群雄 3 匹)	1,000、2,000 mg/kg 体重 (単回経口投与)	陰性
		Wistar ラット (肝細胞) (一群雄 3 匹)	2.5、5.0 mg/kg 体重 (静脈内投与)	陰性
	小核試験	NMRI マウス (骨髄細胞) (一群雄 5 匹)	500、1,000、2,000 mg/kg 体重 (2 回経口投与)	陰性
		NMRI マウス (骨髄細胞) (一群雄 5 匹)	500、1,000、2,000 mg/kg 体重 (単回腹腔内投与)	陰性

注) +/-S9 : 代謝活性化系存在下及び非存在下

フルキサピロキサドの代謝物 F001 及び F002 (動物、植物及び土壌由来) 並びに F048 (植物由来) の細菌を用いた復帰突然変異試験、チャイニーズハムスター卵巣由来細胞を用いた遺伝子突然変異試験、ヒトリンパ球細胞を用いた染色体異常試験、ラットを用いた肝細胞 UDS 試験並びにマウスを用いた小核試験が実施された。

結果は表 39 に示されている。

代謝物 F048 を用いた *in vitro* の染色体異常試験の代謝活性化系存在下で陽性であった。しかし、代謝物 F048 の細菌を用いた復帰突然変異試験、遺伝子突然変異試験、*in vivo* の小核試験及び UDS 試験では全て陰性であった。(参照 1、53、54、55、61)

表 39 遺伝毒性試験概要（代謝物 F001、F002 及び F048）

代謝物	試験		対象	処理濃度・投与量	結果
F001	<i>in vitro</i>	復帰突然変異試験	<i>S. typhimurium</i> (TA98、TA100、 TA1535、TA1537 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート (+/-S9) ②プレートインキュベーション法： 313～5,000 µg/プレート (+/-S9)	陰性
			<i>S. typhimurium</i> (TA1535株)	プレートインキュベーション法： 10～2,500 µg/プレート (+/-S9)	陰性
		<i>E. coli</i> (WP2 <i>uvrA</i> 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート (+/-S9) ②プレートインキュベーション法： 313～5,000 µg/プレート (+/-S9)	陰性	
		遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター卵巣由来細胞	詳細不明	陰性
		染色体異常試験	ヒト末梢血リンパ球細胞	詳細不明	陰性
	<i>in vivo</i>	小核試験	マウス (詳細不明)	500、1,000、2,000 mg/kg 体重 (投与経路不明)	陰性
F002	<i>in vitro</i>	復帰突然変異試験	<i>S. typhimurium</i> (TA98、TA100、 TA1535、TA1537 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート (+/-S9) ②プレートインキュベーション法： 313～5,000 µg/プレート (+/-S9)	陰性
			<i>E. coli</i> (WP2 <i>uvrA</i> 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート (+/-S9) ②プレートインキュベーション法： 313～5,000 µg/プレート (+/-S9)	陰性
		遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター卵巣由来細胞	詳細不明	陰性
	染色体異常試験	ヒト末梢血リンパ球細胞	詳細不明	陰性	
	<i>in vivo</i>	小核試験	マウス (詳細不明)	375、750、1,500 mg/kg 体重 (投与経路不明)	陰性
F048	<i>in vitro</i>	復帰突然変異試験	<i>S. typhimurium</i> (TA98、TA100、 TA1535、TA1537 株)	①標準プレート法： 22～5,500 µg/プレート (+/-S9) ②プレートインキュベーション法： 22～5,500 µg/プレート (+/-S9)	陰性
			<i>E. coli</i> (WP2 <i>uvrA</i> 株)	①標準プレート法： 22～5,500 µg/プレート (+/-S9) ②プレートインキュベーション法： 22～5,500 µg/プレート (+/-S9)	陰性
		遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター卵巣由来細胞	詳細不明	陰性

		染色体異常試験	ヒト末梢血リンパ球細胞	詳細不明	陽性 (+S9)
	in vivo	UDS 試験	ラット (肝細胞) (詳細不明)	1,000、2,000 mg/kg 体重 (投与経路不明)	陰性
		小核試験	マウス (詳細不明)	500、1,000、2,000 mg/kg 体重 (投与経路不明)	陰性

注) +/- S9 : 代謝活性化系存在下及び非存在下

#### 14. その他の試験

90 日間亜急性毒性試験 (ラット) [10. (1)]、90 日間亜急性神経毒性試験 (ラット) [10. (4)] 等で、甲状腺の重量変化及び病理組織学的変化が認められたため、そのメカニズムを明らかにするための検討が実施された。

##### (1) 肝酵素誘導試験 (ラット)

甲状腺ホルモンの代謝及び恒常性を検討するため、Wistar ラット (投与群 : 一群雌雄各 10 匹、回復群<sup>7</sup> : 一群雌雄各 10 匹) に 2 週間混餌 (原体 : 0、250、1,500 及び 3,000 ppm : 平均検体摂取量は表 40 参照) 投与する肝酵素誘導試験が実施された。

表 40 肝酵素誘導試験 (ラット) の平均検体摂取量

投与群		250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	16	96	192
	雌	19	126	234

各投与群で認められた変化は表 41 に示されている。

検体投与による影響として、250 ppm 以上投与群の雌雄で小葉中心性肝細胞肥大、甲状腺ろ胞細胞肥大及び過形成並びに肝ミクロソームの薬物代謝酵素 (P450、EROD、PROD、BROD、MUF-GT 及び HOBI-GT) の誘導が認められ、1,500 ppm 以上投与群の雌雄で T<sub>4</sub>-UDP-GT の誘導が認められた。また、雄では用量相関性のある TSH 増加が認められ、3,000 ppm 投与群では統計学的に有意であった。肝臓における T<sub>4</sub>-UDP-GT の亢進によって T<sub>4</sub> の代謝が誘発されたことが関与して (血中 T<sub>3</sub> 及び T<sub>4</sub> 値の低下は観察されなかったが)、TSH の増加、さらに標的細胞である甲状腺ろ胞細胞の過形成が誘発されたと考えられた。これらの影響は、4 週間の休薬後にはほとんど認められなかったことから、回復性のある変化であることが示唆された。(参照 1、56、61、62)

<sup>7</sup> 対照群及び 3,000 ppm 投与群で構成され、2 週間の混餌投与後、4 週間の休薬期間が設定された。

表 41 肝酵素誘導試験（ラット）で認められた変化

群		雄	雌
投与群	3,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲状腺の変性コロイド</li> <li>・TSH 増加</li> </ul>	
	1,500 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲状腺絶対及び比重量増加<sup>a</sup></li> <li>・T<sub>4</sub>-UDP-GT 増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対重量増加</li> <li>・甲状腺ろ胞細胞肥大及び過形成</li> <li>・T<sub>4</sub>-UDP-GT 増加</li> </ul>
	250 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> <li>・甲状腺ろ胞細胞肥大及び過形成</li> <li>・P450、EROD、PROD、BROD、MUF-GT 及び HOBI-GT 増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝比重量増加</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> <li>・P450、EROD、PROD、BROD、MUF-GT 及び HOBI-GT 増加</li> </ul>
回復群	3,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・MUF-GT 増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲状腺絶対及び比重量増加</li> <li>・EROD 及び BROD 増加</li> </ul>
	対照群	変化なし	変化なし

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

<sup>a</sup> : 3,000 ppm 投与群では比重量のみ統計学的有意差あり

## (2) 甲状腺機能試験（ラット）

本剤の甲状腺に対する作用が直接的、又は間接的のいずれかを検討するため、Wistar ラット（一群雌雄各 6 匹）に 2 週間混餌（原体：0 及び 3,000 ppm：平均検体摂取量は表 42 参照）投与して、パークロレート放出試験が実施された。なお、陽性対照として甲状腺機能に直接作用する PTU 及び間接的に作用する PB が 2 週間混餌（PTU；2,000 ppm、PB；1,000 ppm、平均検体摂取量は表 42 参照）投与された。

表 42 甲状腺機能試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		フルキサピロキサド	PTU	PB
		3,000 ppm	2,000 ppm	1,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	283	231	89
	雌	247	192	97

結果は表 43 に示されている。

本試験において、フルキサピロキサド投与群は陽性対照である PB 投与群と類似した所見が認められたことから、甲状腺への直接的な影響ではないと考えられた。（参照 1、57、61、62）

表 43 甲状腺機能試験概要

性別 投与群	雄	雌
フルキサピロキサド	・甲状腺へのヨード取込上昇	
PTU	・体重増加抑制 ・甲状腺絶対重量増加 ・甲状腺へのヨード取込低下 ・甲状腺でのヨード有機化低下	・体重増加抑制 ・甲状腺絶対重量増加 ・甲状腺へのヨード取込低下
PB	・甲状腺絶対重量増加 ・甲状腺へのヨード取込上昇	・甲状腺中の放射能濃度増加

### (3) 肝細胞増殖反応試験 (ラット)

#### ①肝細胞増殖反応試験 (ラット) -1

肝細胞の増殖反応を検討するため、Wistar ラット (一群雌雄各 10 匹) に 1、4<sup>8</sup>又は 13 週間混餌 (原体 : 0、250、1,500 及び 3,000 ppm : 平均検体摂取量は表 44 参照) 投与して、BrdU の取り込みが検討された。また、3,000 ppm 投与群の雌雄については、4 週投与後に 4 週間の休薬期間を設定し、肝細胞の増殖活性を検索した。

表 44 肝細胞増殖反応試験 (ラット) -1 の平均検体摂取量

性別 投与群	雄			雌		
	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
投与期間	平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)					
13 週	13	80	163	17	106	190
4 週	12	79	122	15	87	173
1 週	12	61	104	15	79	137

投与 1 週後から 13 週後に 1,500 ppm 以上投与群の雌雄で肝細胞の増殖亢進が認められた。また、4 週投与後に 4 週間の休薬期間を設定した場合には増殖の亢進が認められなかったことから、肝細胞への増殖亢進作用は可逆的であると推察された。(参照 1、58、61、62)

#### ②肝細胞増殖反応試験 (ラット) -2

肝細胞の増殖反応を検討するため、Wistar ラット (一群雌雄各 10 匹) に最長 13 週間混餌 (原体 : 0 及び 50 ppm : 平均検体摂取量は表 45 参照) 投与して、BrdU の取り込みが検討された。

<sup>8</sup> 4 週間の投与終了後、4 週間の休薬期間が設定された。

表 45 肝細胞増殖反応試験（ラット）-2 の平均検体摂取量

50 ppm 投与	投与期間			
	性別	1 週	4 週	13 週
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	2.5	2.5	3.0
	雌	2.9	3.1	3.5

肝細胞の増殖亢進はいずれにおいても認められなかったことから、50 ppm 投与により、肝細胞の増殖亢進は生じないことが示された。（参照 1、59、61、62）

### ③肝細胞増殖反応試験（ラット）-3

肝細胞の増殖反応を検討するため、Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）に最長 2 週間混餌（原体：0、50、250、1,500 及び 3,000 ppm：平均検体摂取量は表 46 参照）投与して、BrdU の取り込みが検討された。

表 46 肝細胞増殖反応試験（ラット）-3 の平均検体摂取量

性別	雄				雌			
	50 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm	50 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
投与期間	平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)							
14 日	4.0	17	106	201	3.5	20	104	214
7 日	3.3	16	100	183	3.5	17	92	195
3 日	3.0	16	93	176	3.2	15	82	186
1 日	3.0	15	86	150	3.6	17	91	146

結果は表 47 に示されている。

肝細胞の増殖活性亢進は、3 及び 7 日間投与群では雌雄とも全野で認められたが、14 日投与群では雄では中心静脈域のみであり、雌では門脈域及び中心静脈域で認められた。

本試験において、フルキサピロキサドは肝細胞の細胞増殖亢進作用を有すると考えられた。（参照 1、60、61、62）

表 47 肝細胞増殖反応試験（ラット）

性別 投与群	雄	雌
3,000 ppm		・小葉中心性肝細胞肥大（3、7 及び 14 日投与）
1,500 ppm 以上	・肝絶対及び比重量増加（3、7 及び 14 日投与） ・小葉中心性肝細胞肥大（7 及び 14 日投与） ・肝細胞増殖活性亢進 3、7 及び 14	・肝絶対及び比重量増加（3、7 及び 14 日投与） ・小葉中心性肝細胞肥大（14 日投与）

	日投与)	
250 ppm 以上	・肝絶対及び比重量増加 (14 日投与)	・肝細胞増殖活性亢進 (3、7 及び 14 日投与)
50 ppm	・甲状腺絶対及び比重量増加 (3、7 及び 14 日投与)	・肝細胞増殖活性亢進 (7 日投与)

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

ラットを用いた種々の試験 [14. (1) ~ (3)] 結果より、本剤の投与により肝ミクロソームの薬物代謝酵素が誘導され、 $T_4$ -UDP-GT 亢進による甲状腺ホルモンの代謝が活性化することが関与して TSH が増加し、標的細胞である甲状腺ろ胞細胞の過形成及び甲状腺腫瘍が誘発されると考えられた。また、本剤は、肝細胞に対し分裂亢進作用を有すると考えられた。

### Ⅲ. 食品健康影響評価

参照に挙げた資料を用いて、農薬「フルキサピロキサド」の食品健康影響評価を実施した。なお、今回、作物残留試験（いちご、ブルーベリー等）の成績等が新たに提出された。

14C で標識されたフルキサピロキサドのラットを用いた動物体内運命試験において、胆汁中排泄率から推定された消化管からの吸収率は、少なくとも 72%であった。放射能の排泄は速やかであり、単回投与後 72 時間の尿及び糞中排泄率は、87.3~108%TAR であり、主に糞中へ排泄された。

14C で標識したフルキサピロキサドの畜産動物（ヤギ及びニワトリ）を用いた動物体内運命試験の結果、筋肉、組織等で 10%TRR を超えて検出された代謝物は、F004、F005、F008、F010、F016、F024 及び F040 であり、F040 は、ラットで認められない代謝物であった。

14C で標識されたフルキサピロキサドを用いた植物体内運命試験の結果、小麦（茎葉）で代謝物 F008 が 10.6%TRR、だいた（子実）で F002 が 33.4%TRR 及び F048 が 19.9%TRR 検出された。

海外における作物残留試験の結果、フルキサピロキサド、代謝物 F002、F008 及び F048 の最大残留値は、それぞれ非結球レタス（葉）における 9.53 mg/kg、だいた（未成熟子実）及びピーマン（果実）における 0.02 mg/kg、ラディッシュ（葉）における 0.9 mg/kg 及びマスタードグリーン（葉）における 1.5 mg/kg であった。

フルキサピロキサド、代謝物 F008 及び F002 を分析対象化合物とした海外における畜産物残留試験では、飼料中濃度相当量を投与した場合それぞれの最大残留値は、フルキサピロキサドがウシの脂肪で 0.0193 µg/g、代謝物 F008 がウシの肝臓で 0.0379 µg/g であった。代謝物 F002 はいずれにおいても定量限界未満であった。

各種毒性試験結果から、フルキサピロキサド投与による影響は主に肝臓（小葉中心性肝細胞肥大、脂肪化：マウス、肝細胞色素沈着）、甲状腺（ろ胞細胞肥大/過形成：ラット）、骨（骨化過剰：ラット及びマウス）及び歯（白変：ラット及びマウス）に認められた。繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。

ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験では、肝臓において、雌雄で肝臓腫瘍が増加し、甲状腺において、雄で腺腫及び癌の合計が増加したが、メカニズム試験及び遺伝毒性試験の結果から、腫瘍発生機序は遺伝毒性メカニズムによるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

各種試験結果から、暴露評価対象物質は、農産物及び畜産物中でフルキサピロキサド（親化合物のみ）と設定した。

各試験における無毒性量等は表 48 に、単回経口投与等により惹起されると考え

られる毒性影響等は表 49 にそれぞれ示されている。

ラットを用いた 90 日間亜急性毒性試験の雄、90 日間亜急性神経毒性試験の雌及び 2 世代繁殖試験の親動物の雌雄では無毒性量が設定できなかったが、これらに比し、より低用量かつ長期間行われたラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験では無毒性量 2.1 mg/kg 体重/日が得られており、2.1 mg/kg 体重/日がラットの無毒性量として妥当と考えられた。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験の 2.1 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.021 mg/kg 体重/日を一日摂取許容量 (ADI) と設定した。

また、フルキサピロキサドの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験の 125 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 1.2 mg/kg 体重を急性参照用量 (ARfD) と設定した。

ADI	0.021 mg/kg 体重/日
(ADI 設定根拠資料)	2 年間慢性毒性/発がん性併合試験
(動物種)	ラット
(期間)	2 年間
(投与方法)	混餌
(無毒性量)	2.1 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100
ARfD	1.2 mg/kg 体重
(ARfD 設定根拠資料)	急性神経毒性試験
(動物種)	ラット
(期間)	単回
(投与方法)	強制経口
(無毒性量)	125 mg/kg 体重
(安全係数)	100

表 48 各試験における無毒性量及び最小毒性量

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 <sup>1)</sup>
ラット	90 日間 亜急性 毒性試験	0、100、500、2,000、 6,000 ppm 雄：0、6.1、31.2、 126、407 雌：0、7.3、35.1、 144、424	雄：— 雌：7.3	雄：6.1 雌：35.1	雄：T <sub>3</sub> 増加 雌：甲状腺ろ胞細胞肥大/ 過形成等
	90 日間 亜急性 神経毒性 試験	0、200、1,000、5,000 ppm 雄：0、11.5、57.7、 302 雌：0、13.4、67.2、 338	雄：11.5 雌：—	雄：57.7 雌：13.4	雄：小葉中心性肝細胞肥 大等 雌：甲状腺絶対及び比重量 増加  (亜急性神経毒性は認め られない)
	2 年間 慢性毒性/ 発がん性 併合試験	0、50、250、1,500、 3,000 ppm 雄：0、2.1、11、68、 145 雌：0、2.7、14、82、 182	雄：2.1 雌：2.7	雄：11 雌：14	雌雄：小葉中心性肝細胞 肥大等  (3,000 ppm 投与群の雄 で肝細胞癌、3,000 ppm 投与群の雌で肝細胞腺 腫、1,500 ppm 以上投与 群の雄で肝細胞腺腫並び に肝細胞腺腫及び癌の合 計が増加)
	2 世代 繁殖試験	P 雄：0、9.5、47.6、 285 P 雌：0、9.8、48.8、 293 F <sub>1</sub> 雄：0、9.6、47.7、 286 F <sub>1</sub> 雌：0、9.6、47.9、 289	親動物 P 雄：— P 雌：— F <sub>1</sub> 雄：— F <sub>1</sub> 雌：—  児動物 P 雄：9.5 P 雌：9.8 F <sub>1</sub> 雄：9.6 F <sub>1</sub> 雌：9.6	親動物 P 雄：9.5 P 雌：9.8 F <sub>1</sub> 雄：9.6 F <sub>1</sub> 雌：9.6  児動物 P 雄：47.6 P 雌：48.8 F <sub>1</sub> 雄：47.7 F <sub>1</sub> 雌：47.9	親動物 雄：小葉中心性肝細胞肥 大等 雌：肝絶対及び比重量増 加  児動物 雌雄：体重増加抑制  (繁殖能に対する影響は 認められない)
	発生毒性 試験	0、25、200、1,000	母動物：25  胎児：1,000	母動物： 200  胎児：—	母動物：甲状腺絶対及び 比重量増加等  胎児：毒性所見なし  (催奇形性は認められな い)
マウス	90 日間 亜急性毒	0、100、400、2,000、 6,000 ppm	雄：21 雌：128	雄：77 雌：610	雄：TG 及び Chol 減少 雌：肝絶対及び比重量増

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 <sup>1)</sup>
	性試験	雄：0、21、77、390、 1,140 雌：0、32、128、610、 1,660			加等
	18 か月間 発がん性 試験	0、150、750、3,000、 6,000 ppm 雄：0、21、107、468、 996 雌：0、33、158、652、 1,310	雄：21 雌：33	雄：107 雌：158	雌雄：肝臓の大滴性脂肪 化等  (発がん性は認められな い)
ウサギ	発生毒性 試験	0、10、25、60	母動物及び 胎児：25	母動物及び 胎児：60	母動物：体重増加抑制等 胎児：肢過屈曲増加  (催奇形性は認められな い)
イヌ	90 日間 亜急性 毒性試験	雄：0、300、1,500、 10,000 ppm 雌：0、300、1,500、 7,500 ppm 雄：0、9、45、295 雌：0、10、51、238	雄：9 雌：10	雄：45 雌：51	雌雄：Chol 減少等
	1 年間 慢性毒性 試験	雄：0、300、1,500、 12,000 ppm 雌：0、300、1,500、 9,000 ppm 雄：0、8、39、335 雌：0、9、43、257	雄：8 雌：9	雄：39 雌：43	雌雄：肝細胞色素沈着 (鉄陽性) 等
ADI			NOAEL：2.1 mg/kg 体重/日 SF：100 ADI：0.021 mg/kg 体重/日		
ADI 設定根拠資料			ラット 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験		

<sup>1)</sup>：備考に最小毒性量で認められた主な毒性所見を記した。

－：無毒性量又は最小毒性量は設定できなかった。

表 49 単回経口投与等により惹起されると考えられる毒性影響等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重)	無毒性量及び急性参照用量設定に関連するエンドポイント <sup>1)</sup> (mg/kg 体重)
ラット	一般薬理試験 (Irwin 法)	0、200、600、2,000	雄：600 雄：軟便・下痢（投与 6 時間後）
	急性神経毒性試験	0、125、500、2,000	雌雄：125 雄：自発運動量低下（投与日）及び立ち上がり回数減少 雌：自発運動量低下（投与日）
ARfD			NOAEL：125 SF：100 ARfD：1.2
ARfD 設定根拠資料			ラット急性神経毒性試験

ARfD：急性参照用量 SF：安全係数 NOAEL：無毒性量

<sup>1)</sup>：最小毒性量で認められた主な毒性所見を記した。

<別紙1：代謝物/分解物略称>

略称	化学名
F001	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボン酸
F002	3-(ジフルオロメチル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボン酸
F004	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F005	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [5-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F006	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F007	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F008	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F009 F036	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F010	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F011	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ヒドロキシ-(1-グルクロニル)オキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F014	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F015	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(1-グルクロニル)オキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F016	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [メチルチオ-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F020	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ヒドロキシ-(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F023	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F024 F040	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F025	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [(ヒドロキシスルホニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F026	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(ヒドロキシスルホニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F027	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(ヒドロキシスルホニル)オキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F028	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [メチルチオ-(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F032 F046	3-(ヒドロキシカルボニル)- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F033 F047	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ヒドロキシピラゾール-4-カルボキサミド

F034 F111	3-(ジフルオロメチル)-1-グルクロニル- <i>N</i> -[3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F038	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [(ヒドロキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル)-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F039	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(ジヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル)-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F042	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル)-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F043	3-(ヒドロキシカルボニル)-1-メチル- <i>N</i> [(ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル)-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F044	3-(ヒドロキシカルボニル)-1-メチル- <i>N</i> -[3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F048	3-(ジフルオロメチル)-1-グルコシド- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F057	3-(ジフルオロメチル)-1-メトキシグルコシド- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F058 F130	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(マロニルグルコシドオキシ)3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F059	3-(ジフルオロメチル)-1-メトキシマロニルグルコシド- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F060	3-(ジフルオロメチル)-1-マロニルグルコシド- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F061	3-(ジフルオロメチル)-5-(1-グルクロニル)オキシ- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F063	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F074 F075	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>O</i> -グルコシド)-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F082	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> -(ベンゼン-2-カルボキシル)-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F113	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>C</i> -グリシル)-( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F114	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-(1-グルクロニル)オキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F115	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>C</i> -グリシル)-( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F116	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F117	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',[4'又は5']-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F118	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド

F120	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-3', 4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F121	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',[4'又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F122	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F123	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [(1-グルクロニル)オキシ-3',4', 5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F124	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [2'-(1-グルクロニル)オキシ-3', 4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F125	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [2'-(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F131	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [2'-(1-フェルロイルグルコシド)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F132	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ベンゼン-2-(2-アルキルジカルボキシル)]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F133	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [3',[4 又は 5']-ジフルオロ
F134	(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド

<別紙 2 : 検査値等略称>

略称	名称
ai	有効成分量 (active ingredient)
Alb	アルブミン
ALP	アルカリホスファターゼ
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ [=グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ (GPT) ]
AUC	薬物濃度曲線下面積
BrdU	5-プロモ-2'-デオキシウリジン
BROD	ベンジルオキシレゾルフィン <i>O</i> -デペンチラーゼ
Chol	コレステロール
Cre	クレアチニン
EROD	エトキシレゾルフィン <i>O</i> -デエチラーゼ
FOB	機能観察総合検査
GGT	$\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ [= $\gamma$ -グルタミルトランスペプチダーゼ ( $\gamma$ -GTP) ]
Glob	グロブリン
Glu	グルコース (血糖)
C <sub>max</sub>	最高濃度
CMC	カルボキシメチルセルロース
HOBIGT	4-ヒドロキシビフェニルグルクロニルトランスフェラーゼ
LC <sub>50</sub>	半数致死濃度
LD <sub>50</sub>	半数致死量
MUF-GT	4-メチルウンベリフェロングルクロニルトランスフェラーゼ
P450	チトクローム P450
PB	フェノバルビタール (ナトリウム)
PHI	最終使用から収穫までの日数
PROD	ペントキシレゾルフィン <i>O</i> -デペンチラーゼ
PT	プロトロンビン時間
PTU	プロピルチオウラシル
T <sub>1/2</sub>	消失半減期
T <sub>3</sub>	トリヨードサイロニン
T <sub>4</sub>	サイロキシン
T <sub>4</sub> -UDP-GT	T <sub>4</sub> -UDP-グルクロノシルトランスフェラーゼ
T.Bil	総ビリルビン
TG	トリグリセリド
TP	総蛋白質
T <sub>max</sub>	最高濃度到達時間
TAR	総投与 (処理) 放射能

TRR	総残留放射能
TSH	甲状腺刺激ホルモン
UDS	不定期 DNA 合成
Ure	尿素

<別紙3：作物残留試験成績（海外）>

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キサド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
とう もろ こし	6.25% EC	Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
			2	7	101	202	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
						102	201	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
		RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	101	201	穀粒*	7	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08		
						101	200	穀粒*	7	0.09	<LOD	<LOQ	<LOD	0.10	
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	101	201	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
						8	100	198	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	99	198	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
						100	200	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
		Clarke, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	98	197	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
									穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		MD of Taber, AB, カナダ	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	9	101	200	穀粒*	5	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
									穀粒*	5	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	99	197	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
							穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
Payette, ID, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-			
	2	7	102	202	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01			
							穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
Hood River, OR, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-			
	2	7	99	198	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01			
							穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		

EC：乳剤

-：該当なし

\*穀粒+外皮を除いた穂軸

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キサド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
とう もろ こし	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	101	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
					105	205	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					102	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					101	200	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					101	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					8	100	198	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					7	101	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					100	200	穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	104	204	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					6	102	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
2	7		102	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
			102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
Steele, MN, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	104	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
			6	102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		

EC：乳剤

-：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キサド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
とう もろ こし	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
			2	7	99	198	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
					100	200	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
		Clinton, IL, 米国	2	7	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
					99	198	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
		98	195	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01				
												RM of Grey, MB, カナダ	-	-	-
		2	7	100	195	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01			
				104	205	穀粒	21	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
		Wharton, TX, 米国	2	7	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
101	202				穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01				
8	104	206	穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01						

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
小麦	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	101	201	穀粒	22	0.06	<LOD	<LOQ	<LOD	0.07	
				7	99	196	穀粒	22	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06	
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	100	199	穀粒	21	0.14	<LOD	0.03	<LOD	0.17	
				7	100	199	穀粒	21	0.10	<LOD	0.02	<LOD	0.12	
		Polk, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	8	102	202	穀粒	21	0.07	<LOD	0.01	<LOD	0.08	
				7	100	199	穀粒	21	0.07	<LOD	0.01	<LOD	0.08	
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	100	200	穀粒	20	0.02	<LOD	<LOQ	<LOD	0.03	
					101	198	穀粒	20	0.03	<LOD	<LOQ	<LOD	0.04	
		Kent, MI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	99	198	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06	
				7	100	198	穀粒	21	0.04	<LOD	0.01	<LOD	0.05	
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	102	202	穀粒	20	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08	
				8	101	201	穀粒	20	0.04	<LOD	<LOD	<LOD	0.04	
		Hall, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	103	204	穀粒	21	0.07	<LOD	0.01	<LOD	0.08	
					101	201	穀粒	21	0.08	<LOD	0.02	<LOD	0.10	
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	8	102	204	穀粒	7	0.40	<LOD	0.05	<LOQ	0.46	
								14	0.28	<LOD	0.05	<LOQ	0.34	
								21	0.11	<LOD	0.02	<LOD	0.13	
								28	0.09	<LOD	0.02	<LOD	0.11	
					7	101	201	穀粒	7	0.38	<LOD	0.05	<LOQ	0.44
									14	0.27	<LOD	0.05	<LOQ	0.33
									21	0.10	<LOD	0.02	<LOD	0.12
									28	0.09	<LOD	0.02	<LOD	0.11
RM of Vanscoy, SK, カガ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-			
	2	7	102	203	穀粒	20	0.04	<LOD	<LOQ	<LOD	0.05			
			100	200	穀粒	20	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08			

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
小麦	6.25% EC	Stutsman, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	105	204	穀粒	20	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
					102	203	穀粒	20	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
		RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	195	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
		100			197	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06	
		Taber, AB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	104	202	穀粒	27	0.08	<LOD	<LOQ	<LOD	0.09
		105			205	穀粒	27	0.08	<LOD	<LOQ	<LOD	0.09	
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	198	穀粒	25	0.02	<LOD	<LOD	<LOD	0.02
		8			97	穀粒	25	0.02	<LOD	<LOQ	<LOD	0.03	
		Pawnee, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	199	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13
		7			102	穀粒	21	0.14	<LOD	<LOQ	<LOD	0.15	
		Barton, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	穀粒	21	<LOQ	<LOD	<LOQ	<LOD	<0.01
		100			201	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06	
		Washita, OK, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	103	204	穀粒	21	0.11	<LOD	<LOQ	<LOD	0.12
		8			102	穀粒	21	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08	
		Payette, ID, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOD	<LOD	0.05
		101			201	穀粒	21	0.04	<LOD	<LOD	<LOD	0.04	
		RM of Laird, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	穀粒	20	0.17	<LOD	<LOQ	<LOD	0.18
		8			100	穀粒	20	0.15	<LOD	<LOQ	<LOD	0.16	
		RM of Laird, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
2	7		100	200	穀粒	20	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20		
		8	99	穀粒	20	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20			
RM of Whitewater, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	104	206	穀粒	21	0.05	<LOD	0.04	<LOD	0.09		
101			203	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06			

EC：乳剤

-：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
小麦	6.25% EC	RM of Rosthern, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	201	穀粒	21	0.10	<LOD	<LOQ	<LOD	0.11
				6	102	203	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13
		RM of Rosthern, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	202	穀粒	21	0.11	<LOD	<LOQ	<LOD	0.12
		6		103	202	穀粒	21	0.11	<LOD	<LOQ	<LOD	0.12	
		RM of Dundurn, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	196	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13
		100			200	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13	
		Stutsman, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	穀粒	20	0.11	<LOD	0.02	<LOD	0.13
		8		102	202	穀粒	20	0.08	<LOD	0.01	<LOD	0.09	
		Strathcona, AB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	100	199	穀粒	7	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20
							穀粒	13	0.17	<LOD	<LOQ	<LOD	0.18
							穀粒	20	0.21	<LOD	<LOQ	<LOD	0.22
							穀粒	27	0.21	<LOD	<LOQ	<LOD	0.22
			99	197	穀粒	7	0.18	<LOD	<LOQ	<LOD	0.19		
					穀粒	13	0.15	<LOD	<LOQ	<LOD	0.16		
		穀粒			20	0.16	<LOD	<LOQ	<LOD	0.17			
穀粒	27	0.20	<LOD	<LOQ	<LOD	0.21							

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

<LOQ: <0.01 ppm

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
ソル ガム	6.25% EC	Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	0.13	<LOD	<LOQ	<LOD	0.14
					101	201	穀粒	21	0.12	<LOD	0.01	<LOD	0.13
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	20	0.15	<LOD	<LOQ	<LOD	0.16
					100	199	穀粒	20	0.14	<LOD	<LOQ	<LOD	0.15
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	100	199	穀粒	21	0.13	<LOD	0.04	<LOQ	0.18
				7	100	200	穀粒	21	0.17	<LOD	0.05	<LOQ	0.23
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	99	197	穀粒	23	0.18	<LOD	<LOQ	<LOD	0.19
				6	102	201	穀粒	23	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	201	穀粒	20	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20
				7	101	201	穀粒	20	0.43	<LOD	0.01	<LOQ	0.45
		Clarke, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	198	穀粒	21	0.41	<LOD	<LOQ	<LOD	0.42
					101	201	穀粒	21	0.38	<LOD	<LOQ	<LOD	0.39
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	穀粒	22	0.21	<LOD	0.01	<LOQ	0.23
					100	199	穀粒	22	0.20	<LOD	0.01	<LOQ	0.22
		Pawnee, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	穀粒	21	0.16	<LOD	<LOQ	<LOD	0.17
					100	199	穀粒	21	0.17	<LOD	<LOQ	<LOD	0.18
Stafford, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	101	200	穀粒	21	0.30	<LOD	0.08	<LOQ	0.39		
			104	201	穀粒	21	0.17	<LOD	0.04	<LOQ	0.22		

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

<LOQ: <0.01 ppm

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
稲	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	穀粒	22	0.50	<LOD	0.02	<LOD	0.52
							穀粒	22	0.53	<LOD	0.02	<LOD	0.55
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	201	穀粒	22	0.67	<LOD	0.02	<LOQ	0.70
						穀粒	22	0.75	<LOD	0.02	<LOQ	0.78	
		Pima, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	21	0.08	<LOD	<LOQ	<LOQ	0.09
						穀粒	21	0.08	<LOD	<LOQ	<LOQ	0.09	
		Clay, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	200	穀粒	21	0.35	<LOD	<LOQ	<LOD	0.36
							穀粒	21	0.30	<LOD	<LOQ	<LOD	0.31
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	197	穀粒	20	0.51	<LOD	<LOQ	<LOD	0.52
						穀粒	20	0.51	<LOD	<LOQ	<LOD	0.52	
		Glenn, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	21	1.58	<LOD	<LOQ	<LOD	1.59
						穀粒	21	1.96	<LOD	<LOQ	<LOD	1.97	
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	-*	-*	-*	-
			2	6	101	200	穀粒	21	1.21	<LOD	0.03	<LOQ	1.25
							穀粒	21	1.51	<LOD	0.03	<LOQ	1.55
							穀粒	22	1.25	<LOD	0.03	<LOQ	1.29
							穀粒	22	1.16	<LOD	0.03	<LOQ	1.20
							穀粒	24	1.43	<LOD	0.03	<LOQ	1.47
					穀粒	24	1.29	<LOD	0.03	<LOQ	1.33		
					穀粒	28	1.29	<LOD	0.03	<LOQ	1.33		
					穀粒	28	1.26	<LOD	0.03	<LOQ	1.30		
					穀粒	30	1.33	<LOD	0.03	<LOQ	1.37		
				穀粒	30	1.21	<LOD	0.03	<LOQ	1.25			
Glenn, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	102	204	穀粒	21	1.28	<LOD	<LOQ	<LOD	1.29		
				穀粒	21	1.05	<LOD	<LOQ	<LOD	1.06			

EC：乳剤

-：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
稲	6.25% EC	Rapides Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	穀粒	20	1.17	<LOD	0.01	<LOQ	1.19
							穀粒	20	1.18	<LOD	0.01	<LOQ	1.20
		Rapides Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	20	1.19	<LOD	0.02	<LOQ	1.22
		Washington MS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	穀粒	21	0.65	<LOD	<LOQ	<LOQ	0.66
		Washington MS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	穀粒	26	0.36	<LOD	<LOQ	<LOD	0.37
						穀粒	26	0.40	<LOQ	<LOQ	<LOD	0.42	

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

\*:この分析は2連で行われなかった。

<LOQ: <0.01 ppm

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
大麦	6.25% EC	Payette, ID, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	103	204	穀粒	21	0.49	<LOD	<LOQ	<LOD	0.50
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	穀粒	21	0.42	<LOD	0.02	<LOQ	0.45
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	0.77	<LOD	<LOQ	<LOD	-
			2	8	102	202	穀粒	20	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		RM of Dundurn, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	穀粒	21	0.53	<LOD	<LOQ	<LOD	0.54
		RM of Vanscoy, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	穀粒	20	0.36	<LOD	<LOQ	<LOD	0.37
		Hall, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	202	穀粒	21	0.51	<LOD	0.02	<LOD	0.53
		MD of Lethbridge, AB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	0.86	<LOD	<LOQ	<LOD	0.87
		MD of Taber, AB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	10	102	200	穀粒	21	1.09	<LOD	<LOQ	<LOD	1.10
		RM of Laird, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	103	203	穀粒	22	0.82	<LOD	0.02	<LOD	0.84
		RM of Rosthern, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	103	204	穀粒	21	0.54	<LOD	0.02	<LOD	0.56
							穀粒	21	0.45	<LOD	0.01	<LOD	0.46

EC：乳剤

-：該当なし

\*:この分析は行われなかった。

<LOQ: <0.01 ppm

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
大麦	6.25% EC	RM of Coldwell, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
			2	7	102	198	穀粒	20	0.38	<LOD	0.03	<LOD	0.41		
							穀粒	20	0.28	<LOD	0.02	<LOD	0.30		
							穀粒	21	0.27	<LOD	0.02	<LOD	0.29		
							穀粒	21	0.37	<LOD	0.02	<LOD	0.39		
							穀粒	25	0.41	<LOD	0.03	<LOD	0.44		
							穀粒	25	0.38	<LOD	0.03	<LOD	0.41		
							穀粒	27	**	**	**	**	**		
							穀粒	27	0.41	<LOD	0.03	<LOD	0.44		
							穀粒	31	0.37	<LOD	0.03	<LOD	0.40		
						穀粒	31	0.37	<LOD	0.03	<LOD	0.40			
				RM of Woodlands, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	0.03	<LOD	<LOD	<LOD	-
					2	8	103	202	穀粒	20	1.65	<LOD	0.06	<LOD	1.72
							穀粒	20	0.78	<LOD	0.03	<LOD	0.81		

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

\*\*：容器破損のためサンプル分析を行わなかった。

<LOQ： <0.01 ppm

<LOD： <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付 け 当り			フルサ ピロ キトド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
エンド ウ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	子実*	7	0.49	ND	0.01	ND	0.51
		Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	204	子実*	6	0.75	<0.01	<0.01	ND	0.77
		Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	201	子実*	7	0.63	ND	0.02	ND	0.66
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	105	207	子実*	4	0.97	<0.01	<0.01	<0.01	0.99
		Stutsman, IL, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	子実*	0	1.04	ND	<0.01	ND	1.05
			子実*	0	0.75	ND	<0.01	ND	0.76				
			子実*	4	0.71	ND	<0.01	ND	0.72				
			子実*	4	0.68	ND	<0.01	ND	0.69				
			子実*	7	0.78	ND	<0.01	<0.01	0.79				
			子実*	7	0.67	ND	<0.01	<0.01	0.68				
			子実*	13	0.13	ND	ND	ND	0.14				
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実*	7	0.21	ND	0.01	<0.01	0.23
		子実*	7	0.25	ND	0.01	<0.01	0.27					
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	子実*	7	0.66	ND	ND	ND	0.67
		子実*	7	0.63	ND	ND	ND	0.64					
		Jerome, ID, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	200	子実*	7	0.26	ND	0.02	<0.01	0.29
		子実*	7	0.17	ND	0.02	<0.01	0.20					

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

\*: さやつき未成熟子実。

ND: <LOD, <0.003125 ppm

<LOD: <0.003125 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付 け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
エンド ウ	6.25% EC	Grant, WA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
			2	7	100	200	子実*	0	0.91	ND	<0.01	ND	0.92		
							子実*	0	1.04	ND	<0.01	ND	1.05		
							子実*	4	0.27	ND	0.01	ND	0.29		
							子実*	4	0.25	ND	<0.01	ND	0.26		
							子実*	7	0.17	ND	<0.01	ND	0.18		
							子実*	7	0.16	ND	<0.01	<0.01	0.17		
							子実*	14	0.09	ND	<0.01	ND	0.10		
						子実*	14	0.08	ND	<0.01	<0.01	0.09			
				Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
		2	7		100	199	子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05		
								子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05	
				Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
		2	6		102	204	子実**	6	0.03	<0.01	ND	ND	0.04		
								子実**	6	0.03	<0.01	ND	ND	0.04	
				Portage la Prairie, MB, カダ	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
		2	6		102	201	子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05		
								子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04	
				Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
		2	7		105	207	子実**	4	0.04	ND	ND	ND	0.05		
								子実**	4	0.05	ND	ND	ND	0.06	
				Stutsman, IL, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
		2	7		102	202	子実**	0	0.03	ND	ND	ND	0.04		
							子実**	0	0.08	ND	ND	ND	0.09		
							子実**	4	0.06	ND	ND	ND	0.07		
							子実**	4	0.05	ND	ND	ND	0.06		
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04		
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04		
							子実**	13	0.03	ND	ND	ND	0.04		
						子実**	13	0.02	ND	ND	ND	0.03			
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
2	7		101	201	子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04				
						子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04			

EC：乳剤

-：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 回数 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キトド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
エンド ウ	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	0.01
							子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	0.01
		Jerome, ID, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	200	子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	子実**	0	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	0	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	4	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	4	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	7	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	7	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	14	0.02	ND	ND	ND	0.03
				子実**	14	0.02	ND	ND	ND	0.03			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

\*: さやつき未成熟子実。

\*\* : さやなし未成熟子実。

ND: <LOD, <0.003125 ppm

<LOD: <0.003125 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
エンド ウ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	21	0.12	ND	<0.01	ND	0.13
						乾燥子実	21	0.20	ND	<0.01	ND	0.21	
		Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	103	203	乾燥子実	21	0.02	<0.01	ND	ND	0.03
						乾燥子実	21	0.02	<0.01	ND	ND	0.03	
		Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	乾燥子実	21	0.12	<0.01	<0.01	ND	0.14
						乾燥子実	21	0.09	ND	<0.01	ND	0.10	
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	105	207	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
						乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
		Stutsman, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	195	乾燥子実	21	0.03	ND	ND	ND	0.04
						乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05	
		RM 403, SK, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	104	206	乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
						乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
		RM 404, SK, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03
						乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03	
		Red Deer, AB, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	195	乾燥子実	21	0.15	<0.01	<0.01	ND	0.17
						乾燥子実	21	0.14	<0.01	<0.01	ND	0.16	
Red Deer, AB, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	102	200	乾燥子実	22	0.10	ND	ND	ND	0.11		
				乾燥子実	22	0.08	ND	ND	ND	0.09			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND: <LOD, <0.003125 ppm

<LOD: <0.003125 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キトド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
インゲン	6.25% EC	RM of Whitewater MB, カタダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
			201	401	乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01		
		乾燥子実			22	0.02	ND	ND	ND	0.03			
		Dane, WI, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
			205	403	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02		
		乾燥子実			21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01			
		Brant, ON, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	195	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
			208	404	乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03		
		乾燥子実			21	0.03	ND	ND	ND	0.04			
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
			202	401	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02		
		乾燥子実			21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01			
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	101	201	乾燥子実	21	0.07	ND	0.01	<0.01	0.09
							乾燥子実	21	0.14	ND	0.02	<0.01	0.17
			202	398	乾燥子実	21	0.21	ND	0.03	0.01	0.25		
乾燥子実	21	0.20			ND	0.03	0.01	0.24					
Stutsman, ND, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	9	100	199	乾燥子実	21	0.03	ND	ND	ND	0.04		
					乾燥子実	21	0.06	ND	ND	ND	0.07		
	210	413	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05				
乾燥子実			21	0.06	ND	<0.01	ND	0.07					

EC：乳剤

-：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キトド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
インゲン	6.25% EC	LaMoire, ND, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<0.03	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	9	102	200	乾燥子実	21	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	0.03	ND	ND	ND	0.04
			208	410	乾燥子実	21	0.05	ND	ND	ND	0.06		
		乾燥子実			21	0.04	ND	ND	ND	0.05			
		Pawnee, KS, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05
							乾燥子実	21	0.05	ND	ND	ND	0.06
			202	405	乾燥子実	21	0.07	<0.01	ND	<0.01	0.09		
		乾燥子実			21	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.09			
		Cache, UT, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	乾燥子実	22	0.01	ND	<0.01	ND	0.02
							乾燥子実	22	0.01	ND	<0.01	<0.01	0.02
			205	406	乾燥子実	22	0.04	ND	0.02	0.01	0.07		
		乾燥子実			22	0.03	ND	0.01	<0.01	0.05			
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
							乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
			201	401	乾燥子実	21	0.03	ND	<0.01	ND	0.04		
		乾燥子実			21	0.03	ND	<0.01	ND	0.04			
Grant, WA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	101	201	乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03		
					乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02		
	201	401	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05				
乾燥子実			21	0.03	ND	ND	ND	0.04					

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND: <LOD, <0.003125 ppm

<LOD: <0.003125 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付 け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
だいず	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	101	201	子実*	7	0.30	ND	0.02	<0.01	0.33	
								子実*	7	0.28	ND	0.01	ND	0.30
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	99	198	子実*	7	0.15	<0.01	0.01	<0.01	0.18	
								子実*	7	0.24	<0.01	0.01	<0.01	0.27
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	8	100	199	子実*	6	0.85	<0.01	0.04	0.01	0.91	
								子実*	6	0.52	<0.01	0.04	0.01	0.58
		Crittenden, AR, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	100	200	子実*	7	0.69	<0.01	0.02	<0.01	0.73	
								子実*	7	0.68	<0.01	0.02	<0.01	0.72
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	101	201	子実*	7	0.24	<0.01	0.04	0.01	0.30	
								子実*	7	0.33	<0.01	0.05	0.01	0.40
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	101	201	子実*	8	0.09	<0.01	0.01	<0.01	0.12	
								子実*	8	0.13	<0.01	0.02	<0.01	0.17
		Madison, IL, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-	
			2	6	100	197	子実*	8	0.11	<0.01	0.01	<0.01	0.14	
								子実*	8	0.25	ND	0.02	<0.01	0.28
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	102	198	子実*	7	0.27	ND	0.01	<0.01	0.29	
								子実*	7	0.26	ND	0.02	<0.01	0.29
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	103	204	子実*	7	0.10	<0.01	0.02	<0.01	0.14	
								子実*	7	0.10	<0.01	0.02	<0.01	0.14
		Steele, MN, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	103	204	子実*	7	0.12	<0.01	0.02	<0.01	0.16	
								子実*	7	0.07	ND	<0.01	ND	0.08
Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-			
	2	7	102	202	子実*	28	0.04	0.01	<0.01	<0.01	0.07			
						子実*	28	0.04	0.01	<0.01	<0.01	0.07		

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付 け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
だいず	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	100	199	子実*	8	0.53	<0.01	0.06	0.03	0.63	
								子実*	8	0.38	<0.01	0.03	0.02	0.44
		Grey, MB, カタ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	99	198	子実*	8	0.10	ND	0.01	<0.01	0.12	
								子実*	8	0.11	ND	0.01	<0.01	0.13
		Grey, MB, カタ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	102	204	子実*	0	0.77	ND	<0.01	ND	0.78	
							子実*	0	0.65	ND	<0.01	ND	0.66	
							子実*	4	0.15	ND	<0.01	ND	0.16	
							子実*	4	0.12	ND	<0.01	ND	0.13	
							子実*	7	0.10	ND	<0.01	ND	0.11	
							子実*	7	0.12	ND	0.01	<0.01	0.14	
							子実*	13	0.07	ND	<0.01	<0.01	0.08	
							子実*	13	0.05	ND	<0.01	<0.01	0.06	
							子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
		Portage la Prairie, MB, カタ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	8	99	192	子実*	0	1.31	<0.01	0.05	<0.01	1.38	
							子実*	0	1.40	<0.01	0.05	<0.01	1.47	
							子実*	5	1.15	0.02	0.12	0.03	1.34	
					子実*	5	1.11	0.02	0.12	0.02	1.30			
					子実*	8	0.20	0.02	0.03	<0.01	0.28			
					子実*	8	0.21	0.01	0.04	<0.01	0.28			
					子実*	15	0.15	0.03	0.06	0.02	0.30			
				子実*	15	0.19	0.03	0.06	0.02	0.34				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

\*: さやつき未成熟子実。

ND: <LOD, <0.003125 ppm

<LOD: <0.003125 ppm

<LOQ: <0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
だい ず	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	101	201	子実**	7	0.01	ND	ND	ND	0.02
							子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	198	子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
							子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	100	199	子実**	6	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.06
							子実**	6	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
		Crittenden, AR, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	子実**	7	0.35	<0.01	ND	ND	0.36
							子実**	7	0.38	<0.01	<0.01	ND	0.40
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実**	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03
							子実**	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実**	8	0.09	<0.01	0.01	<0.01	0.12
							子実**	8	0.12	<0.01	0.02	<0.01	0.16
		Madison, IL, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	197	子実**	8	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
							子実**	8	<0.01	<0.01	ND	<0.01	<0.02
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	198	子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	103	204	子実**	7	<0.01	<0.01	ND	<0.01	<0.02
							子実**	7	0.01	<0.01	ND	ND	0.02
		Steele, MN, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	103	204	子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
							子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	102	202	子実**	28	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	0.05		
					子実**	28	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.06		

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
だいず	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	100	199	子実**	8	0.02	<0.01	0.01	0.02	0.06	
		Grey, MB, カナダ	-	-	-	-	子実**	-	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	198	子実**	8	<0.01	ND	ND	<0.01	<0.01	
		Grey, MB, カナダ	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	204	子実**	0	0.05	ND	ND	ND	ND	0.06
		Grey, MB, カナダ	子実**	0	0.03	ND	ND	ND	ND	0.04				
			子実**	4	0.01	ND	ND	ND	ND	0.02				
			子実**	4	0.01	ND	ND	ND	ND	0.02				
			子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	ND	<0.01				
			子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	ND	<0.01				
			子実**	13	ND	ND	ND	ND	ND	<0.01				
			子実**	13	ND	ND	ND	ND	ND	<0.01				
			子実**	13	ND	ND	ND	ND	ND	<0.01				
		Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	99	192	子実**	5	0.03	<0.01	ND	ND	ND	0.04
			子実**	5	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.06					
			子実**	8	0.03	<0.01	ND	<0.01	0.05					
			子実**	8	0.03	0.01	<0.01	<0.01	0.06					
			子実**	15	0.02	<0.01	ND	<0.01	0.04					
子実**	15	<0.01	<0.01	ND	<0.01	<0.02								

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

\*\*：さやなし未成熟子実。

ND: <LOD, <0.003125 ppm

<LOD: <0.003125 ppm

<LOQ: <0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
だいず	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	198	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	201	乾燥子実	22	.*	.*	.*	.*	.*
							乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Crittenden, AR, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	乾燥子実	21	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.09
							乾燥子実	21	0.13	<0.01	<0.01	0.01	0.15
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	197	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Madison, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	94	186	乾燥子実	20	0.04	ND	ND	ND	0.05
							乾燥子実	20	0.02	ND	ND	ND	0.03
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	196	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Steele, MN, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	100	200	乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01		
					乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01		

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付 け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
だいず	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	100	200	乾燥子実	20	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01	
		RM of Grey, MB, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	196	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
							乾燥子実	21	ND	ND	ND	ND	<0.01	
		RM of Grey, MB, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	195	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
		RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	201	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05	
							乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05	

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

-\*:この分析は行われなかった。

ND: <LOD, <0.003125 ppm

<LOD: <0.003125 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	処理量 (g a.i./100 kg 種子)	部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
							フルキ ピロ キタ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)											
綿	30% SC	Turner, GA, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		100	綿実	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
					ND	ND	ND	ND	<0.0051		
		Monroe, AR, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	162	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Woodruff, AR, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	161	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Washington, MS, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	155	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Wilbarger, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	174	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Gray, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
				100	綿実	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Armstrong, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051
ND	ND	ND					ND	<0.0051			
Carson, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-		
	1	20	綿実	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
ND					ND	ND	<0.01	<0.0080			
Marshall, OK, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-		
	1	20	綿実	186	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
ND					ND	ND	ND	<0.0051			

SC：フロアブル剤

-：該当なし

種子処理

綿実：繊維を取らない状態の綿実

ND： <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	処理量 (g a.i./100 kg 種子)	部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
							フルサ ピロ キサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)											
綿	30% SC	Yuma, AZ, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	174	ND	ND	ND	<0.01	<0.0080
		Fresno, CA, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	172	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Madera, CA, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	176	ND	ND	ND	ND	<0.0051
						ND	ND	ND	ND	<0.0051	

SC：フロアブル剤

-：該当なし

種子処理

綿実：繊維を取らない状態の綿実

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	処理量 (g a.i./100 kg 種子)	部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
							フルキサ ピロ キタド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)											
綿	30% SC	Turner, GA, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
			1	100	***	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
			Wilbarger, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	0.002
		1		20	***	174	ND	ND	ND	ND	<0.0051
			ND				ND	ND	ND	<0.0051	
		Gray, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
			1	100	***	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Armstrong, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Carson, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Yuma, AZ, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	174	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Fresno, CA, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	172	ND	ND	ND	ND	<0.0051
ND	ND	ND					ND	<0.0051			

SC：フロアブル剤

-：該当なし

種子処理

\*\*\*: Gin byproducts

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：Ag Research Associates, LLC (米国 ジョージア州)														
ラッカ セイ	6.25% EC	Worth, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14 13	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
										<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	14	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
							子実	21	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
								<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
		Colquit, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14	100	302	子実	0	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
							子実	4	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
									<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	<0.01	
							子実	7	<0.01	<LOD	<0.01	<LOD	0.01	
								<0.01	<LOD	<0.01	<LOD	0.01		
		Turner, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
							子実	21	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
								<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14 13	100	302	子実	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
					子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD			
							<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD			
					子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD			
						<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：Ag Research Associates, LLC (米国 ジョージア州)														
ラッカ セイ	6.25% EC	Jasper, SC, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14	100	302	子実	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
			子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
					<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
			子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
		<LOD			<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD					
		Hampton, SC, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
			子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
					<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
			子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
		<LOD			<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD					
		Dale, AL, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	13 14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
			子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
					<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
			子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
		<LOD			<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD					
		Houston, AL, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
子実	14		<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD						
			<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01						
子実	21		<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD						
		<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD							

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：Ag Research Associates, LLC (米国 ジョージア州)														
ラッカ セイ	6.25% EC	Madison, FL, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	15 14	100	301	子実	3	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
										<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	10	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	17	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
								<LOD	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	0.02	
		Marshall, OK, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	13 14	102	307	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
								<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
		Wilbarger, TX, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14	105	310	子実	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
								<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
Collingsworth, TX, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-			
	3	14	102	306	子実	7	<LOD	<LOD	0.07	<LOD	0.08			
							<LOD	<LOD	0.09	<LOD	0.10			
					子実	14	<LOD	<LOD	0.04	<LOD	0.05			
							<LOD	<LOD	0.09	<LOD	0.10			
					子実	21	<LOD	<LOD	0.05	<LOD	0.06			
						<LOD	<LOD	0.04	<LOD	0.05				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)										
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計						
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																			
トマト	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-						
			2	6	100	201	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034						
										0.04	ND	ND	ND	<0.044					
									14	0.02	ND	ND	ND	<0.024					
										0.03	ND	<0.01	<0.01	<0.041					
									21	0.02	ND	ND	<0.01	<0.027					
										0.02	ND	<0.01	<0.01	<0.031					
			3	8 6	102	303	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034						
										0.06	ND	ND	ND	<0.064					
									14	0.03	ND	<0.01	ND	<0.038					
										0.03	ND	ND	ND	<0.034					
									21	0.01	ND	ND	ND	<0.014					
									0.02	ND	ND	<0.01	<0.027						
										<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-					
								2	6	101	201	果実	7	0.12	ND	ND	ND	<0.124	
														0.10	ND	ND	ND	<0.104	
														ND	ND	ND	ND	<0.005	
														<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026	
														0.02	ND	ND	ND	<0.024	
														ND	ND	ND	ND	<0.005	
															<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026
															<0.01	ND	ND	ND	<0.009
															ND	ND	ND	ND	<0.005
															<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.037
													0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.041		
													<0.01	ND	ND	ND	<0.009		

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)								
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計				
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																	
トマト	6.25% EC	Seminole, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-				
			2	7	102	203	果実	7	ND	ND	ND	ND	<0.005				
										<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026			
									14	0.03	ND	ND	ND	<0.034			
										0.03	ND	ND	ND	<0.024			
									21	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.031			
										0.02	ND	ND	ND	<0.024			
					3	7	102	302	果実	7	ND	ND	ND	ND	<0.005		
											ND	ND	ND	ND	<0.005		
									14	ND	ND	ND	ND	<0.005			
										ND	ND	ND	ND	<0.005			
								21	ND	ND	ND	ND	<0.005				
										ND	ND	ND	ND	<0.005			
				Dane, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
					2	7	100	200	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024		
											0.02	ND	ND	ND	<0.024		
									14	0.01	ND	ND	ND	<0.014			
											0.01	ND	ND	ND	<0.014		
									21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009			
											<0.01	ND	ND	ND	<0.009		
							3	7	103	304	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044
													0.05	ND	ND	ND	<0.054
							14	0.02	ND	ND	ND	ND	<0.024				
								0.02	ND	ND	ND	<0.024					
						21	<0.01	ND	ND	ND	ND	<0.009					
								0.01	ND	ND	ND	<0.014					

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
トマト	6.25% EC	Dane, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	7	101	202	果実	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.009		
										0.02	ND	ND	<0.01	<0.024	
									14	0.01	<0.01	ND	ND	<0.024	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
									21	<0.01	ND	ND	<0.01	<0.009	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
			3	6 7	103	307	果実	7	0.07	<0.01	<0.01	ND	<0.088		
										0.04	ND	ND	ND	<0.044	
									14	0.03	ND	ND	ND	<0.034	
									0.02	ND	ND	ND	<0.024		
								21	0.01	ND	ND	ND	<0.014		
									0.02	<0.01	<0.01	ND	<0.038		
				Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
					2	6	103	202	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024
										0.02	ND	ND	ND	<0.024	
									14	0.01	ND	ND	ND	<0.014	
										0.02	ND	ND	ND	<0.024	
									21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
			3	8 6	102	304	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044		
								0.03	ND	ND	ND	<0.034			
							14	0.02	ND	ND	ND	<0.024			
								0.01	ND	ND	ND	<0.014			
							21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009			
								<0.01	ND	ND	ND	<0.009			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キタ	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
トマト	6.25% EC	RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	7	100	199	果実	7	0.05	ND	ND	ND	<0.054		
									0.06	ND	ND	ND	<0.064		
			14	7	100	199	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034		
									0.03	ND	ND	ND	<0.034		
			21	7	100	199	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024		
									0.03	ND	<0.01	ND	<0.038		
			3	6 7	100	296	果実	7	0.08	ND	<0.01	ND	<0.088		
									0.07	ND	<0.01	ND	<0.078		
			14	6 7	100	296	果実	7	0.04	ND	<0.01	ND	<0.048		
									0.04	ND	<0.01	ND	<0.048		
			21	6 7	100	296	果実	7	0.04	ND	<0.01	ND	<0.048		
		0.04							ND	<0.01	ND	<0.048			
		PM of Portage la Prairie, MB, カナダ	6.25% EC	PM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
					2	7	100	200	果実	7	0.09	ND	ND	ND	<0.094
											0.08	ND	<0.01	ND	<0.088
					14	7	100	200	果実	7	0.06	ND	<0.01	ND	<0.068
											0.05	ND	ND	ND	<0.054
					21	7	100	200	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034
											0.04	ND	<0.01	ND	<0.048
					3	6 7	101	300	果実	7	0.06	ND	<0.01	ND	<0.068
											0.07	ND	<0.01	ND	<0.078
					14	6 7	101	300	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044
											0.04	ND	<0.01	ND	<0.048
21	6 7				101	300	果実	7	0.05	ND	<0.01	<0.01	<0.061		
		0.06	ND	<0.01					<0.01	<0.071					

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キナト	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
トマト	6.25% EC	Stafford, KS, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	7	100	200	果実	7	0.01	ND	ND	ND	<0.014	
										0.03	ND	ND	ND	<0.034
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									21	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019
										ND	<0.01	ND	ND	<0.015
			3	7	105	307	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024	
										0.11	ND	ND	ND	<0.114
									14	0.03	<0.01	ND	ND	<0.044
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
									ND	<0.01	ND	ND	<0.015	
		Vercheres, QC, カナダ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	7	99	195	果実	7	0.01	ND	ND	ND	<0.014	
										0.02	ND	ND	ND	<0.024
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									21	0.01	ND	ND	ND	<0.014
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009
3	6 7		105	307	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024			
								0.02	ND	ND	ND	<0.024		
							14	0.01	<0.01	ND	ND	<0.024		
							0.01	0.01	<0.01	ND	<0.039			
						21	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019			
							<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)							
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計			
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																
トマト	6.25% EC	Vercheres, QC, カタ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-			
			2	6	101	200	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024			
										0.02	ND	ND	ND	<0.024		
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009		
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009		
									21	0.01	ND	ND	ND	<0.014		
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009		
			3	7 6	100	295	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044			
										0.03	ND	ND	ND	<0.034		
									14	0.02	<0.01	ND	ND	<0.034		
									0.01	ND	ND	ND	<0.014			
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.024			
									0.01	ND	ND	ND	<0.014			
								果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
								果実	7	0.09	<0.01	ND	ND	<0.104		
										0.04	ND	ND	ND	<0.044		
								14	0.04	ND	<0.01	ND	<0.048			
										0.03	ND	<0.01	ND	<0.038		
								21	0.01	ND	ND	ND	<0.014			
										0.03	ND	<0.01	ND	<0.038		
						3	7	103	306	果実	7	0.05	ND	ND	ND	<0.054
												0.04	ND	ND	ND	<0.044
						14	0.03	ND	<0.01	ND	<0.038					
								0.02	<0.01	<0.01	ND	<0.038				
						21	0.01	0.02	<0.01	ND	<0.063					
								0.02	ND	<0.01	ND	<0.028				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キトド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
トマト	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	6	101	200	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044	
										0.05	ND	ND	ND	<0.054
									14	0.04	ND	ND	ND	<0.044
										0.05	ND	ND	ND	<0.054
									21	0.04	ND	ND	ND	<0.044
										0.03	ND	ND	ND	<0.034
			3	8 6	100	299	果実	7	0.06	ND	ND	ND	<0.064	
										0.06	ND	ND	ND	<0.064
									14	0.05	ND	ND	ND	<0.054
										0.05	ND	ND	ND	<0.054
									21	0.08	ND	ND	ND	<0.084
									0.07	ND	ND	ND	<0.074	
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	8	101	201	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034	
										0.03	ND	ND	ND	<0.034
									14	0.03	ND	ND	ND	<0.034
										0.05	ND	ND	ND	<0.054
									21	0.03	ND	ND	ND	<0.034
										0.04	ND	ND	ND	<0.044
			3	6 8	101	300	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034	
										0.03	ND	ND	ND	<0.034
									14	0.03	ND	ND	ND	<0.034
										0.03	ND	ND	ND	<0.034
							21	0.03	ND	ND	ND	<0.034		
							0.04	ND	ND	ND	<0.044			

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
トマト	6.25% EC	Tehama, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	7	98	195	果実	7	0.01	ND	ND	ND	<0.014	
										0.04	ND	ND	ND	<0.054
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
										<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019
									21	ND	<0.01	ND	ND	<0.015
										ND	<0.01	ND	ND	<0.015
			3	7	99	294	果実	7	0.12	ND	ND	ND	<0.124	
										0.02	ND	ND	ND	<0.024
									14	0.02	<0.01	ND	ND	<0.034
										0.02	ND	ND	ND	<0.024
									21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									ND	<0.01	ND	ND	<0.015	
		Glenn, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	7	98	196	果実	7	0.16	ND	ND	ND	<0.164	
										0.19	ND	<0.01	ND	<0.198
									14	0.14	ND	<0.01	ND	<0.148
										0.13	ND	ND	<0.01	<0.137
									21	0.19	ND	ND	<0.01	<0.197
										0.15	ND	ND	<0.01	<0.157
			3	7	98	293	果実	7	0.41	ND	<0.01	ND	<0.418	
										0.46	ND	<0.01	ND	<0.468
									14	0.33	ND	ND	<0.01	<0.337
										0.29	ND	<0.01	<0.01	<0.301
							21	0.22	ND	ND	<0.01	<0.227		
							0.15	ND	ND	<0.01	<0.157			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
トマト	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	7	101	201	果実	7	0.06	ND	ND	ND	<0.064	
									0.11	ND	ND	ND	<0.114	
			14	7	101	201	果実	14	0.09	ND	ND	ND	<0.094	
									0.09	ND	ND	ND	<0.094	
			21	7	101	201	果実	21	0.06	ND	ND	ND	<0.064	
									0.06	ND	ND	ND	<0.064	
			3	7	100	300	果実	7	0.11	ND	ND	ND	<0.114	
									0.08	ND	ND	ND	<0.084	
								14	0.08	ND	ND	ND	<0.084	
									0.07	ND	ND	ND	<0.074	
								21	0.08	ND	ND	ND	<0.084	
		0.12							ND	ND	ND	<0.124		
		Fresno, CA, 米国	6.25% EC	2	7	101	200	果実	7	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
										0.13	ND	ND	ND	<0.134
									14	0.10	ND	ND	ND	<0.104
										0.05	ND	ND	ND	<0.054
									21	0.07	ND	ND	ND	<0.074
										0.09	ND	ND	ND	<0.094
				3	7	101	300	果実	7	0.06	ND	ND	ND	<0.064
										0.15	ND	ND	ND	<0.154
									14	0.10	ND	ND	ND	<0.104
										0.09	ND	ND	ND	<0.094
									21	0.08	ND	ND	ND	<0.084
0.07	ND									ND	ND	<0.074		

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
チェリー トマト	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	8	100	200	果実	7	0.13	ND	ND	ND	<0.134		
										0.12	ND	ND	ND	<0.124	
									14	0.11	ND	ND	ND	<0.114	
										0.11	ND	ND	ND	<0.114	
									21	0.20	ND	ND	ND	<0.204	
										0.10	ND	ND	ND	<0.104	
			3	7 8	100	300	果実	7	0.25	ND	ND	ND	<0.254		
										0.22	ND	ND	ND	<0.224	
									14	0.28	ND	ND	ND	<0.284	
									0.25	ND	ND	ND	<0.254		
								21	0.16	ND	ND	ND	<0.164		
									0.16	ND	ND	ND	<0.164		
				Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
		2	7	100	200	果実	7	0.10	ND	ND	ND	ND	<0.104		
									0.04	ND	ND	ND	<0.044		
								14	0.02	ND	ND	ND	<0.024		
									0.03	ND	ND	ND	<0.034		
								21	0.02	<0.01	ND	ND	<0.034		
									0.02	<0.01	ND	ND	<0.034		
3	7	100	299	果実	7	0.09	ND	ND	ND	ND	<0.094				
							0.05	ND	ND	ND	<0.054				
						14	0.06	ND	ND	ND	<0.064				
							0.05	ND	ND	ND	<0.054				
						21	0.04	ND	ND	ND	<0.044				
							0.06	ND	ND	ND	<0.064				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ピーマン	6.25% EC	Tift, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	6	99	197	果実	7	0.01	ND	0.02	ND	<0.034		
										0.01	ND	0.02	ND	<0.034	
									14	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
										<0.01	ND	0.01	ND	<0.018	
									21	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
										ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
			3	7 6	100	299	果実	7	0.01	ND	0.02	ND	<0.034		
										0.01	ND	0.01	ND	<0.023	
									14	<0.01	ND	0.01	ND	<0.018	
									<0.01	ND	0.01	ND	<0.018		
								21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009		
									ND	ND	<0.01	ND	<0.009		
				Seminole, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
					2	7	103	203	果実	7	0.07	ND	0.04	ND	<0.115
										0.08	ND	0.04	ND	<0.125	
									14	0.02	ND	0.03	ND	<0.054	
										0.02	ND	0.04	ND	<0.065	
									21	<0.01	<0.01	0.02	ND	<0.038	
										<0.01	<0.01	0.01	ND	<0.028	
			3	7	100	298	果実	7	0.09	<0.01	0.05	<0.01	<0.157		
								0.09	ND	0.06	<0.01	<0.158			
							14	0.02	ND	0.03	ND	<0.054			
								0.02	ND	0.04	ND	<0.065			
							21	<0.01	<0.01	0.01	ND	<0.028			
								<0.01	0.02	0.01	ND	<0.063			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キタ	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ピーマン	6.25% EC	Dane, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	7	101	201	果実	7	0.01	ND	<0.01	ND	<0.018		
										<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
									14	0.01	ND	0.01	ND	<0.023	
										<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
									21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
										ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
			3	7	102	301	果実	7	0.03	ND	0.01	ND	<0.043		
										0.01	ND	0.01	ND	<0.023	
									14	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
									<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013		
								21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009		
									ND	ND	<0.01	ND	<0.009		
										<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
				PM of Portage la Prairie, MB, カナダ	2	7	100	199	果実	7	0.04	ND	0.03	ND	<0.074
											0.03	ND	0.02	ND	<0.054
									14	<0.01	ND	0.01	ND	<0.018	
										<0.01	ND	0.01	ND	<0.018	
									21	<0.01	ND	0.02	ND	<0.029	
										<0.01	ND	0.02	<0.01	<0.032	
		3	6 7		101	299	果実	7	0.02	ND	0.02	ND	<0.044		
									0.03	ND	0.02	ND	<0.054		
							14	<0.01	ND	0.02	ND	<0.029			
								0.01	ND	0.02	<0.01	<0.037			
						21	0.01	ND	0.02	ND	<0.034				
							<0.01	ND	0.02	ND	<0.029				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ピーマン	6.25% EC	Stafford, KS, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	7	106	209	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013		
										ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
									14	ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
										0.01	ND	<0.01	ND	<0.018	
									21	ND	ND	ND	ND	<0.005	
										ND	<0.01	ND	ND	<0.015	
			3	7	105	309	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013		
										<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
									14	ND	<0.01	<0.01	ND	<0.019	
										ND	<0.01	<0.01	ND	<0.019	
									21	ND	<0.01	ND	ND	<0.015	
									ND	<0.01	ND	ND	<0.015		
				Vercheres, QC, カナダ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
		2	6		103	202	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013		
										<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
									14	ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
										ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
									21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
										ND	ND	ND	ND	<0.005	
3	7 6	101	299		果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013				
							<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023				
						14	<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023				
							ND	ND	<0.01	ND	<0.009				
						21	ND	<0.01	<0.01	ND	<0.019				
							<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ピーマン	6.25% EC	Cass, ND, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	7	103	201	果実	7	0.07	ND	0.06	ND	<0.135		
										0.08	ND	0.06	ND	<0.145	
									14	0.02	ND	0.03	ND	<0.054	
										0.03	ND	0.04	ND	<0.075	
									21	<0.01	ND	0.03	ND	<0.039	
										<0.01	ND	0.02	ND	<0.029	
			3	7	103	305	果実	7	0.10	ND	0.09	<0.01	<0.119		
										0.07	ND	0.06	<0.01	<0.138	
									14	0.04	ND	0.06	<0.01	<0.108	
									0.04	ND	0.06	<0.01	<0.108		
								21	<0.01	ND	0.02	ND	<0.029		
									0.02	ND	0.04	ND	<0.065		
				Tehama, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
					2	7	99	197	果実	7	0.12	ND	0.07	<0.01	<0.199
										0.07	ND	0.05	<0.01	<0.128	
									14	0.03	ND	0.03	<0.01	<0.067	
										0.04	ND	0.03	<0.01	<0.077	
									21	0.01	ND	0.01	ND	<0.023	
										<0.01	ND	<0.01	<0.01	<0.016	
			3	7	99	294	果実	7	0.29	ND	0.15	<0.01	<0.452		
								0.18	ND	0.12	<0.01	<0.311			
							14	0.09	ND	0.08	<0.01	<0.179			
								0.14	ND	0.09	<0.01	<0.239			
							21	<0.01	ND	0.01	<0.01	<0.021			
								<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)								
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計				
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																	
その他の なす 科野菜	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-				
			2	7	100	200	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013				
										0.01	ND	<0.01	ND	<0.018			
									14	<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023			
										<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023			
									21	<0.01	0.01	<0.01	ND	<0.034			
										<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013			
					3	7	100	300	果実	7	0.02	ND	0.02	ND	<0.044		
											0.01	<0.01	0.01	ND	<0.033		
									14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026			
										0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.048			
								21	0.01	ND	<0.01	<0.01	<0.021				
										<0.01	ND	0.01	<0.01	<0.021			
				Uvalde, TX, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
					2	7	100	199	果実	7	0.19	ND	<0.01	ND	<0.198		
											0.19	ND	<0.01	ND	<0.198		
									14	0.17	ND	<0.01	ND	<0.178			
											0.14	ND	<0.01	ND	<0.148		
									21	0.09	ND	0.01	ND	<0.103			
											0.05	ND	0.02	<0.01	<0.077		
							3	7	101	301	果実	7	0.28	ND	0.02	ND	<0.304
													0.31	ND	0.02	ND	<0.334
							14	0.25	ND	0.02	ND	<0.274					
												0.23	ND	0.02	ND	<0.254	
						21	0.05	ND	0.02	<0.01	<0.077						
												0.07	ND	0.02	ND	<0.094	

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
ばれい しよ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	6 7	101	303	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
									ND	ND	ND	ND	<0.0051	
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	6 7	101	302	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								14	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
										0.02	ND	ND	ND	<0.0241
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
		Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	6 8	104	308	塊茎	7	ND	<0.01	ND	ND	<0.0145	
										ND	ND	ND	<0.0051	
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	<0.0051	
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
									ND	ND	ND	ND	<0.0051	
		Queens, PEI, カナダ	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	7 6	102	294	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
Queens, PEI, カナダ	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-			
	3	7 6	100	295	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051			
							<0.01	ND	ND	ND	<0.0091			

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ばれい しょ	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-		
			3	6 7	120	319	塊茎	7	0.02	<0.01	ND	ND	<0.0335		
									14	0.02	<0.01	ND	ND	<0.0335	
										0.01	<0.01	ND	ND	<0.0235	
										0.01	<0.01	ND	ND	<0.0235	
									21	0.02	<0.01	ND	ND	<0.0235	
									<0.01	<0.01	ND	ND	<0.0185		
				Seminole, FL, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
					3	7	101	301	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
											<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
											<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									21	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
				Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
					3	6 7	102	305	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
											<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
											<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
				Cass, ND, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
					3	6 8	105	313	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
											ND	ND	ND	ND	<0.0051
							14	ND	ND	ND	ND	<0.0051			
									ND	ND	ND	<0.01	<0.0080		
							21	ND	ND	ND	ND	<0.0051			
									ND	ND	ND	ND	<0.0051		
							28	ND	ND	ND	ND	<0.0051			
								ND	ND	ND	ND	<0.0051			

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm



農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
ばれい しょ	6.25% EC	Cache, UT, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	7	102	303	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
									14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
									21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Sacrament o CA, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	99	296	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	ND	<0.0051
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
									14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
									21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Payette, ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 8	102	301	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	ND	<0.0051
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
									14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
									21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Washingto n ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	102	305	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	ND	<0.0051
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
									14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
									21	ND	ND	ND	ND	<0.0051

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ばれい しょ	6.25% EC	Bingham, ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-		
			3	6 7	103	308	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
									10	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
									15	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
									21	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
								28	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091		
				Power, ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
					3	8 6	99	293	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
									14	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091		
				Benton, OR, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
					3	7	102	300	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091		
							ND	ND	ND	ND	<0.0051				
		Strathcon a, AB, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-		
			3	7	104	308	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
								<0.01	ND	ND	ND	<0.0091			
							14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091			
								<0.01	ND	ND	ND	<0.0091			
						21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091				
							<0.01	ND	ND	ND	<0.0091				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
てんさい	6.25% EC	Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	7	101	302	根	7	0.06	ND	ND	ND	<0.0641	
										0.06	ND	ND	ND	<0.0641
									13	0.05	ND	ND	ND	<0.0541
										0.03	<0.01	ND	ND	<0.0435
									21	0.03	<0.01	ND	ND	<0.0435
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341	
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	6 8	100	297	根	7	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341	
								14	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
								0.02	ND	ND	ND	<0.0241		
		Jefferson, IA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	7	104	303	根	7	0.05	ND	ND	ND	<0.0541	
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341	
								14	0.05	ND	ND	ND	<0.0541	
									0.06	<0.01	ND	ND	<0.0735	
								21	0.04	<0.01	ND	ND	<0.0535	
								0.06	<0.01	ND	ND	<0.0735		
		Strathcon a, AB, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	7	103	308	根	7	0.01	ND	ND	ND	<0.0141	
									0.01	ND	ND	ND	<0.0141	
						14	0.03	ND	ND	ND	<0.0341			
							0.04	ND	ND	ND	<0.0441			
						21	0.03	ND	ND	ND	<0.0341			
						0.03	ND	ND	ND	<0.0341				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm



農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PH I (日)	残留濃度(ppm)							
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計			
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																
てん さい	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-			
			3	7	100	290	根	7	0.03	ND	ND	ND	<0.0341			
										0.04	ND	ND	ND	<0.0441		
									14	0.03	ND	ND	ND	<0.0341		
										0.03	ND	ND	ND	<0.0341		
									21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241		
										0.03	ND	ND	ND	<0.0341		
									根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
						3	7	101	297	根	7	0.07	ND	ND	ND	<0.0741
											0.03	ND	ND	ND	<0.0341	
										10	0.03	ND	ND	ND	<0.0341	
											0.04	ND	ND	ND	<0.0441	
									15	0.05	ND	ND	ND	<0.0541		
										0.01	ND	ND	ND	<0.0141		
									21	0.04	ND	ND	ND	<0.0441		
										0.04	ND	ND	ND	<0.0441		
									28	0.02	ND	ND	ND	<0.0241		
										0.02	ND	ND	ND	<0.0241		
				Bingham, ID, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
					3	7	103	300	根	8	0.01	ND	ND	ND	<0.0141	
											0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
										15	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
											0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
										21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
								0.03	ND	ND	ND	<0.0341				
		RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-			
			3	9 7	120	326	根	8	0.05	ND	ND	ND	<0.0541			
									0.04	ND	ND	ND	<0.0441			
								15	0.02	ND	ND	ND	<0.0241			
									0.04	ND	ND	ND	<0.0441			
								20	0.02	ND	ND	ND	<0.0241			
								0.03	ND	ND	ND	<0.0341				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
てん さい	6.25% EC	LaMoure, ND, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	102	304	葉	7	0.70	ND	0.01	ND	0.71
									0.79	ND	0.01	ND	0.80
			13	7	102	304	葉	13	0.59	ND	0.01	ND	0.60
									0.49	<0.01	0.02	ND	0.52
			21	7	102	304	葉	21	0.38	<0.01	0.01	ND	0.40
		0.47							<0.01	0.01	ND	0.49	
		Hockley, TX, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	8 6	102	302	葉	7	2.95	ND	0.03	ND	2.98
									3.00	ND	0.03	<0.01	3.04
			14	8 6	102	302	葉	14	1.38	ND	0.04	ND	1.42
									1.29	ND	0.03	ND	1.32
			21	8 6	102	302	葉	21	0.76	ND	0.02	ND	0.78
		0.75							<0.01	0.02	ND	0.78	
		Cache, UT, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	103	307	葉	8	1.93	ND	0.03	ND	1.96
									1.69	ND	0.02	ND	1.71
			15	7	103	307	葉	15	0.82	ND	0.03	ND	0.85
									0.81	ND	0.02	ND	0.83
			21	7	103	307	葉	21	0.80	<0.01	0.03	ND	0.84
		0.72							ND	0.03	ND	0.75	
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	100	290	葉	7	1.65	<0.01	0.05	ND	1.71
									2.57	<0.01	0.07	ND	2.66
14	7		100	290	葉	14	1.28	<0.01	0.05	ND	1.34		
							1.66	<0.01	0.06	ND	1.73		
21	7		100	290	葉	21	0.83	<0.01	0.03	ND	0.87		
		0.73					<0.01	0.03	ND	0.77			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キサド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
てんさい	6.25% EC	Power, ID, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-		
			3	7	101	297	葉	7	2.37	ND	0.04	ND	2.41		
										1.77	ND	0.03	ND	1.80	
									10	1.28	ND	0.04	ND	1.32	
										1.70	ND	0.04	ND	1.74	
									15	0.98	<0.01	0.03	ND	1.02	
										1.31	<0.01	0.04	ND	1.36	
									21	0.90	<0.01	0.04	ND	0.95	
										0.87	ND	0.03	ND	0.90	
									28	0.79	<0.01	0.05	ND	0.85	
										0.64	<0.01	0.04	ND	0.69	
					Bingham , ID, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3		7	103	300	葉	8	0.84	ND	<0.01	ND	0.85
											0.83	ND	<0.01	ND	0.84
										15	0.69	ND	0.01	ND	0.70
											0.69	ND	0.01	ND	0.70
										21	0.85	<0.01	0.02	ND	0.88
				RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
					3	9 7	120	326	葉	8	3.89	ND	0.03	ND	3.92
											2.92	ND	0.02	ND	2.94
										15	2.32	ND	0.02	ND	2.34
											2.02	<0.01	0.02	ND	2.05
										20	2.05	<0.01	0.03	ND	2.09
										1.83	ND	0.02	ND	1.85	

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
チェリー	6.25% EC	Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	<0.01	ND	ND	-	
			3	6	129 *	377 *	果実	0	1.05	ND	0.21	0.05	1.31	
								1	1.10	ND	0.24	0.04	1.38	
								7	0.32	ND	0.25	0.07	0.63	
								14	0.09	ND	0.18	0.07	0.33	
			3	6	129 **	377 **	果実	0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16	
								1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09	
								7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63	
								14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36	
			Niagara, ON, カナダ	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				3	8 6	127 *	378 *	果実	0	0.43	ND	0.17	<0.01	0.61
									1	0.55	ND	0.16	<0.01	0.72
		7							0.40	ND	0.19	0.01	0.61	
		14							0.14	ND	0.26	<0.01	0.42	
		3		8 6	126 **	374 **	果実	0	0.05	ND	0.17	0.03	0.25	
								1	0.20	ND	0.30	0.05	0.55	
								7	0.02	ND	0.11	0.06	0.18	
								14	0.06	ND	0.14	0.10	0.28	
		Ottawa, MI, 米国		-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
				3	6 7	125 *	375 *	果実	0	0.53	ND	0.17	<0.01	0.71
									1	0.51	ND	0.17	<0.01	0.69
			7						0.18	ND	0.23	<0.01	0.42	
			14						0.59	ND	0.18	<0.01	0.78	
			3	6 7	125 **	371 **	果実	0	0.34	ND	0.19	<0.01	0.54	
1	0.36							ND	0.17	<0.01	0.54			
7	0.12							ND	0.19	<0.01	0.32			
14	0.02	ND						0.16	<0.01	0.19				

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
もも	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-		
			3	8 6	125 *	374 *	果実	0	0.37	ND	0.01	ND	0.38		
								1	0.29	<0.01	0.02	ND	0.32		
								7	0.07	ND	0.01	<0.01	0.09		
								14	0.05	ND	0.01	ND	0.06		
								0	0.43	ND	0.01	ND	0.44		
								1	0.43	ND	0.02	ND	0.45		
								7	0.10	ND	0.02	ND	0.12		
								14	0.08	ND	0.03	ND	0.11		
								0	0.43	ND	0.01	ND	0.44		
								1	0.43	ND	0.02	ND	0.45		
								7	0.10	ND	0.02	ND	0.12		
							14	0.08	ND	0.03	ND	0.11			
							0	0.43	ND	0.01	ND	0.44			
							1	0.43	ND	0.02	ND	0.45			
							7	0.10	ND	0.02	ND	0.12			
							14	0.08	ND	0.03	ND	0.11			
				Tift, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
					3	7	124 *	372 *	果実	0	0.55	ND	0.02	0.01	0.58
									1	0.43	ND	0.03	0.01	0.47	
									7	0.31	ND	0.04	0.03	0.38	
									14	0.29	ND	0.03	0.04	0.35	
									0	0.42	ND	0.02	<0.01	0.45	
									1	0.37	ND	0.02	<0.01	0.40	
							7	0.29	<0.01	0.10	0.02	0.42			
							14	0.30	ND	0.05	0.04	0.38			
							0	0.42	ND	0.02	<0.01	0.45			
							1	0.37	ND	0.02	<0.01	0.40			
							7	0.29	<0.01	0.10	0.02	0.42			
							14	0.30	ND	0.05	0.04	0.38			
		Brooks, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			3	7	126 *	376 *	果実	0	0.55	ND	0.06	ND	0.62		
							1	0.29	ND	0.04	ND	0.33			
							7	0.22	ND	0.08	<0.01	0.31			
							14	0.11	ND	0.09	<0.01	0.21			
							0	0.18	ND	0.04	ND	0.22			
							1	0.47	ND	0.06	ND	0.54			
							7	0.57	ND	0.05	ND	0.62			
							14	0.12	ND	0.05	<0.01	0.18			

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm





農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)							
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キナド	F002	F008	F048	合計			
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																
もも	6.25% EC	Stanislaus, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	<0.01	-			
			3	7	125 *	371 *	果実	0	0.30	ND	0.01	ND	0.31			
								1	0.24	ND	0.01	ND	0.25			
								7	0.20	ND	0.02	ND	0.22			
								14	0.14	<0.01	0.02	<0.01	0.18			
								125 **	374 **	果実	0	0.24	ND	0.01	ND	0.25
								1	0.33	ND	0.02	ND	0.35			
								7	0.18	ND	0.01	<0.01	0.20			
							14	0.14	ND	0.02	ND	0.16				
				Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-	
		3	7		125 *	375 *	果実	0	0.30	ND	0.01	<0.01	0.32			
								1	0.18	ND	0.01	<0.01	0.20			
								7	0.13	ND	0.02	<0.01	0.16			
								10	0.08	ND	0.01	0.01	0.10			
								14	0.09	ND	0.03	<0.01	0.13			
								126 **	378 **	果実	0	0.26	ND	0.01	<0.01	0.28
								1	0.24	ND	0.01	<0.01	0.26			
							7	0.24	ND	0.05	<0.01	0.30				
							10	0.13	ND	0.02	<0.01	0.16				
							14	0.12	ND	0.02	<0.01	0.15				
				Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-	
		3	7		125 *	375 *	果実	0	0.46	ND	0.03	<0.01	0.50			
								1	0.55	ND	0.05	<0.01	0.61			
								7	0.29	ND	0.03	<0.01	0.33			
						14	0.19	ND	0.05	<0.01	0.25					
						125 **	373 **	果実	0	0.57	ND	0.03	<0.01	0.61		
						1	0.59	ND	0.04	<0.01	0.64					
						7	0.34	ND	0.05	<0.01	0.40					
					14	0.25	ND	0.06	0.01	0.32						

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)							
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計			
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																
ブラム	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-			
			3	7 6	125 *	374 *	果実	0	0.95	ND	ND	ND	0.95			
								1	0.32	ND	ND	ND	0.32			
								7	0.46	ND	ND	ND	0.46			
								14	0.43	ND	ND	ND	0.43			
								129 **	382 **	果実	0	0.79	ND	ND	ND	0.79
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29			
								7	0.40	ND	ND	ND	0.40			
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09			
					Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
		3	6	131 *		379 *	果実	0	0.49	ND	ND	ND	0.49			
								1	0.46	ND	ND	ND	0.46			
								7	0.30	ND	<0.01	ND	0.31			
								14	0.17	ND	ND	ND	0.17			
								129 **	379 **	果実	0	0.42	ND	ND	ND	0.42
								1	0.34	ND	ND	ND	0.34			
								7	0.26	ND	ND	ND	0.26			
							14	0.20	ND	ND	ND	0.20				
				Niagara, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-	
		3	7		123 *	364 *	果実	0	0.20	ND	ND	ND	0.20			
								1	0.17	ND	ND	ND	0.17			
								7	0.11	ND	ND	ND	0.11			
						14	0.09	ND	ND	ND	0.09					
						122 **	365 **	果実	0	0.24	ND	ND	ND	0.24		
						1	0.24	ND	ND	ND	0.24					
						7	0.14	ND	ND	ND	0.14					
					14	0.10	ND	0.01	ND	0.11						

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)							
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計			
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																
ブラム	6.25% EC	Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-			
			3	7	124 *	370 *	果実	0	0.64	ND	ND	ND	0.64			
								1	0.62	ND	ND	ND	0.62			
								7	0.59	ND	ND	ND	0.59			
								14	0.49	ND	ND	ND	0.49			
								125 **	373 **	果実	0	0.44	ND	ND	ND	0.44
								1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
								7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
							14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38				
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-			
			3	7	140 *	417 *	果実	0	0.37	ND	ND	ND	0.37			
								1	0.38	ND	ND	ND	0.38			
								7	0.29	ND	<0.01	ND	0.30			
								10	0.26	ND	ND	ND	0.26			
								14	0.26	ND	ND	ND	0.26			
								140 **	420 **	果実	0	0.32	ND	ND	ND	0.32
								1	0.38	ND	ND	ND	0.38			
		Stanislaus, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-			
			3	7	124 *	371 *	果実	0	0.48	ND	<0.01	ND	0.49			
								1	0.47	ND	<0.01	ND	0.48			
								7	0.53	ND	ND	ND	0.53			
								14	0.51	ND	ND	ND	0.51			
								124 **	372 **	果実	0	0.49	ND	ND	ND	0.49
								1	0.56	ND	<0.01	ND	0.57			
						7	0.47	ND	ND	ND	0.47					
					14	0.54	ND	ND	ND	0.54						

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)							
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計			
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																
ブラム	6.25% EC	Polk, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-			
			3	7	127 *	377 *	果実	0	0.30	ND	<0.01	ND	0.31			
								1	0.39	ND	ND	ND	0.39			
								7	0.37	ND	ND	ND	0.37			
								14	0.27	ND	<0.01	ND	0.28			
								129 **	381 **	果実	0	0.31	ND	ND	ND	0.31
								1	0.55	ND	ND	ND	0.55			
								7	0.48	ND	<0.01	ND	0.49			
								14	0.29	ND	<0.01	ND	0.30			

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
りんご	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-	
			4	8 7 7	100*	399*	果実	0	0.16	ND	ND	ND	0.16	
								1	0.16	ND	ND	ND	0.16	
								7	0.11	ND	ND	<0.01	0.12	
								14	0.08	ND	ND	ND	0.08	
			101**	401**	果実	0	0.15	ND	ND	<0.01	0.16			
						1	0.14	ND	ND	<0.01	0.15			
						7	0.12	ND	ND	ND	0.12			
						14	0.10	ND	ND	ND	0.10			
			Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	<0.01	-
				4	7	101*	400*	果実	0	0.28	ND	0.08	ND	0.37
									1	0.13	ND	ND	ND	0.13
		7							0.14	ND	ND	<0.01	0.15	
		14							0.09	ND	ND	<0.01	0.10	
		101**		400**	果実	0	0.18	ND	ND	<0.01	0.19			
						1	0.15	ND	ND	ND	0.15			
						7	0.12	ND	ND	ND	0.12			
						14	0.10	ND	ND	<0.01	0.11			
		Wayne, NY, 米国		-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				4	7	100*	397*	果実	0	0.08	ND	ND	ND	0.08
									1	0.06	ND	ND	ND	0.06
			7						0.06	ND	ND	ND	0.06	
			10						0.05	ND	ND	ND	0.05	
			101**	402**	果実	0	0.08	ND	ND	ND	0.08			
1	0.07					ND	ND	ND	0.07					
7	0.06					ND	ND	ND	0.06					
10	0.06	ND				ND	ND	0.06						
14	0.05	ND	ND	ND	0.05									

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
りんご	6.25% EC	Lenawee, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-		
			4	7	102*	401*	果実	0	0.18	ND	ND	ND	0.18		
								1	0.24	ND	ND	ND	0.24		
								7	0.23	ND	ND	<0.01	0.23		
								14	0.15	ND	ND	ND	0.15		
					103**	406**	果実	0	0.15	ND	ND	<0.01	0.16		
								1	0.12	ND	ND	ND	0.12		
								7	0.12	ND	ND	<0.01	0.13		
								14	0.10	ND	ND	ND	0.10		
				Marion, IL, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	<0.01	-
		4	7		102*	401*	果実	0	0.21	ND	ND	ND	0.21		
								1	0.20	ND	ND	ND	0.20		
								7	0.15	ND	ND	ND	0.15		
								14	0.07	ND	ND	ND	0.07		
					107**	406**	果実	0	0.19	ND	0.01	0.01	0.21		
								1	0.21	ND	ND	ND	0.21		
								7	0.13	ND	ND	ND	0.13		
							14	0.06	ND	ND	ND	0.06			
				Simcoe, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
		4	7 7 6		103*	399*	果実	0	0.15	ND	<0.01	ND	0.16		
								1	0.08	ND	ND	ND	0.08		
						7	0.06	ND	ND	ND	0.06				
						14	0.08	ND	ND	ND	0.08				
		102**	396**		果実	0	0.08	ND	ND	ND	0.08				
						1	0.09	ND	ND	ND	0.09				
						7	0.07	ND	ND	ND	0.07				
					14	0.07	ND	ND	ND	0.07					

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
りんご	6.25% EC	Brant, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			4	7	101*	396*	果実	0	0.12	ND	ND	ND	0.12		
								1	0.14	ND	ND	ND	0.14		
								7	0.10	ND	ND	ND	0.10		
								12	0.09	ND	ND	ND	0.09		
					102**	397**	果実	0	0.14	ND	ND	ND	0.14		
								1	0.14	ND	<0.01	ND	0.15		
								7	0.11	ND	<0.01	ND	0.12		
								12	0.08	ND	ND	ND	0.08		
					Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND
		4	7 8 6	100*		398*	果実	0	0.27	ND	ND	ND	0.27		
								1	0.36	ND	ND	ND	0.36		
								7	0.10	ND	ND	ND	0.10		
								14	0.15	ND	<0.01	ND	0.16		
				101**		401**	果実	0	0.21	ND	ND	ND	0.21		
								1	0.13	ND	ND	ND	0.13		
								7	0.10	ND	ND	ND	0.10		
								14	0.15	ND	ND	ND	0.15		
				Cache, UT, 米国		-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND
		4	7		103*	400*	果実	0	0.31	ND	ND	ND	0.31		
						1	0.24	ND	ND	ND	0.25				
						7	0.08	ND	<0.01	ND	0.09				
						14	0.03	ND	ND	ND	0.03				
		103**	401**		果実	0	0.22	ND	ND	ND	0.22				
						1	0.15	ND	ND	ND	0.15				
						7	0.05	ND	ND	ND	0.05				
					14	0.04	ND	ND	ND	0.04					

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)								
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計				
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																	
りんご	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-				
			4	7 7 6	102*	402*	果実	0	0.18	ND	ND	ND	0.18				
									0.17	<0.01	ND	ND	0.18				
								1	0.08	ND	ND	ND	0.08				
									0.09	ND	ND	ND	0.09				
								7	0.20	ND	ND	ND	0.20				
									0.23	ND	ND	ND	0.23				
			14	0.22	ND	ND	ND	0.22									
				0.13	ND	ND	ND	0.13									
			-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-				
			4	7 7 6	101 **	398 **	果実	0	0.11	ND	ND	<0.01	0.12				
									0.11	ND	ND	ND	0.11				
		1						0.08	ND	ND	ND	0.08					
								0.09	ND	ND	ND	0.09					
		7						0.26	<0.01	ND	ND	0.27					
								0.25	ND	ND	ND	0.25					
		14						0.20	ND	ND	ND	0.20					
								0.17	<0.01	ND	ND	0.18					
		Power, ID, 米国						7	103*	404*	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
												0	0.19	ND	ND	<0.01	0.20
												1	0.21	ND	ND	ND	0.21
												7	0.16	ND	ND	ND	0.16
			14	0.09	ND	ND	ND					0.09					
			103 **	400 **	果実	0	0.24					ND	ND	ND	0.24		
1	0.25					ND	ND					<0.01	0.26				
7	0.18					ND	ND					ND	0.18				
14	0.14	ND				ND	<0.01	0.15									

EC：乳剤

-：該当なし  
全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
りんご	6.25% EC	Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-	
			4	7	100*	391*	果実	0	0.3	ND	ND	ND	0.30	
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29	
								7	0.27	ND	ND	ND	0.27	
								14	0.19	ND	ND	ND	0.19	
			99**	396**	果実	0	0.23	ND	ND	ND	0.23			
						1	0.26	ND	ND	ND	0.26			
						7	0.23	ND	ND	ND	0.23			
						14	0.19	ND	ND	ND	0.19			
			Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				4	7	102*	400*	果実	0	0.32	ND	ND	ND	0.32
									1	0.35	ND	ND	ND	0.35
		7							0.29	ND	ND	ND	0.29	
		14							0.18	ND	ND	ND	0.18	
		99**		395**	果実	0	0.21	ND	ND	ND	0.21			
						1	0.22	ND	ND	ND	0.22			
						7	0.16	ND	ND	ND	0.16			
						14	0.19	ND	ND	ND	0.19			
		Washington ID, 米国		-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				4	6 7 7	104*	408*	果実	0	0.37	ND	ND	ND	0.37
									1	0.31	ND	ND	ND	0.31
			7						0.25	ND	ND	ND	0.25	
			10						0.27	ND	ND	ND	0.27	
			101**	400**	果実	0	0.27	ND	ND	ND	0.27			
1	0.24					ND	ND	ND	0.24					
7	0.19					ND	ND	ND	0.19					
10	0.30					ND	ND	ND	0.30					
14	0.19		ND	ND	ND	0.19								

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
なし	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-	
			4	9 6 8	100*	398*	果実	0	0.21	ND	<0.01	ND	0.22	
								1	0.17	ND	<0.01	ND	0.18	
								7	0.15	ND	0.01	ND	0.16	
								14	0.10	ND	<0.01	ND	0.11	
			8 6 8	100**	400**	果実	0	0.18	ND	<0.01	ND	0.19		
							1	0.16	ND	<0.01	ND	0.17		
							7	0.11	ND	<0.01	ND	0.12		
							14	0.09	ND	<0.01	ND	0.10		
			Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				4	7	102*	406*	果実	0	0.26	ND	<0.01	ND	0.27
									1	0.24	ND	<0.01	<0.01	0.25
		7							0.27	ND	<0.01	ND	0.28	
		14							0.19	ND	<0.01	ND	0.20	
		103**		405**	果実	0	0.34	ND	<0.01	ND	0.35			
						1	0.34	ND	<0.01	ND	0.35			
						7	0.31	ND	<0.01	ND	0.32			
						14	0.19	ND	<0.01	ND	0.20			
		Allegan, MI, 米国		-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				4	7	103*	405*	果実	0	0.18	ND	<0.01	ND	0.19
									1	0.17	ND	<0.01	ND	0.18
			7						0.19	ND	<0.01	ND	0.20	
			14						0.11	ND	0.01	ND	0.12	
			102**	404**	果実	0	0.21	ND	<0.01	ND	0.22			
1	0.29					ND	0.01	ND	0.30					
7	0.14					ND	<0.01	ND	0.15					
14	0.06	ND				<0.01	ND	0.07						

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
なし	6.25% EC	Simcoe, ON, カナダ	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7 7 6	99*	388*	果実	0	0.13	ND	<0.01	ND	0.14
								1	0.16	ND	<0.01	ND	0.17
								7	0.05	ND	<0.01	ND	0.06
								14	0.04	ND	<0.01	ND	0.05
			101 **	397 **	果実	0	0.17	ND	<0.01	ND	0.18		
						1	0.18	ND	<0.01	ND	0.19		
						7	0.12	ND	<0.01	ND	0.13		
		14				0.05	ND	<0.01	ND	0.06			
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	101*	400*	果実	0	0.38	ND	<0.01	ND	0.39
								1	0.29	ND	0.01	ND	0.30
								7	0.21	ND	<0.01	ND	0.22
								14	0.18	ND	0.01	ND	0.19
			100 **	400 **	果実	0	0.29	ND	<0.01	ND	0.30		
						1	0.20	ND	<0.01	ND	0.21		
7	0.19					ND	<0.01	ND	0.20				
14	0.17	ND				0.01	ND	0.18					

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
なし	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			4	7	100*	400*	0	0.13	ND	<0.01	ND	0.14			
								0.11	ND	ND	ND	0.11			
							1	0.08	ND	ND	ND	0.08			
								0.08	ND	ND	ND	0.08			
							7	0.05	ND	ND	ND	0.05			
								0.07	ND	ND	ND	0.07			
			14	0.05	ND	ND	ND	0.05							
				0.04	ND	<0.01	ND	0.05							
			-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			4	7	101**	397**	0	0.19	ND	<0.01	ND	0.20			
								0.21	ND	<0.01	ND	0.22			
		1					0.15	ND	ND	ND	0.15				
							0.14	ND	ND	ND	0.14				
		7					0.15	ND	ND	ND	0.15				
							0.12	ND	ND	ND	0.12				
		14					0.11	ND	ND	ND	0.11				
							0.09	ND	ND	ND	0.09				
		4					7	101*	404*	0	0.23	ND	<0.01	ND	0.24
											0.14	ND	ND	ND	0.14
										7	0.11	ND	<0.01	ND	0.12
											0.12	ND	<0.01	ND	0.13
			14	0.10	ND	<0.01				ND	0.11				
				0.10	ND	<0.01				ND	0.11				
0	0.22		ND	ND	ND	0.22									
	0.19		ND	ND	ND	0.19									
7	0.04		ND	ND	ND	0.04									
	0.14		ND	<0.01	ND	0.15									
14	0.06		ND	<0.01	ND	0.07									
	0.06		ND	<0.01	ND	0.07									
Madera, CA, 米国	7	101**	399**	0	0.22	ND	ND	ND	0.22						
					0.19	ND	ND	ND	0.19						
				7	0.04	ND	ND	ND	0.04						
					0.14	ND	<0.01	ND	0.15						
				14	0.06	ND	<0.01	ND	0.07						
					0.06	ND	<0.01	ND	0.07						

EC：乳剤

－：該当なし  
全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ビロ キサト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
なたね	6.25% EC	Macon, GA, 米国	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	105	208	種子	21	0.11	ND	0.02	0.01	0.14
							種子	21	0.07	ND	0.01	<LOQ	0.09
		Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	100	198	種子	22	0.04	ND	<LOQ	<LOQ	0.05
							種子	22	0.03	ND	<LOQ	<LOQ	0.04
		RM 314, SK, カナダ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	100	199	種子	21	0.13	<LOQ	0.02	<LOQ	0.17
							種子	21	0.18	ND	0.03	<LOQ	0.22
		Power, ID, 米国	-	-	-	-	種子	(14)	0.01	ND	ND	ND	-
			-	-	-	-	種子	(21)	ND	ND	ND	ND	-
			2	13	104	202	種子	14	0.29	ND	0.10	0.10	0.47
							種子	14	0.20	ND	0.08	0.04	0.31
							種子	18	0.27	ND	0.10	0.12	0.46
							種子	18	0.26	ND	0.10	0.10	0.44
							種子	21	0.11	ND	0.03	0.02	0.16
							種子	21	0.11	ND	ND	<LOQ	0.12
							種子	24	0.12	ND	0.02	0.02	0.16
							種子	24	0.12	ND	0.03	0.02	0.17
		RM 404, SK, カナダ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	99	197	種子	14	0.21	ND	0.03	0.01	0.25
							種子	14	0.08	ND	0.01	<LOQ	0.10
							種子	19	0.15	ND	0.02	0.01	0.18
							種子	19	0.11	ND	0.01	<LOQ	0.13
							種子	21	0.14	ND	0.01	<LOQ	0.16
							種子	21	0.24	ND	0.02	0.01	0.27
							種子	25	0.81	ND	0.09	0.05	0.94
					種子	25	0.64	<LOQ	0.05	0.04	0.73		
					種子	27	0.11	ND	0.02	0.01	0.14		
				種子	27	0.18	ND	0.02	0.01	0.21			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
なたね	6.25% EC	Franklin, ID, 米国	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	<0.01	-	
			2	14	102	202	種子	21	0.02	ND	<LOQ	<LOQ	0.03	
							種子	21	0.02	ND	<LOQ	<LOQ	0.03	
		North Cypress, MB, カタ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-	-
			2	15	100	198	種子	22	0.02	ND	<LOQ	<LOQ	0.03	
		North Cypress, MB, カタ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-	-
			2	15	99	198	種子	22	0.02	ND	<LOQ	ND	0.03	
		RM 404, SK, カタ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-	-
			2	15	99	198	種子	21	0.27	ND	0.02	0.02	0.31	
		RM 402, SK, カタ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-	-
			2	15	100	199	種子	21	0.19	ND	0.04	0.02	0.25	
		RM 402, SK, カタ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-	-
			2	15	100	199	種子	21	0.20	ND	0.03	0.03	0.26	
		Strathcona, AB, カタ	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	-	-
			2	14	101	197	種子	21	0.09	ND	0.01	0.01	0.11	
		Strathcona, AB, カタ	-	-	-	-	種子	-	0.06	ND	ND	ND	-	-
			2	15	103	200	種子	21	0.04	ND	<LOQ	<LOQ	0.05	
		Lamont, AB, カタ	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	-	-
			2	14	101	202	種子	21	0.06	ND	<LOQ	<LOQ	0.07	
		Lamont, AB, カタ	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	-	-
			2	14	103	205	種子	21	0.05	ND	<LOQ	<LOQ	0.06	
		RM 434, SK, カタ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-	-
			2	14	100	200	種子	21	0.12	<LOQ	0.02	0.02	0.17	
							種子	21	0.11	ND	0.02	0.01	0.14	

EC：乳剤

-：該当なし

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キサド <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
ひまわり	6.25% EC	Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	<0.01	ND	-	
			2	15	102	204	種子	21	0.02	ND	ND	ND	0.02	
							種子	21	<LOQ	ND	ND	ND	0.01	
		Rice, KS, カナダ	-	-	-	-	種子	(14)	ND	ND	ND	ND	ND	-
			-	-	-	-	種子	(21)	0.01	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	102	203	種子	14	0.06	ND	ND	ND	ND	0.06
							種子	14	0.06	ND	ND	ND	0.06	
							種子	18	0.02	ND	ND	ND	0.02	
							種子	18	0.04	ND	ND	ND	0.04	
							種子	21	<LOQ	ND	ND	ND	0.01	
							種子	21	0.01	ND	ND	ND	0.01	
							種子	24	0.04	ND	ND	ND	0.04	
							種子	24	0.05	ND	ND	ND	0.05	
							種子	28	0.03	ND	ND	ND	0.03	
		種子	28	0.02	ND	ND	ND	0.02						
		RM 314, SK, カナダ	-	-	-	-	種子	-	0.02	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	100	199	種子	21	0.15	ND	ND	ND	ND	0.15
		種子					21	0.10	ND	ND	ND	0.10		
		RM 314, SK, カナダ	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	101	199	種子	21	0.09	ND	ND	ND	ND	0.09
		種子					21	0.09	ND	ND	ND	0.09		
		RM 283, SK, カナダ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
			2	13	100	199	種子	21	0.06	ND	ND	ND	ND	0.06
		種子					21	0.06	ND	ND	ND	0.06		
		Hockley, TX, 米国	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	99	197	種子	21	0.10	ND	ND	ND	ND	0.10
		種子					21	0.12	ND	ND	ND	0.12		
		North Cypress, MB, カナダ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	101	201	種子	21	0.01	ND	ND	ND	ND	0.01
		種子					21	0.01	ND	ND	ND	0.01		
North Cypress, MB, カナダ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	ND	-		
	2	15	101	202	種子	21	0.02	ND	ND	ND	ND	0.02		
種子					21	0.02	ND	ND	ND	0.02				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサビロキサト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関 : ABC Laboratories, Inc. (米国 ミズーリ州)												
稲	30% SC	Prairie, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	149- 152	302	穀粒	28	0.62	<0.005	<0.01	<0.001
									0.59	<0.005	<0.01	<0.001
		Lonoke, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	152- 156	308	穀粒	28	0.34	<0.005	0.01	<0.01
									0.34	<0.005	<0.01	<0.01
		St. Landry Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	151- 157	308	穀粒	28	1.63	<0.005	0.02	<0.01
									1.71	<0.005	0.02	<0.01
		Rapides Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	140- 148	288	穀粒	28	1.32	<0.005	0.02	<0.01
									0.84	<0.005	0.03	<0.01
		Randolph, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	8	150- 151	302	穀粒	28	0.80	<0.005	0.03	<0.01
									0.79	<0.005	0.03	<0.01
		Greene, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	8	147- 156	302	穀粒	28	0.48	<0.005	0.02	<0.01
									0.46	<0.005	0.02	<0.01
		Clay, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.01/<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	6	148- 149	297	穀粒	0	5.36	<0.005	<0.01	<0.001
									5.20	<0.005	<0.01	<0.001
								14	0.56	<0.005	<0.01	<0.001
									0.65	<0.005	<0.01	<0.001
								28	0.46	<0.005	<0.01	<0.001
									0.71	<0.005	<0.01	<0.001
								30	0.55	<0.005	<0.01	<0.001
									0.56	<0.005	<0.01	<0.001
								36	0.61	<0.005	<0.01	<0.001
								0.46	<0.005	<0.01	<0.001	
		Dunklin, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
2	8		148- 149	297	穀粒	28	0.34	<0.005	<0.01	<0.001		
							0.40	<0.005	<0.01	<0.001		

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサビ <sup>®</sup> ロキサト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関 : ABC Laboratories, Inc. (米国 ミズーリ州)												
稲	30% SC	Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	8	150- 151	302	穀粒	0	4.26	<0.005	<0.01	<0.001
									3.98	<0.005	<0.01	<0.001
			14	8	150- 151	302	穀粒	0	1.04	<0.005	<0.01	<0.001
									0.92	<0.005	<0.01	<0.001
			28	8	150- 151	302	穀粒	0	0.88	<0.005	<0.01	<0.001
									0.83	<0.005	<0.01	<0.001
			30	8	150- 151	302	穀粒	0	1.00	<0.005	<0.01	<0.001
									0.88	<0.005	<0.01	<0.001
			35	8	150- 151	302	穀粒	0	0.81	<0.005	0.01	<0.01
									0.74	<0.005	<0.01	<0.001
			Butler, MO, 米国	2	7	151- 155	306	穀粒	29	0.62	<0.005	0.01
		0.58								<0.005	0.02	<0.001
		Dunklin, MO, 米国	2	6	147- 154	300	穀粒	28	0.29	<0.005	0.01	<0.001
									0.22	<0.005	0.01	<0.01
		Stoddard, MO, 米国	2	7	151- 152	304	穀粒	28	0.91	<0.005	0.03	<0.01
									0.93	<0.005	0.03	<0.01
		Metagorda, TX, 米国	2	7	154- 156	309	穀粒	28	0.93	<0.005	0.04	<0.01
									0.91	<0.005	0.04	<0.01
		Wharton, TX, 米国	2	7	148- 154	302	穀粒	28	1.28	<0.005	0.03	<0.01
									1.04	<0.005	0.03	<0.01
		Tulare, CA, 米国	2	6	147- 148	296	穀粒	29	1.19	<0.005	0.02	<0.001
									1.24	<0.005	0.03	<0.001
		Sutter, CA, 米国	2	7	148- 149	297	穀粒	29	3.84	<0.005	<0.01	<0.001
									3.61	<0.005	<0.01	<0.001

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)								
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ト	F002	F008	F048					
試験実施機関：GLP Technologies, Inc. (米国 テキサス州)、BASF S.A. (ブラジル サンパウロ州)																	
さとう きび	6.25% EC	Washington, LA, 米国	-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	0.05	<0.005	<0.002	<0.001					
										0.05	<0.005	<0.002	<0.001				
		Washington, LA, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	0.03	<0.005	<0.002	<0.001					
										0.09	<0.005	<0.002	<0.001				
		Washington, LA, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	0.05	<0.005	<0.002	<0.001					
										0.03	<0.005	<0.002	<0.001				
		Raymondville , TX, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	0.19	<0.005	<0.002	<0.001					
										0.33	<0.005	<0.01	<0.001				
		Homestead, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	0.30	<0.005	0.01	<0.001					
										0.82	<0.005	0.02	<0.01				
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	2.17	<0.005	<0.01	<0.001					
										0.50	<0.005	0.02	<0.01				
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001					
								<0.01	<0.005	<0.002	<0.001						
Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND							
	2	14	123	246	cane	14	1.14	<0.005	0.04	<0.01							
								0.32	<0.005	0.02	<0.001						
	-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND							
								2	14	627- 639	1266	cane	14	1.50	<0.005	0.10	0.01
														2.67	<0.005	<0.01	<0.001

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

LOD = 0.002 ppm (F002: 0.005 ppm, F008: 0.002 ppm, F048: 0.001 ppm)

ND = <LOD

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関 : American Agricultural Services, Inc. (米国 ノースカロライナ州)													
ラディ ッシュ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	97.72- 100.28	295.82	根	7	0.04 0.05	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	0.04 0.05
		Martin, FL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.26- 100.39	299.75	根	7	0.04 0.04	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	0.04 0.04
		Palm Beach, FL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.62- 100.36	299.89	根	7	0.03 0.03	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	0.03 0.03
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	6 7	100.61- 101.25	302.54	根	7	0.09 0.1	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	0.09 0.1
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	100.15- 100.91	301.22	根	7	0.1 0.1	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	0.1 0.1
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	-
			3	7	97.72- 100.28	295.82	葉	7	0.7 0.6	<0.01 <0.01	0.3 0.3	0.3 0.3	1.2 1.1
		Martin, FL, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.26- 100.39	299.75	葉	7	0.2 0.2	<0.01 <0.01	0.2 0.2	0.3 0.3	0.6 0.6
		Palm Beach, FL, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.62- 100.36	299.89	葉	7	0.2 0.1	<0.01 <0.01	0.2 0.1	0.1 0.1	0.5 0.3
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	-
			3	6 7	100.61- 101.25	302.54	葉	7	4 4	<0.01 <0.01	0.8 0.9	0.7 0.8	4.8 5.4
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	-	-	-	-
			3	7	100.15- 100.91	301.22	葉	7	1 1	<0.01 <0.01	0.5 0.5	0.3 0.3	1.7 1.7

EC : 乳剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> ロキ <sup>®</sup> サト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：American Agricultural Services, Inc. (米国 ノースカロライナ州)														
にんじ ん	6.25% EC	Hillsboroug h, FL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	-	-	-	-	
			3	7	100.18- 102.40	304.97	根	7	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1	
										0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
		Jefferson, IA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.07- 102.33	301.67	根	7	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04
										0.05	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7 6	96.83- 100.82	297.18	根	7	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.06
										0.06	<0.01	<0.01	<0.01	0.06
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	101.31- 102.18	304.8	根	7	0.5	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.5
										0.5	<0.01	<0.01	<0.01	0.5
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	97.63- 100.67	298.58	根	7	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
										0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	-	-	-	-	-
			3	7	100.46- 100.52	301.47	根	0	0.2	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.2
										0.2	<0.01	<0.01	<0.01	0.2
								3	0.3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
										0.4	<0.01	<0.01	<0.01	0.4
								7	0.3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
										0.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
								10	0.3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
										0.4	<0.01	<0.01	<0.01	0.4
						14	0.4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.4		
							0.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.3			
Grant, WA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-		
	3	7	101.03- 101.20	303.36	根	7	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04		
								0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.04		

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

合計残留濃度 (ppm) = フルキサ<sup>®</sup>ロキ<sup>®</sup>サト<sup>®</sup> (ppm) + 2.352 × F002 + 1.038 × F008 + 0.720 × F048

2.352 = 分子量フルキサ<sup>®</sup>ロキ<sup>®</sup>サト<sup>®</sup> / F002 (381.3/162.1)

1.038 = 分子量フルキサ<sup>®</sup>ロキ<sup>®</sup>サト<sup>®</sup> / F008 (381.3/367.3)

0.720 = 分子量フルキサ<sup>®</sup>ロキ<sup>®</sup>サト<sup>®</sup> / F048 (381.3/529.4)

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネビ <sup>®</sup> キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関 : SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Corporation (米国 ノースカロライナ州)														
ブロッ コリー	6.25% EC	Lebanon, OK, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7	98- 103	300	花蕾	0	1.10	<0.005	0.03	0.04		
										1.89	<0.005	0.05	0.19	
									1	1.68	<0.005	0.09	0.15	
										2.13	<0.02	0.08	0.14	
									3	1.45	<0.02	0.09	0.16	
										0.99	<0.02	0.08	0.14	
									5	0.86	<0.02	0.06	0.14	
										1.09	<0.005	0.06	0.18	
									7	0.85	<0.02	0.05	0.17	
										0.86	<0.02	0.05	0.09	
					Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002
		3	7	201- 204		607	花蕾	0	0.53	<0.005	<0.01	<0.01		
										0.45	<0.005	<0.01	<0.01	
								3	0.28	<0.005	0.01	<0.01		
										0.27	<0.005	0.01	0.01	
				Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		3	7		201- 205	610	花蕾	0	0.53	<0.02	<0.01	<0.01		
										0.39	<0.005	<0.01	<0.01	
								3	0.44	<0.005	0.02	0.01		
										0.70	<0.005	0.03	0.01	
				Grants Pass, OR, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		3	7		102- 105	309	花蕾	0	0.38	<0.005	<0.01	<0.01		
										0.52	<0.005	<0.01	<0.01	
						3	0.37	<0.005	0.02	<0.01				
								0.27	<0.005	0.01	<0.01			

EC : 乳剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キチド	F002	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Corporation (米国 ノースカロライナ州)												
ブロッ コリー	30% SC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	100- 104	306	花蕾	0	0.22	<0.005	<0.002	<0.001
									0.23	<0.005	<0.01	<0.001
			3	7	100- 104	306	花蕾	0	0.12	<0.005	<0.002	<0.001
									0.05	<0.005	<0.01	<0.001
			Santa Maria, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002
		3		7	101- 105	308	花蕾	0	0.47	<0.005	<0.01	<0.001
									0.27	<0.005	<0.01	<0.001
		3		7	101- 105	308	花蕾	0	0.12	<0.005	<0.002	<0.001
									0.21	<0.005	<0.01	<0.01
		Guadalupe, CA, 米国		-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002
			3	7	101- 103	305	花蕾	0	0.10	<0.02	<0.01	<0.01
									0.08	<0.005	<0.01	<0.01
			3	7	101- 103	305	花蕾	0	0.28	<0.005	<0.01	<0.01
									0.42	<0.005	0.01	<0.01
			Santa Maria, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002
		3		7	101- 102	305	花蕾	0	0.50	<0.005	<0.01	<0.01
									0.48	<0.005	<0.01	<0.01
		3		7	101- 102	305	花蕾	0	0.11	<0.005	<0.01	<0.01
									0.09	<0.005	<0.01	<0.001

SC：フロアブル剤

-：該当なし

全て茎葉処理。



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)									
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048						
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Corporation (米国 ノースカロライナ州)																		
キャ ベツ	6.25% EC	Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	1*	-	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001						
							2*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001						
			3	6, 7	101	303	外葉あ り結球	0	0.13	<0.005	<0.002	<0.001						
									0.17	<0.005	<0.002	<0.001						
							外葉な し結球	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001						
									0.01	<0.005	<0.002	<0.001						
							外葉あ り結球	3	0.09	<0.005	<0.002	<0.001						
									0.05	<0.005	<0.002	<0.001						
			3				外葉な し結球	3	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001						
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001						
							Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	303	*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
													外葉あ り結球	0	0.34	<0.005	<0.01	<0.01
		0.43													<0.005	<0.01	<0.01	
		外葉な し結球											0	0.04	<0.005	<0.002	<0.001	
			0.04	<0.005	<0.002	<0.001												
		外葉あ り結球	3	0.12	<0.005	<0.01							<0.001					
				0.09	<0.005	<0.002	<0.001											
		外葉な し結球	3	0.04	<0.005	<0.002	<0.001											
				0.05	<0.005	<0.002	<0.001											
		Lebanon, OK, 米国	-	-	-	-	306	2*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001					
								外葉あ り結球	0	1.86	<0.005	0.02	0.02					
										1.13	<0.005	0.02	0.02					
								外葉な し結球	0	0.18	<0.005	<0.01	<0.01					
										0.22	<0.005	<0.01	<0.01					
外葉あ り結球	3							1.24	<0.005	0.02	0.02							
								1.22	<0.005	0.02	0.02							
外葉な し結球	3							0.07	<0.005	<0.01	<0.001							
		0.07	<0.005	<0.01	<0.001													

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

1\*：外葉あり結球

2\*：外葉なし結球

\*：外葉あり/なし結球

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キチド	F002	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Corporation (米国 ノースカロライナ州)												
キャ ベツ	6.25% EC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	1*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
							2*		<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	203- 204	610	外葉あ り結球	0	0.13	<0.005	<0.01	<0.01
							外葉な し結球	0	0.18	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉あ り結球	0	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉な し結球	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あ り結球	3	0.07	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉な し結球	3	0.07	<0.005	<0.002	<0.01
	30% SC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	1*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
							2*		<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	100- 104	306	外葉あ り結球	0	0.35	<0.005	<0.01	<0.01
							外葉あ り結球	0	0.43	<0.005	<0.01	<0.01
							外葉な し結球	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉な し結球	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
						外葉あ り結球	3	0.28	<0.005	<0.01	<0.01	
						外葉あ り結球	3	0.16	<0.005	<0.01	<0.01	
				外葉な し結球	3	0.04	<0.005	<0.01	<0.001			
				外葉な し結球	3	0.04	<0.005	<0.002	<0.001			

EC：乳剤

SC；フロアブル剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

1\*：外葉あり結球

2\*：外葉なし結球

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> キッド	F002	F008	F048		
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Corporation (米国ノースカロライナ州)														
マスタード グリーン	6.25% EC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7	101	303		葉	0	4.80	<0.005	0.28	0.65	
										4.29	<0.005	0.26	0.63	
									1	3.10	<0.005	0.28	0.75	
										2.37	<0.005	0.30	0.53	
									3	1.80	<0.005	0.41	0.90	
										1.63	<0.005	0.43	1.02	
									5	1.04	<0.005	0.33	0.86	
										0.95	<0.005	0.26	0.87	
									7	0.80	<0.005	0.23	0.89	
										0.85	<0.02	0.23	0.88	
					Fisk, MO, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.005	<0.002
			3	7		101	303	葉	0		4.37	<0.02	0.10	0.38
										3.34	<0.02	0.10	0.41	
									3	1.87	<0.005	0.34	0.44	
										1.87	<0.02	0.38	0.45	
				York, NE, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3		7	102- 106	310	葉		0	3.50	<0.005	0.12	0.10
										3.97	<0.005	0.12	0.07	
									3	0.55	<0.005	0.19	0.19	
										0.58	<0.005	0.18	0.17	
				Pilot Point, TX, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3		7	103- 106	314	葉		0	7.08	<0.005	0.54	1.50
										6.54	<0.005	0.59	1.12	
							3	0.51	<0.02	0.27	0.93			
								0.44	<0.02	0.22	1.00			
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.005	<0.01	<0.001		
	3		7, 8	101- 102	305	葉		0	2.19	<0.005	0.09	0.14		
								1.82	<0.005	0.07	0.13			
							3	0.84	<0.005	0.21	0.21			
								0.95	<0.005	0.24	0.23			

EC：乳剤  
 -：該当なし  
 全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキハ <sup>®</sup> キハ <sup>®</sup>	F008	F048	
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)												
セロリ	6.25% EC	Gregory, MI, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001	
			3	7	202	606	茎葉	0	1.01	<0.002	<0.001	
										1.36	<0.002	<0.001
								1	1.42	<0.002	<0.001	
									1.45	<0.002	<0.001	
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001	
			3	6, 7	202	606	茎葉	0	1.81	<0.002	<0.001	
									2.56	<0.002	<0.001	
								1	1.02	<0.002	<0.001	
									1.64	<0.002	<0.001	
		Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.01	<0.002	<0.001	
			3	7	202- 205	611	茎葉	0	1.78	<0.002	<0.001	
									3.16	<0.002	<0.001	
								1	2.72	<0.002	<0.001	
									2.64	<0.002	<0.001	
		Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001	
			3	7	203- 205	611	茎葉	0	4.39	<0.01	<0.001	
									6.08	<0.01	<0.001	
								1	4.78	<0.01	<0.001	
									5.52	<0.01	<0.001	
Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001			
	3	7	202- 204	609	茎葉	0	1.78	<0.002	<0.001			
							1.20	<0.01	<0.001			
						1	1.13	<0.01	<0.001			
							1.85	<0.01	<0.001			

EC：乳剤  
-：該当なし  
全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)		
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサビ <sup>®</sup> キッド <sup>®</sup>	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)											
セロリ	6.25% EC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202- 205	609	茎葉	0	1.85	<0.01	<0.001
									2.07	<0.01	<0.001
			1	7	202- 205	609	茎葉	1	1.70	<0.01	<0.001
									1.99	<0.01	<0.001
			3	7	202- 205	609	茎葉	3	1.35	<0.01	<0.001
									1.37	<0.01	<0.001
			5	7	202- 205	609	茎葉	5	1.14	<0.01	<0.001
									1.14	<0.002	<0.001
			7	7	202- 205	609	茎葉	7	1.09	<0.01	<0.001
0.97	<0.01	<0.001									
結球レ タス	30% SC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	結球*	0	0.46	<0.002	<0.001
									0.43	<0.002	<0.001
			1	7	202	606	結球*	1	0.56	<0.002	<0.001
									0.45	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202	606	結球*	0	0.38	<0.002	<0.001
	0.28	<0.002							<0.001		
	1	7	202	606	結球*	1	0.10	<0.002	<0.001		
							0.18	<0.002	<0.001		
	6.25% EC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202- 203	608	結球*	0	1.87	<0.002	<0.001
									1.47	<0.01	<0.001
1			7	202- 203	608	結球*	1	0.74	<0.002	<0.001	
								1.47	<0.002	<0.001	
3			7	201- 203	606	結球*	0	3.42	<0.01	<0.001	
	3.58	<0.01						<0.001			
1	7	201- 203	606	結球*	1	1.95	<0.01	<0.001			
						1.89	<0.01	<0.001			

EC：乳剤

SD：フロアブル剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)		
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キトド	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)											
結球レ タス	6.25% EC	Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	201- 204	609	結球*	0	0.75	<0.002	<0.001
								1	0.38	<0.002	<0.001
									0.55	<0.002	<0.001
		Orcutt, CA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202- 203	608	結球*	0	2.57	<0.01	<0.001
									2.72	<0.01	<0.001
								1	1.90	<0.01	<0.001
									2.01	<0.01	<0.001
								3	0.48	<0.002	<0.001
									0.60	<0.01	<0.001
								5	0.46	<0.01	<0.001
								0.86	<0.01	<0.001	
							7	0.15	<0.002	<0.001	
								0.40	<0.01	<0.001	
		非結球 レタス	30% SC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002
3	7				202	606	葉	0	9.20	0.05	<0.001
									9.53	0.07	<0.01
								1	6.46	0.05	<0.001
								5.90	0.03	<0.001	
Belle Glade, FL, 米国	-			-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
	3			6, 7	202	606	葉	0	3.79	0.10	<0.01
									4.12	0.12	<0.01
								1	4.21	0.11	<0.01
								2.42	0.08	<0.01	
Santa Maria, CA, 米国	-			-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
	3			7	204	612	葉	0	4.35	0.04	<0.001
									4.33	0.04	<0.001
								1	2.76	0.04	<0.001
								4.24	0.04	<0.001	

EC：乳剤

SC：フロアブル剤

-：該当なし

全て茎葉処理。 \*：外葉あり結球

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)		
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キッド	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)											
非結球 レタス	30% SC	Santa Maria, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01, <0.002	<0.002	<0.001
			3	7	201- 203	604	葉	0	4.12	0.02	<0.001
								1	4.85	0.02	<0.001
									3.96	0.02	<0.001
		Guadalup e, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	201- 205	609	葉	0	3.35	<0.01	<0.001
									3.01	<0.01	<0.001
								1	2.69	0.01	<0.001
									2.64	0.01	<0.001
								3	0.44	0.01	<0.001
									0.44	0.02	<0.001
								5	0.35	0.02	<0.001
		Guadalup e, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202- 211	616	葉	0	2.15	<0.01	<0.001
									2.11	<0.01	<0.001
								1	2.01	<0.01	<0.001
									1.91	<0.01	<0.001

SC：フロアブル剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

\*：外葉あり結球

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> キッド <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)												
グリーン ネオン	6.25% EC	Pilot Point, TX, 米国	-	-	-	-	全体*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	204- 212	624	全体*	7	0.24	<0.005	<0.002	<0.001
									0.23	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	全体*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202- 204	609	全体*	7	0.38	<0.005	<0.002	<0.001
		0.73							<0.005	<0.002	<0.001	
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	全体*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201- 203	607	全体*	0	0.33	<0.005	<0.002	<0.001
									0.33	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201- 203	607	全体*	3	0.31	<0.005	<0.002	<0.001
									0.34	<0.005	<0.002	<0.001
			7	7	201- 203	607	全体*	7	0.29	<0.005	<0.002	<0.001
									0.29	<0.005	<0.002	<0.001
			10	7	201- 203	607	全体*	10	0.21	<0.005	<0.002	<0.001
0.28	<0.005	<0.002							<0.001			
14	7	201- 203	607	全体*	14	0.34	<0.005	<0.002	<0.001			
						0.37	<0.005	<0.002	<0.001			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

\*:根を除く全体。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
たまね ぎ	6.25% EC	Germansville, PA, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			3	7, 6	208- 210	628	鱗茎	7	0.19	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.13	<0.005	<0.01	<0.001
		Lebanon, OK, 米国	-	-	-	-	鱗茎	(0)	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
								(3)	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
								(7)	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
								(10)	0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
								(14)	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
		3	7	208- 212	628	鱗茎	0	0.18	<0.005	<0.002	<0.001		
								0.21	<0.005	<0.002	<0.001		
							3	0.17	<0.005	<0.002	<0.001		
								0.15	<0.005	<0.002	<0.001		
							7	0.21	<0.005	<0.002	<0.001		
								0.25	<0.005	<0.002	<0.001		
							10	0.09	<0.005	<0.002	<0.001		
								0.06	<0.005	<0.002	<0.001		
							14	0.13	<0.005	<0.002	<0.001		
								0.14	<0.005	<0.002	<0.001		
		Claude, TX, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			3	8, 7	202- 277	685	鱗茎	7	0.03	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001	
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			3	7	199- 202	602	鱗茎	7	0.16	<0.005	<0.002	<0.001	
							0.16	<0.005	<0.002	<0.001			
Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
	3	7	202- 203	607	鱗茎	7	0.23	<0.005	<0.002	<0.001			
							0.22	<0.005	<0.002	<0.001			
Malin, OR, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
	3	7	203- 206	613	鱗茎	7	0.28	<0.005	<0.002	<0.001			
							0.26	<0.005	<0.002	<0.001			

EC：乳剤

－：該当なし  
全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キタ <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
きゅ うり	6.25% EC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7	202	606	果実	0	0.20	<0.005	<0.002	<0.001		
										0.13	<0.005	<0.002	<0.001	
									1	0.10	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.08	<0.02	<0.002	<0.001	
									3	0.09	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.09	<0.02	<0.002	<0.001	
									5	0.07	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.07	<0.02	<0.002	<0.001	
									7	0.09	<0.02	<0.002	<0.001	
										0.05	<0.02	<0.002	<0.001	
					Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002
					3	7	202	606	果実	0	0.10	<0.005	<0.002	<0.001
										0.06	<0.005	<0.002	<0.001	
				Gainesvill e, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	7	202- 224	606	果実	0	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
										0.03	<0.005	<0.002	<0.001	
				Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	7, 6	202	606	果実	0	0.12	<0.005	<0.002	<0.001
										0.19	<0.005	<0.002	<0.001	
				Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	7, 6	202	606	果実	0	0.18	<0.005	<0.002	<0.001
										0.16	<0.005	<0.002	<0.001	
				Madill, OK, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	205- 211	621	果実	0	0.25	<0.005	<0.002	<0.001		
								0.22	<0.005	<0.002	<0.001			

EC：乳剤  
 -：該当なし  
 全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キッド <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)												
カンタロ ープ <sup>®</sup>	6.25% EC	Chula, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	果実	0	0.08	<0.005	<0.002	<0.001
									0.08	<0.005	<0.002	<0.001
		Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202	606	果実	0	0.05	<0.005	<0.002	<0.001
									0.04	<0.005	<0.002	<0.001
		Madill, OK, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	204- 206	615	果実	0	0.25	<0.005	<0.002	<0.001
									0.22	<0.005	<0.002	<0.001
		Guadalup e, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	200- 224	601	果実	0	0.18	<0.005	<0.002	<0.001
									0.24	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	203- 204	610	果実	0	0.10	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba city, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	203- 205	612	果実	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
			1	7	203- 205	612	果実	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	203- 205	612	果実	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.02	<0.005	<0.002	<0.001
0.02	<0.005								<0.002	<0.001		
5	7		203- 205	612	果実	0	0.02	<0.005	<0.002	<0.001		
		0.03					<0.005	<0.002	<0.001			
		0.03					<0.005	<0.002	<0.001			
7	7	203- 205	612	果実	0	0.04	<0.005	<0.002	<0.001			
						0.02	<0.005	<0.002	<0.001			
						0.02	<0.005	<0.002	<0.001			

EC：乳剤  
 -：該当なし  
 全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キタ <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)												
サマー スカッシュ	6.25% EC	Germansville, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	8, 6	205- 210	624	果実	0	0.11	<0.005	<0.002	<0.001
		Sycamore, GA, 米国	3	7	202	606	果実	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
									0.13	<0.005	<0.002	<0.001
			1	0.08	<0.005	<0.002	<0.001					
				0.09	<0.005	<0.002	<0.001					
			3	0.08	<0.005	<0.002	<0.001					
				0.06	<0.005	<0.002	<0.001					
			5	0.06	<0.005	<0.002	<0.001					
				0.07	<0.005	<0.002	<0.001					
			7	0.03	<0.005	<0.002	<0.001					
				0.02	<0.005	<0.002	<0.001					
		Gainesville, FL, 米国	3	7	202	606	果実	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
									0.05	<0.005	<0.002	<0.001
		Deerfield, MI, 米国	3	7, 6	202	606	果実	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
									0.05	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba City, CA, 米国	3	7	202- 204	606	果実	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
									0.07	<0.005	<0.002	<0.001
									0.12	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤  
 -：該当なし  
 全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
チェリー	6.25% EC	Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	<0.01	ND	ND	-
			3	6	121- 129 *	377 *	果実	0	1.05	ND	0.21	0.05	1.31
								1	1.10	ND	0.24	0.04	1.38
								7	0.32	ND	0.25	0.07	0.63
								14	0.09	ND	0.18	0.07	0.33
								0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16
								1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09
								7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63
								14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36
								0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16
								1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09
								7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63
							14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36	
							0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16	
							1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09	
							7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63	
							14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36	
							0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16	
							1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09	
							7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63	
							14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36	
							0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16	
							1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09	
							7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63	
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			
					7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63			
					14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36			
					0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16			
					1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09			



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キナト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
もも	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-		
			3	8 6	124- 125 *	374 *	果実	0	0.37	ND	0.01	ND	0.38		
								1	0.29	<0.01	0.02	ND	0.32		
								7	0.07	ND	0.01	<0.01	0.09		
								14	0.05	ND	0.01	ND	0.06		
								0	0.43	ND	0.01	ND	0.44		
								1	0.43	ND	0.02	ND	0.45		
								7	0.10	ND	0.02	ND	0.12		
								14	0.08	ND	0.03	ND	0.11		
								0	0.43	ND	0.01	ND	0.44		
								1	0.43	ND	0.02	ND	0.45		
								7	0.10	ND	0.02	ND	0.12		
							14	0.08	ND	0.03	ND	0.11			
							0	0.43	ND	0.01	ND	0.44			
							1	0.43	ND	0.02	ND	0.45			
							7	0.10	ND	0.02	ND	0.12			
							14	0.08	ND	0.03	ND	0.11			
				Tift, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
					3	7	124 *	372 *	果実	0	0.55	ND	0.02	0.01	0.58
									1	0.43	ND	0.03	0.01	0.47	
									7	0.31	ND	0.04	0.03	0.38	
									14	0.29	ND	0.03	0.04	0.35	
									0	0.42	ND	0.02	<0.01	0.45	
									1	0.37	ND	0.02	<0.01	0.40	
							7	0.29	<0.01	0.10	0.02	0.42			
							14	0.30	ND	0.05	0.04	0.38			
							0	0.42	ND	0.02	<0.01	0.45			
							1	0.37	ND	0.02	<0.01	0.40			
							7	0.29	<0.01	0.10	0.02	0.42			
							14	0.30	ND	0.05	0.04	0.38			
		Brooks, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			3	7	124- 126 *	376 *	果実	0	0.55	ND	0.06	ND	0.62		
							1	0.29	ND	0.04	ND	0.33			
							7	0.22	ND	0.08	<0.01	0.31			
							14	0.11	ND	0.09	<0.01	0.21			
							0	0.18	ND	0.04	ND	0.22			
							1	0.47	ND	0.06	ND	0.54			
							7	0.57	ND	0.05	ND	0.62			
							14	0.12	ND	0.05	<0.01	0.18			

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND：<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
もも	6.25% EC	Lenawee, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			3	7	123- 126 *	374 *	果実	0	0.39	ND	0.02	<0.01	0.42		
								1	0.45	ND	0.03	<0.01	0.49		
								7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19		
								14	0.16	ND	0.03	<0.01	0.20		
								0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36		
								1	0.26	ND	0.02	ND	0.28		
								7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19		
								14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16		
								0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36		
								1	0.26	ND	0.02	ND	0.28		
								7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19		
							14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
							0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
							1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
							7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
							14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
				Niagara, ON, カナダ	-	-	-	-	果実	-	ND	<0.01	ND	ND	-
					3	7	120- 129 *	378 *	果実	0	0.10	ND	<0.01	<0.01	0.11
									1	0.19	<0.01	<0.01	ND	0.21	
									6	0.08	ND	0.01	ND	0.09	
									13	0.07	<0.01	0.02	<0.01	0.11	
									0	0.26	<0.01	0.03	<0.01	0.31	
									1	0.28	ND	0.02	<0.01	0.31	
							6	0.26	<0.01	0.03	<0.01	0.31			
							13	0.19	ND	0.04	<0.01	0.24			
							0	0.26	<0.01	0.03	<0.01	0.31			
							1	0.28	ND	0.02	<0.01	0.31			
							6	0.26	<0.01	0.03	<0.01	0.31			
						13	0.19	ND	0.04	<0.01	0.24				
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			3	7	124- 125 *	373 *	果実	0	0.29	ND	0.01	ND	0.30		
							1	0.28	ND	0.01	<0.01	0.30			
							7	0.21	ND	0.02	<0.01	0.24			
							14	0.19	ND	0.02	<0.01	0.22			
							0	0.34	ND	<0.01	<0.01	0.35			
							1	0.28	ND	0.01	<0.01	0.30			
							7	0.15	ND	0.01	<0.01	0.17			
						14	0.17	ND	0.02	<0.01	0.20				

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND：<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
もも	6.25% EC	Marion, IL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	126- 133 *	388 *	果実	0	0.17	<0.01	<0.01	ND	0.19
								1	0.24	ND	<0.01	ND	0.25
								7	0.08	<0.01	<0.01	ND	0.10
								14	0.08	ND	<0.01	ND	0.09
								0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34
								1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23
								7	0.15	ND	0.01	ND	0.16
								14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11
								0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34
								1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23
								7	0.15	ND	0.01	ND	0.16
							14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11	
							0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34	
							1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23	
							7	0.15	ND	0.01	ND	0.16	
							14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11	
							0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34	
							1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23	
							7	0.15	ND	0.01	ND	0.16	
							14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11	
							0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34	
							1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23	
							7	0.15	ND	0.01	ND	0.16	
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34			
					1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23			
					7	0.15	ND	0.01	ND	0.16			
					14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11			
					0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.3			

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
もも	6.25% EC	Stanislaus, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	<0.01	-		
			3	7	123- 125 *	371 *	果実	0	0.30	ND	0.01	ND	0.31		
								1	0.24	ND	0.01	ND	0.25		
								7	0.20	ND	0.02	ND	0.22		
								14	0.14	<0.01	0.02	<0.01	0.18		
								0	0.24	ND	0.01	ND	0.25		
								1	0.33	ND	0.02	ND	0.35		
								7	0.18	ND	0.01	<0.01	0.20		
								14	0.14	ND	0.02	ND	0.16		
								0	0.24	ND	0.01	ND	0.25		
								1	0.33	ND	0.02	ND	0.35		
								7	0.18	ND	0.01	<0.01	0.20		
							14	0.14	ND	0.02	ND	0.16			
				Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
					3	7	125 *	375 *	果実	0	0.30	ND	0.01	<0.01	0.32
									1	0.18	ND	0.01	<0.01	0.20	
									7	0.13	ND	0.02	<0.01	0.16	
									10	0.08	ND	0.01	0.01	0.10	
									14	0.09	ND	0.03	<0.01	0.13	
									0	0.26	ND	0.01	<0.01	0.28	
									1	0.24	ND	0.01	<0.01	0.26	
									7	0.24	ND	0.05	<0.01	0.30	
									10	0.13	ND	0.02	<0.01	0.16	
									14	0.12	ND	0.02	<0.01	0.15	
		Grant, WA, 米国	-		-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-	
			3	7	125 *	375 *	果実	0	0.46	ND	0.03	<0.01	0.50		
							1	0.55	ND	0.05	<0.01	0.61			
							7	0.29	ND	0.03	<0.01	0.33			
							14	0.19	ND	0.05	<0.01	0.25			
							0	0.57	ND	0.03	<0.01	0.61			
							1	0.59	ND	0.04	<0.01	0.64			
							7	0.34	ND	0.05	<0.01	0.40			
							14	0.25	ND	0.06	0.01	0.32			

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ブラム	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			3	7 6	124- 125 *	374 *	果実	0	0.95	ND	ND	ND	0.95		
								1	0.32	ND	ND	ND	0.32		
								7	0.46	ND	ND	ND	0.46		
								14	0.43	ND	ND	ND	0.43		
								0	0.79	ND	ND	ND	0.79		
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29		
								7	0.40	ND	ND	ND	0.40		
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09		
								0	0.79	ND	ND	ND	0.79		
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29		
								7	0.40	ND	ND	ND	0.40		
							14	0.09	ND	ND	ND	0.09			
							0	0.79	ND	ND	ND	0.79			
							1	0.29	ND	ND	ND	0.29			
							7	0.40	ND	ND	ND	0.40			
							14	0.09	ND	ND	ND	0.09			
				Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
		3	6		121- 131 *	379 *	果実	0	0.49	ND	ND	ND	0.49		
								1	0.46	ND	ND	ND	0.46		
								7	0.30	ND	<0.01	ND	0.31		
								14	0.17	ND	ND	ND	0.17		
								0	0.42	ND	ND	ND	0.42		
								1	0.34	ND	ND	ND	0.34		
						7	0.26	ND	ND	ND	0.26				
						14	0.20	ND	ND	ND	0.20				
						0	0.42	ND	ND	ND	0.42				
						1	0.34	ND	ND	ND	0.34				
						7	0.26	ND	ND	ND	0.26				
					14	0.20	ND	ND	ND	0.20					
		Niagara, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
3	7		120- 123 *	364 *	果実	0	0.20	ND	ND	ND	0.20				
						1	0.17	ND	ND	ND	0.17				
						7	0.11	ND	ND	ND	0.11				
						14	0.09	ND	ND	ND	0.09				
						0	0.24	ND	ND	ND	0.24				
						1	0.24	ND	ND	ND	0.24				
						7	0.14	ND	ND	ND	0.14				
						14	0.10	ND	0.01	ND	0.11				
						0	0.24	ND	ND	ND	0.24				
						1	0.24	ND	ND	ND	0.24				
						7	0.14	ND	ND	ND	0.14				
					14	0.10	ND	0.01	ND	0.11					

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND：<0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
ブラム	6.25% EC	Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	123- 124 *	370 *	果実	0	0.64	ND	ND	ND	0.64
								1	0.62	ND	ND	ND	0.62
								7	0.59	ND	ND	ND	0.59
								14	0.49	ND	ND	ND	0.49
								0	0.44	ND	ND	ND	0.44
								1	0.42	ND	ND	ND	0.42
								7	0.49	ND	0.02	ND	0.51
								14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38
								0	0.44	ND	ND	ND	0.44
								1	0.42	ND	ND	ND	0.42
								7	0.49	ND	0.02	ND	0.51
							14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38	
							0	0.44	ND	ND	ND	0.44	
							1	0.42	ND	ND	ND	0.42	
							7	0.49	ND	0.02	ND	0.51	
							14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38	
							0	0.44	ND	ND	ND	0.44	
							1	0.42	ND	ND	ND	0.42	
							7	0.49	ND	0.02	ND	0.51	
							14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38	
							0	0.44	ND	ND	ND	0.44	
							1	0.42	ND	ND	ND	0.42	
							7	0.49	ND	0.02	ND	0.51	
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
					1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
					7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
					14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
					0	0.44	ND	ND	ND	0.44			

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)							
					1回 当 り	1作 付 け 当 り			フルサ ビロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計			
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																
プラム	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-			
			3	7	124- 125 *	374 *	果実	0	0.20	ND	<0.01	ND	0.21			
								1	0.18	ND	ND	ND	0.18			
								7	0.23	ND	ND	ND	0.23			
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09			
								0	0.18	ND	ND	ND	0.18			
								125- 126 **	378 **	果実	0	0.18	ND	ND	ND	0.18
								1	0.17	ND	ND	ND	0.17			
								7	0.17	ND	ND	ND	0.17			
								14	0.08	ND	ND	ND	0.08			
								0	0.18	ND	ND	ND	0.18			
								1	0.17	ND	ND	ND	0.17			
							7	0.17	ND	ND	ND	0.17				
							14	0.08	ND	ND	ND	0.08				
				Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-	
					3	7	125- 128 *	379 *	果実	0	0.24	ND	<0.01	ND	0.25	
									1	0.27	ND	ND	ND	0.27		
									7	0.16	ND	ND	ND	0.16		
									14	0.12	ND	<0.01	<0.01	0.13		
									0	0.14	ND	ND	ND	0.14		
									122- 125 **	370 **	果実	0	0.14	ND	ND	0.14
									1	0.13	ND	ND	ND	0.13		
									7	0.13	ND	ND	ND	0.13		
									14	0.12	ND	ND	ND	0.12		
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-			
			3	7	123- 125 *	373 *	果実	0	0.30	ND	<0.01	ND	0.31			
							1	0.37	ND	0.02	ND	0.39				
							7	0.15	ND	<0.01	ND	0.16				
							14	0.20	ND	<0.01	<0.01	0.21				
							0	0.27	ND	<0.01	ND	0.28				
							123- 125 **	371 **	果実	0	0.27	ND	<0.01	ND	0.28	
							1	0.15	ND	<0.01	ND	0.16				
							7	0.17	ND	<0.01	ND	0.18				
							14	0.13	ND	<0.01	ND	0.14				

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当 り	1作 付 け 当 り			フルキサ ビ° キサト°	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
プラム	6.25% EC	Polk, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-	
			3	7	124	377	果実	0	0.30	ND	<0.01	ND	0.31	
					-	*			1	0.39	ND	ND	ND	0.39
					127	*			7	0.37	ND	ND	ND	0.37
									14	0.27	ND	<0.01	ND	0.28
					124	**	果実	0	0.31	ND	ND	ND	ND	0.31
					-	**			1	0.55	ND	ND	ND	0.55
					129	**			7	0.48	ND	<0.01	ND	0.49
									14	0.29	ND	<0.01	ND	0.30

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND：<0.002 ppm

合計残留濃度 (ppm) = フルキサビ°キサト° (ppm) + 2.352 × F002 + 1.038 × F008 + 0.720 × F048

2.352 = 分子量フルキサビ°キサト° / F002 (381.3/162.1)

1.038 = 分子量フルキサビ°キサト° / F008 (381.3/367.3)

0.720 = 分子量フルキサビ°キサト° / F048 (381.3/529.4)

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)								
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ド	F002	F008	F048	合計				
試験実施機関：SGS Northe America Inc. (米国 ジョージア州)、BASF Agricultural Research Center (米 国ノースカロライナ州)																	
チェリ ー	6.25% EC	Fennville, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-				
			3	7	124	372	果実	0	0.255	<LOQ	0.100	0.028	0.393				
									0.250	<LOQ	0.074	0.023	0.132				
			1	7	124	372	果実	1	0.286	<LOQ	0.098	0.030	0.424				
									0.204	<LOQ	0.085	0.026	0.325				
			7	7	124	372	果実	7	0.145	<LOQ	0.132	0.048	0.335				
		0.177							<LOQ	0.167	0.052	0.406					
		Hotchkiss, CO, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-				
			3	7, 6	123- 126	373	果実	0	1.932	<LOQ	0.417	0.022	2.381				
									1.796	<LOQ	0.433	0.021	2.260				
			1	7, 6	123- 126	373	果実	1	1.029	<LOQ	0.344	0.024	1.407				
									1.443	<LOQ	0.382	0.027	1.862				
			7	7, 6	123- 126	373	果実	7	0.817	<LOQ	0.519	0.045	1.391				
									0.746	<LOQ	0.644	0.046	1.446				

EC：乳剤

-：該当なし

全てエアブラスト散布。

LOQ = 0.01 ppm,

LOD = 0.002 ppm

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関：Eurofins Agrosience Services, Inc. (米国 ジョージア州)												
イチ ゴ	6.25% EC	New Tripoli, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201- 210	615	果実	0	0.23	<0.005	<0.01	<0.001
		Winter Garden, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	198- 202	601	果実	0	2.17	<0.005	0.01	<0.001
		Sparta, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	197- 200	597	果実	0	0.28	<0.005	<0.002	<0.001
		Guadalup, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	206- 210	624	果実	0	0.80	<0.005	<0.01	<0.001
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	197- 202	599	果実	0	0.89	<0.005	<0.01	<0.001
									0.84	<0.005	<0.01	<0.001
			1	0.80	<0.005	<0.01	<0.001					
								0.87	<0.005	<0.01	<0.001	
			3	0.80	<0.005	<0.01	<0.001					
								0.81	<0.005	<0.01	<0.001	
			5	0.63	<0.005	<0.01	<0.001					
								0.65	<0.005	<0.01	<0.001	
			7	0.34	<0.005	<0.01	<0.001					
		0.61						<0.005	<0.01	<0.001		
		Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	199- 202	603	果実	0	1.03	<0.005	<0.01	<0.001
									0.90	<0.005	<0.01	<0.001

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関： Eurofins Agrosience Services, Inc. (米国 ジョージア州)												
ブルー ベリー	6.25% EC	New Tripoli, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	195- 203	599	果実	0	1.71	<0.005	<0.01	<0.001
									1.71	<0.005	<0.01	<0.001
		Oglethorpe, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	197- 202	600	果実	0	2.17	<0.005	0.01	<0.001
									2.60	<0.005	0.02	<0.01
		Oglethorpe, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	199- 202	601	果実	0	1.74	<0.005	<0.01	<0.001
									1.52	<0.005	<0.01	<0.001
			1	1.84	<0.005	<0.01	<0.01					
								1.58	<0.005	<0.01	<0.01	
			3	1.02	<0.005	<0.01	<0.01					
								1.33	<0.005	0.01	<0.01	
			5	0.80	<0.005	<0.01	<0.01					
								1.01	<0.005	<0.01	<0.01	
		7	0.59	<0.02	0.01	<0.01						
							0.63	<0.005	<0.01	<0.01		
		White Heath, IL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202- 206	611	果実	0	3.90	<0.02	0.01	<0.01
									3.63	<0.005	<0.01	<0.01
		Fremont, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
3	7		199- 201	600	果実	0	1.16	<0.005	<0.01	<0.001		
							1.38	<0.005	<0.01	<0.001		
Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
	3	7	199- 203	604	果実	0	2.51	<0.005	0.02	<0.001		
							2.32	<0.005	0.02	<0.001		

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関： Eurofins Agrosience Services, Inc. (米国 ジョージア州)												
ブラック ベリー	6.25% EC	Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	198- 203	600	果実	0	1.23	<0.005	<0.01	<0.001
									1.53	<0.005	<0.01	<0.001
ラス ベリー	6.25% EC	Conklin, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	200- 201	602	果実	0	1.25	<0.005	<0.01	<0.001
		Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	200- 207	609	果実	0	2.05	<0.005	<0.01	<0.001
									1.91	<0.005	<0.01	<0.001
			1						1.42	<0.005	<0.01	<0.001
									1.84	<0.005	<0.01	<0.001
			3						1.07	<0.005	<0.01	<0.001
									1.08	<0.005	<0.01	<0.001
			5						1.03	<0.005	<0.01	<0.001
									1.09	<0.005	<0.01	<0.001
7						0.59	<0.005	<0.01	<0.001			
						0.73	<0.005	<0.01	<0.01			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関 : Eurofins Agroscience Services, Inc. (米国 ジョージア州)														
ぶど う	30% SC	Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	10	199.5- 204.3	606.6*	果実	0	0.29	<0.005	<0.002	<0.001		
										0.24	<0.005	<0.002	<0.001	
									1	0.21	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.28	<0.005	<0.002	<0.001	
									7	0.18	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.17	<0.005	<0.002	<0.001		
								14	0.11	<0.005	<0.002	<0.001		
									0.14	<0.005	<0.002	<0.001		
				Yates, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	10, 11	200.6- 201.0	602.6 **	果実	0	0.89	<0.005	<0.002	<0.001
											0.84	<0.005	<0.002	<0.001
									1	0.69	<0.005	<0.002	<0.001	
											0.62	<0.005	<0.002	<0.001
									7	0.80	<0.005	<0.002	<0.001	
											0.70	<0.005	<0.002	<0.001
									14	0.41	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.78	<0.005	<0.002	<0.001	
							21	0.81	<0.005	<0.002	<0.01			
									0.61	<0.005	<0.002	<0.01		
			Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
				3	10	199.4- 208.9	611. 5*	果実	0	0.22	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.18	<0.005	<0.002	<0.001	
								1	0.24	<0.005	<0.002	<0.001		
										0.26	<0.005	<0.002	<0.001	
								7	0.19	<0.005	<0.002	<0.001		
									0.19	<0.005	<0.002	<0.001		
							14	0.20	<0.005	<0.002	<0.001			
									0.34	<0.005	<0.002	<0.001		
						21	0.24	<0.005	<0.002	<0.001				
								0.28	<0.005	<0.002	<0.001			

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

\* : low volume treatment (187-935 L/ha, "concentrate")

\*\* : high volume treatment (935-3741 L/ha, "dilute")

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネビロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	
試験実施機関 : Eurofins Agroscience Services, Inc. (米国 ジョージア州)													
ぶど う	30% SC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			3	10	200.5- 202.7	604.9 **	果実	0	1.67	<0.005	<0.01	<0.001	
									1.23	<0.005	<0.01	<0.001	
			1	10	200.5- 202.7	604.9 **	果実	1	1.45	<0.005	<0.01	<0.001	
									1.52	<0.005	<0.002	<0.001	
			7	10	200.5- 202.7	604.9 **	果実	7	1.66	<0.005	<0.01	<0.001	
									1.34	<0.005	<0.01	<0.001	
			14	10	200.5- 202.7	604.9 **	果実	14	1.31	<0.005	<0.01	<0.001	
									1.40	<0.005	<0.01	<0.001	
			Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
				3	10	203.9- 207.1	615.8*	果実	0	0.20	<0.005	<0.002	<0.001
										0.22	<0.005	<0.002	<0.001
		1		10	203.9- 207.1	615.8*	果実	1	0.18	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.14	<0.005	<0.002	<0.001	
		7		10	203.9- 207.1	615.8*	果実	7	0.12	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.13	<0.005	<0.002	<0.001	
		14		10	203.9- 207.1	615.8*	果実	14	0.13	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.09	<0.005	<0.002	<0.001	
		Fresono, CA, 米国		-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
				3	10	201.4- 202.4	605.4 **	果実	0	0.82	<0.005	<0.01	<0.001
										0.81	<0.005	<0.01	<0.001
			1	10	201.4- 202.4	605.4 **	果実	1	0.90	<0.005	<0.01	<0.001	
									0.80	<0.005	<0.01	<0.001	
			7	10	201.4- 202.4	605.4 **	果実	7	0.64	<0.005	<0.01	<0.01	
0.60	<0.005								<0.01	<0.001			
14	10		201.4- 202.4	605.4 **	果実	14	0.73	<0.005	<0.01	<0.01			
		0.78					<0.005	<0.01	<0.01				

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

\* : low volume treatment (187-935 L/ha, "concentrate")

\*\* : high volume treatment (935-3741 L/ha, "dilute")

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネビ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	
試験実施機関 : Eurofins Agroscience Services, Inc. (米国 ジョージア州)													
ぶど う	30% SC	San Luis Obispo, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			3	11, 10	200.7- 210.7	613.6*	果実	0	0.27	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.18	<0.005	<0.002	<0.001	
			1						0.19	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.21	<0.005	<0.002	<0.001	
			7						0.15	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.18	<0.005	<0.002	<0.001	
			14						0.18	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.08	<0.005	<0.002	<0.001	
			San Luis Obispo, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
				3	14, 13	201.7- 204.3	609.9 **	果実	0	0.66	<0.005	<0.002	<0.001
										0.64	<0.005	<0.002	<0.001
		1							0.75	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.66	<0.005	<0.002	<0.001	
		7							0.30	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.48	<0.005	<0.01	<0.001	
		14							0.34	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.11	<0.005	<0.002	<0.001	
		Tulare, CA, 米国						果実		<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
				3	10	198.3- 200.5	598.1*	果実	0	0.63	<0.005	<0.01	<0.001
										0.54	<0.005	<0.002	<0.001
			1						0.57	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.48	<0.005	<0.002	<0.001	
			7						0.50	<0.005	<0.002	<0.001	
0.39	<0.005	<0.002							<0.001				
14						0.43	<0.005	<0.002	<0.001				
						0.59	<0.005	<0.01	<0.001				

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

\* : low volume treatment (187-935 L/ha, "concentrate")

\*\* : high volume treatment (935-3741 L/ha, "dilute")

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関 : Eurofins Agroscience Services, Inc. (米国 ジョージア州)														
ぶど う	30% SC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	10	198.7- 200.6	599.7 **	果実	0	0.46	<0.005	<0.01	<0.001		
										0.43	<0.005	<0.01	<0.001	
									1	0.48	<0.005	<0.01	<0.001	
										0.38	<0.005	<0.01	<0.001	
									7	0.42	<0.005	<0.01	<0.001	
										0.43	<0.005	<0.01	<0.001	
								14	0.28	<0.005	<0.01	<0.001		
									0.26	<0.005	<0.01	<0.001		
				Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	10	206.5- 207.3	620.9 **	果実	0	0.59	<0.005	<0.002	<0.001
										0.54	<0.005	<0.002	<0.001	
									1	0.50	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.44	<0.005	<0.002	<0.001	
									7	0.56	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.39	<0.005	<0.002	<0.001	
								14	0.43	<0.005	<0.002	<0.001		
									0.42	<0.005	<0.002	<0.001		
				Washingto n, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	7	201.4- 204.2	608.0*	果実	0	0.79	<0.005	<0.002	<0.001
										0.91	<0.005	<0.002	<0.001	
							1	0.92	<0.005	<0.002	<0.001			
								0.79	<0.005	<0.002	<0.001			
							7	0.71	<0.005	<0.002	<0.001			
								1.10	<0.005	<0.002	<0.001			
						14	0.63	<0.005	<0.002	<0.001				
							0.61	<0.005	<0.002	<0.001				

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

\* : low volume treatment (187-935 L/ha, "concentrate")

\*\* : high volume treatment (935-3741 L/ha, "dilute")

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> ピ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
アー モン ド	6.25% EC	Strathmore  CA, 米国	-	-	-	-	ナッツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7, 8	122- 127	372	ナッツ	14	0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
										0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
										22	0.01	<0.005	<0.002	<0.001
										0.02	<0.005	<0.002	<0.001	
										27	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
										0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
										32	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
										0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
										38	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
										0.02	<0.005	<0.002	<0.001	
					Dinuba, CA, 米国	-	-	-	-	ナッツ	-	<0.002	<0.005	<0.002
		3	7	123- 126		373	ナッツ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
										<0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
				Poplar, CA, 米国	-	-	-	-	ナッツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		3	7, 8		124- 126	375	ナッツ	13	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
										<0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
				Wasco, CA, 米国	-	-	-	-	ナッツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		3	8, 6		124- 126	374	ナッツ	14	0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
										0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
				Buttonwill ow, CA, 米国	-	-	-	-	ナッツ	-	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
		3	7		124- 126	375	ナッツ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
										<0.01	<0.005	<0.002	<0.001	

EC：乳剤

-：該当なし

全てエアブラスト散布。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> ピ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関 : BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
ペカ ン	6.25% EC	Bailey, NC, 米国	-	-	-	-	ナツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7, 6	124- 127	377	ナツ	14	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
		Mystic, GA, 米国	-	-	-	-	ナツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7	120- 128	372	ナツ	14	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
		Alexandria, LA, 米国	-	-	-	-	ナツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7	129- 135	396	ナツ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
		Pearsall, TX, 米国	-	-	-	-	ナツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7	123- 124	372	ナツ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
										20	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
											<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
										29	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
											<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
										30	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
											<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
										37	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01
											<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
		Anton, TX, 米国			-	-	-	-	ナツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	7	124- 127	377	ナツ	14	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
											0.03	<0.005	<0.002	<0.001

EC : 乳剤

- : 該当なし

全てエアブラスト散布。

<別紙 4 : 畜産物残留試験 (海外) >

①ウシ

試料	試験日	休薬日数	フルキサピロキサド (mg/kg)				
			1群 対照	2群 通常量 EU	3群 通常量 US	4群 3倍量 US	5群 10倍量 US
乳汁	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00114 (0.00141)	0.00280 (0.00300)	0.0103 (0.0218)
	3	0	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	0.00167 (0.00280)	0.00378 (0.00433)	0.0144 (0.0253)
	5	0	ND	0.00101 (0.00104)	0.00181 (0.00289)	0.00405 (0.00480)	0.0132 (0.0275)
	7	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00167 (0.00281)	0.00517 (0.00631)	0.0146 (0.0265)
	10	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00186 (0.00295)	0.00446 (0.00457)	0.0154 (0.0374)
	14	0	ND	0.00109 (0.00128)	0.00152 (0.00252)	0.00360 (0.00462)	0.0123 (0.0295)
	17	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00153 (0.00259)	0.00389 (0.00442)	0.0130 (0.0271)
	21	0	<0.001 (<0.001)	0.00111 (0.00132)	0.00144 (0.00212)	0.00450 (0.00601)	0.0129 (0.0282)
	24	0	ND	0.00103 (0.00109)	0.00161 (0.00260)	0.00467 (0.00485)	0.0153 (0.0254)
	28	0	ND	0.00111 (0.00132)	0.00183 (0.00321)	0.00413 (0.00454)	0.0146 (0.0234)
	29	1	—	—	—	—	0.00409 (0.00565)
	30	2	—	—	—	—	0.00109 (0.00115)
	32	4	—	—	—	—	ND
	34	6	—	—	—	—	ND
35	7	—	—	—	—	ND	
脱脂乳 (21日)			<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	0.00234 (0.00526)
乳脂 (21日)			<0.001 (0.001)	0.00577 (0.00703)	0.00432 (0.00541)	0.0313 (0.0564)	0.135 (0.334)

数値上段は平均値、下段 ( ) 内は個体別最大値、ND : 検出下限未満 (<0.000153 mg/kg) 、  
— : 試料なし

試料	試験日	休薬日数	代謝物 008 (mg/kg)				
			1群 対照	2群 通常量 EU	3群 通常量 US	4群 3倍量 US	5群 10倍量 US
乳汁	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	0.00105 (0.00115)	0.00120 (0.00160)	0.00295 (0.00349)	0.0108 (0.0153)
	3	0	ND	0.00118	0.00148	0.00336	0.0143

			(0.00134)	(0.00245)	(0.00398)	(0.0227)
5	0	ND	0.00122 (0.00143)	0.00177 (0.00261)	0.00389 (0.00454)	0.0128 (0.0225)
7	0	ND	0.00124 (0.00142)	0.00164 (0.00268)	0.00460 (0.00534)	0.0160 (0.0260)
10	0	ND	0.00108 (0.00124)	0.00157 (0.00228)	0.00400 (0.00532)	0.0129 (0.0228)
14	0	ND	0.00102 (0.00107)	0.00130 (0.00175)	0.00251 (0.00352)	0.00973 (0.0114)
17	0	ND	0.00104 (0.00112)	0.00133 (0.00198)	0.00315 (0.00437)	0.0118 (0.0165)
21	0	ND	0.00104 (0.00113)	0.00124 (0.00171)	0.00346 (0.00408)	0.0108 (0.0168)
24	0	ND	0.00138 (0.00170)	0.00163 (0.00251)	0.00395 (0.00488)	0.0147 (0.0261)
28	0	ND	0.00146 (0.00170)	0.00160 (0.00251)	0.00325 (0.00436)	0.0157 (0.0290)
29	1	—	—	—	—	0.00494 (0.00905)
30	2	—	—	—	—	0.00132 (0.00196)
32	4	—	—	—	—	ND
34	6	—	—	—	—	ND
35	7	—	—	—	—	ND
脱脂乳 (21日)		<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	0.00132 (0.00178)	0.00370 (0.00479)
乳脂 (21日)		<0.001 (0.001)	0.00365 (0.00522)	0.00287 (0.00493)	0.0160 (0.0198)	0.0721 (0.0984)

数値上段は平均値、下段 ( ) 内は個体別最大値、ND : 検出下限未満(<0.000232 mg/kg)、

— : 試料なし

試料	試験日	休薬日数	代謝物 002 (mg/kg)				
			1群 対照	2群 通常量 EU	3群 通常量 US	4群 3倍量 US	5群 10倍量 US
乳汁	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
	3	0	ND	<0.001 (<0.001)	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	5	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	7	0	<0.001 (<0.001)	ND	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
	10	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	14	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 <sup>1)</sup> (<0.001 <sup>1)</sup> )
	17	0	ND	ND	ND	ND	<0.001

						<0.001
21	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)
24	0	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
28	0	ND	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 <sup>1)</sup> (<0.001 <sup>1)</sup> )
29	1	—	—	—	—	<0.001 (<0.001)
30	2	—	—	—	—	ND
32	4	—	—	—	—	ND
34	6	—	—	—	—	ND
35	7	—	—	—	—	ND
脱脂乳 (21 日)		<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
乳脂 (21 日)		<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)

数値上段は平均値、下段 ( ) 内は個体別最大値、

ND : 非検出又は検出下限未満(<0.0000487 mg/kg)、— : 試料なし、

1) : 改良法による再分析結果を含む

試験群		休薬日数	フルキサピロキサド (mg/kg)			
			筋肉	肝臓	腎臓	脂肪
1	対照群	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 EU	0	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.0105 (0.0108)
3	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	0.0128 (0.0145)	<0.01 (<0.01)	0.0193 (0.0241)
4	3 倍量 US	0	<0.01 (<0.01)	0.0308 (0.0317)	<0.01 (<0.01)	0.0447 (0.0585)
5	10 倍量 US	0	0.0108 (0.0124)	0.0846 (0.0939)	0.0143 (0.0192)	0.147 (0.171)
		2	ND	<0.01	<0.01	<0.01
		5	ND	ND	<0.01	<0.01
		7	ND	ND	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段 ( ) 内は個体別最大値、ND : 非検出又は検出下限未満

試験群		休薬日数	代謝物 008 (mg/kg)			
			筋肉	肝臓	腎臓	脂肪
1	対照群	0	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	0.0229 (0.0318)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	0.0379 (0.0513)	0.0105 (0.0114)	<0.01 (<0.01)
4	3 倍量	0	<0.01	0.0875	0.0166	0.0246

	US		(<0.01)	(0.111)	(0.0213)	(0.0321)
5	10 倍量 US	0	0.0244 (0.0314)	0.255 (0.347)	0.0504 (0.0757)	0.108 (0.125)
		2	ND	<0.01	<0.01	<0.01
		5	ND	<0.01	<0.01	<0.01
		7	ND	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値、ND：非検出又は検出下限未満

試験群		休薬日数	代謝物 002 (mg/kg)			
			筋肉	肝臓	腎臓	脂肪
1	対照群	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 EU	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 US	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3 倍量 US	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10 倍量 US	0	ND <sup>1)</sup>	ND <sup>1)</sup>	<0.01 <sup>1)</sup> (<0.01 <sup>1)</sup> )	<0.01 <sup>1)</sup> (<0.01 <sup>1)</sup> )
		2	ND	ND	<0.01	<0.01
		5	ND	ND	<0.01	<0.01
		7	ND	ND	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値、ND：非検出又は検出下限未満、

1)：改良法による再分析結果を含む

## ②ニワトリ

試料	試験日	休薬日数	フルキサピロキサド (mg/kg)				
			1 群 <sup>1)</sup> 対照	2 群 通常量 US	3 群 通常量 EU	4 群 3 倍量 EU	5 群/6 群 <sup>2)</sup> 10 倍量 EU
鶏卵	-1	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (0.00168)
	1	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00248 (0.00327)
	3	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00143 (0.00179)	0.00294 (0.00376)
	5	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00135 (0.00159)	0.00648 (0.0124)
	7	0	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00128 (0.00148)	0.00529 (0.00543)
	9	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00143 (0.00180)	0.00432 (0.00585)
	13	0	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (0.00170)	0.00122 (0.00131)	0.00299 (0.00348)
	16	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00109 (0.00127)	0.0413 (0.0474)
20	0	<LOQ	ND	<LOQ	0.00166	0.00396	

		<LOQ		<LOQ	(0.00211)	(0.00538)
23	0	<LOQ (<LOQ)	0.00143 (0.00212)	0.00170 (0.00309)	0.00196 (0.00269)	0.00453 (0.00643)
27	0	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00277 (0.00451)	0.00432 (0.00585)
27	0	—	—	—	—	0.00413 (0.00589)
28	0	<LOQ	—	—	—	0.00363 (0.00441)
30	2	ND	—	—	—	0.00158 (0.00165)
32	4	ND	—	—	—	<LOQ (<LOQ)
34	8	ND	—	—	—	<LOQ (<LOQ)
36	10	ND	—	—	—	ND
38	12	ND	—	—	—	ND
40	14	ND	—	—	—	ND
41	15	ND	—	—	—	ND

数値上段は群平均値、下段（ ）内は亜群別最大値、

ND：検出下限未満(<0.000191 mg/kg)、LOQ：定量下限(0.001 mg/kg)、—：試料なし

1)：休薬期間(6群)の対照4例(28～41日)を含む、2)：5群は-1～27日、6群は27～41日

試料	試験日	休薬日数	代謝物 008 (mg/kg)				
			1群 <sup>1)</sup> 対照	2群 通常量 US	3群 通常量 EU	4群 3倍量 EU	5群/6群 <sup>2)</sup> 10倍量 EU
鶏卵	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00101 (0.00104)	0.00339 (0.00626)
	3	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00251 (0.00307)	0.00593 (0.00898)
	5	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00121 (0.00125)	0.00427 (0.00490)	0.0127 (0.0184)
	7	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00142 (0.00168)	0.00408 (0.00441)	0.0115 (0.0143)
	9	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00425 (0.00518)	0.0122 (0.0132)
	13	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00128 (0.00148)	0.00379 (0.00400)	0.00895 (0.0138)
	16	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00166 (0.00207)	0.00307 (0.00375)	0.0106 (0.0123)
	20	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00130 (0.00152)	0.00477 (0.00545)	0.00854 (0.0140)
	23	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00107 (0.00110)	0.00435 (0.00485)	0.00862 (0.0118)
	27	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00111 (0.00119)	0.00412 (0.00520)	0.0122 (0.0132)

27	0	—	—	—	—	0.0114 (0.0147)
28	0	ND	—	—	—	0.0111 (0.0127)
30	2	ND	—	—	—	0.00720 (0.00811)
32	4	ND	—	—	—	0.00447 (0.00518)
34	6	ND	—	—	—	0.00118 (0.00126)
36	8	ND	—	—	—	<LOQ (<LOQ)
38	12	ND	—	—	—	ND
40	14	ND	—	—	—	ND
41	15	ND	—	—	—	ND

数値上段は群平均値、下段（ ）内は亜群別最大値、

ND：検出下限未満(<0.000142 mg/kg)、LOQ：定量下限(0.001 mg/kg)、—：試料なし

1)：休薬期間(6群)の対照4例(28～41日)を含む、2)：5群は-1～27日、6群は27～41日

試料	試験日	休薬日数	代謝物 002 (mg/kg)				
			1群 <sup>1)</sup> 対照	2群 通常量 US	3群 通常量 EU	4群 3倍量 EU	5群/6群 <sup>2)</sup> 10倍量 EU
鶏卵	-1	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (0.00100)	ND	<LOQ (<LOQ)
	1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	3	0	ND	ND	ND	ND	ND
	5	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND
	7	0	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)
	9	0	ND	ND	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	13	0	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	16	0	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)
	20	0	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	23	0	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	27	0	ND	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	ND
	27	0	—	—	—	—	<LOQ (<LOQ)
	28	0	<LOQ	—	—	—	ND
	30	2	ND	—	—	—	ND
32	4	ND	—	—	—	ND	

	34	6	ND	—	—	—	<LOQ (<LOQ)
	36	8	ND	—	—	—	ND
	38	12	ND	—	—	—	ND
	40	14	ND	—	—	—	ND
	41	15	ND	—	—	—	ND

数値上段は群平均値、下段（ ）内は亜群別最大値、

ND：検出下限未満(<0.000107 mg/kg)、LOQ：定量下限(0.001 mg/kg)、—：試料なし

1)：休薬期間(6群)の対照4例(28～41日)を含む、2)：5群は-1～27日、6群は27～41日

試験群		休薬 日数	フルキサピロキサド (mg/kg)			
			筋肉	肝臓	皮膚(皮下脂肪を含む)	脂肪
1	対照群	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.0251 (0.0278)
6	10倍量 EU	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	対照		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個別別最大値

試験群		休薬 日数	代謝物 008 (mg/kg)			
			筋肉	肝臓	皮膚(皮下脂肪を含む)	脂肪
1	対照群	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	0.0104 (0.0111)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	0.0143 (0.0184)	<0.01 (<0.01)	0.141 (0.157)
6	10倍量 EU	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	対照		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個別別最大値

試験群		休薬 日数	代謝物 002 (mg/kg)			
			筋肉	肝臓	皮膚(皮下脂肪を含む)	脂肪
1	対照群	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3 倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10 倍量 EU	0	<0.01 <sup>1)</sup> (<0.01 <sup>1)</sup> )			
6	10 倍量 EU	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	対照		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段 ( ) 内は個別最大値

1) : 改良法による再分析結果を含む

<参照>

1. 農薬抄録フルキサピロキサド（平成 24 年 7 月 2 日改訂）：BASF ジャパン株式会社、一部公表
2. <sup>14</sup>C-標識体のラットにおける動態試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
3. <sup>14</sup>C-標識体のラットにおける生体内代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
4. <sup>4</sup>C-標識体のヤギにおける動態試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
5. <sup>4</sup>C-標識体のヤギにおける生体内代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
6. 産卵鶏における吸収、分布、排泄および排泄試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
7. 産卵鶏における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
8. <sup>14</sup>C-標識体のトマトにおける代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
9. <sup>14</sup>C-標識体の大豆茎葉処理における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
10. <sup>14</sup>C-標識体の小麦茎葉処理における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
11. <sup>14</sup>C-標識体の小麦種子処理における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
12. 好氣的土壤中動態試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
13. 好氣的土壤中動態試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
14. 好氣的土壤中分解速度試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
15. 好氣的土壤中動態試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
16. 土壌吸脱着試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
17. 加水分解動態試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
18. 水中光分解試験（緩衝液）（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
19. 水中光分解試験（自然水）（GLP 対応）：BASF SE、2010 年、未公表
20. 泌乳牛における乳汁および組織中残留試験（GLP 対応）：Charles River、2009 年、未公表
21. 産卵鶏における卵および組織中残留試験（GLP 対応）：Charles River、2010 年、未公表
22. BAS700F のマウスおよびラットにおける毒性薬理試験ラットにおける急性経口毒性試験（GLP 対応）：食品農医薬品安全性評価センター、2010 年、未公表
23. ラットを用いた急性経口毒性試験（GLP 対応）：Centre International de Toxicologie、2008 年、未公表

24. ラットを用いた急性経皮毒性試験（GLP対応）：Centre International de Toxicologie、2008年、未公表
25. ラットを用いた粉塵ダストによる急性吸入毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2008年、未公表
26. ラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2009年、未公表
27. ラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2009年、未公表
28. ラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2009年、未公表
29. Wistar系ラットを用いた急性経口神経毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
30. ウサギを用いた皮膚刺激性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2006年、未公表
31. ウサギを用いた眼刺激性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
32. モルモットを用いた皮膚感作性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
33. ラットを用いた90日間反復経口投与毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
34. マウスを用いた90日間反復経口投与毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
35. ビーグル犬を用いた90日間反復経口投与毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
36. ラットを用いた90日間反復経口投与神経毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
37. ビーグル犬を用いた12カ月間反復経口投与慢性毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
38. マウスを用いた18カ月間反復経口投与発癌性併合試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、2010年（改訂版）、未公表
39. ラットを用いた12カ月間および24カ月間反復経口投与慢性毒性・発癌性併合試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
40. ラットを用いた2世代繁殖毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
41. ラットを用いた催奇形性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
42. ウサギを用いた催奇形性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
43. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
44. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、

2009年、未公表

45. チャイニーズハムスター卵巣細胞（CHO-K1細胞株）を用いた遺伝子突然変異試験：HPRT試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2007年、未公表
46. チャイニーズハムスター卵巣細胞（CHO-K1細胞株）を用いた遺伝子突然変異試験：HPRT試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
47. チャイニーズハムスターV79細胞を用いた*in vitro*染色体異常誘発性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
48. チャイニーズハムスターV79細胞を用いた*in vitro*染色体異常誘発性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
49. 経口投与によるマウス骨髄細胞小核試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2006年、未公表
50. 腹腔内投与によるマウス骨髄細胞小核試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
51. 経口投与ラットの肝細胞を用いた*in vivo*不定期DNA合成試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
52. 静脈内投与ラットの肝細胞を用いた*in vivo*不定期DNA合成試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
53. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
54. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2007年、未公表
55. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
56. ラットを用いた肝酵素誘導試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
57. ラットを用いた甲状腺機能試験（パークロレート放出試験）（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
58. ラットを用いた肝細胞増殖反応曲線：S期反応試験-1（GLP対応）：BASF毒性研究所、2010年、未公表
59. ラットを用いた肝細胞増殖反応曲線：S期反応試験-2（GLP対応）：BASF毒性研究所、2010年、未公表
60. ラットを用いた肝細胞増殖反応曲線：S期反応試験-3（GLP対応）：BASF毒性研究所、2010年、未公表
61. US EPA : Pesticide Fact Sheet Fluxapyroxad (2012)
62. EFSA : Conclusion on the peer review of the pesticide risk assessment of the active substance fluxapyroxad (2012)

63. 食品健康影響評価について（平成 24 年 8 月 21 日付け厚生労働省発 0821 第 3 号）
64. 食品健康影響評価の通知について（平成 25 年 4 月 1 日付け府食第 247 号）
65. 農薬抄録フルキサピロキサド（平成 25 年 5 月 29 日改訂）：BASF ジャパン株式会社、一部公表
66. フルキサピロキサドインポートトレランス（2 次申請）：BASF ジャパン株式会社、未公表
67. フルキサピロキサド海外作物残留試験成績：BASF ジャパン株式会社、2014 年、未公表
68. 食品健康影響評価について（平成 26 年 9 月 9 日付け厚生労働省発食安 0909 第 5 号）

**フルキサピロキサドに係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）  
についての意見・情報の募集結果について**

1. 実施期間 平成26年12月17日～平成27年1月15日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 1通
4. コメントの概要及びそれに対する食品安全委員会の回答

意見・情報の概要※	食品安全委員会の回答
<p><b>【意見1】</b>            イヌ1年試験において見られた嘔吐は、毒性所見ではあるものの単回投与の影響とされていないことから、反復投与により生じた所見であると判断されたと推察いたします。しかし、投与日に認められる嘔吐が反復投与により生ずるという機序がわからないので解説いただけないでしょうか。本嘔吐や、ウサギ発生毒性試験で見られた無糞や肢過屈曲増加は単回投与の影響と考えたほうがよいのでしょうか。            また、無毒性量125を基に有効数字2ケタでARFDを1.2mg/kg体重とされていますが、ARFDが1.2mg/kg体重の場合、ヒトが短期間に摂取して影響のない量は、体重1kg当たり1.2mgまでなのか、それとも1.24999999…までなのでしょう。</p>	<p><b>【回答1】</b>            1年間慢性毒性試験（イヌ）で認められた嘔吐については、イヌは嘔吐しやすい動物であり、90日間亜急性毒性試験（イヌ）においては嘔吐が認められなかったことも考慮し、単回投与による影響ではないと判断しました。            また、発生毒性試験（ウサギ）で認められた無糞/糞量減少については、妊娠14日以降に認められたこと、肢過屈曲増加については、妊娠中の単回投与によって発現する所見とは考え難いことから、ARFD設定に関連するエンドポイントとはしませんでした。            なお、ADI及びARFDについては、これまで摂餌量等の情報から算出された平均検体摂取量から得られる無毒性量の3桁目を切り捨て2桁で設定しております。数値の範囲については、一般的な有効数字の考え方と同様です。</p>

※頂いた意見・情報を、そのまま掲載しています。